

VII 総括

作野遺跡は、遺跡規模や從来の複数次の調査成果などから、縄文時代後・晩期（約3000年前）～弥生時代初頭に至る県内でも有数の拠点の集落と考えられてきた。

今回の調査では、小規模な調査区ながら、縄文時代晩期中葉後半～後葉前半の深さ約1.5mのSG1谷跡を中心に、谷の岸辺（平場）からは同後期～晩期後葉の土坑群5基、溝跡1条、柱穴2基などが発見された。

遺物では、SG1谷跡を中心に、上記時期の土器や石器が谷の各層からコンテナ60箱分が多量に出土し、併せて土偶・石棒・土冠など祭祀具、垂飾品の玉類などの土製品や石製品も出土した。他に縄文時代中期や平安時代の土器も出土したが、明確な遺構は確認できなかった。

以下に遺構と遺物に分け整理し、まとめにかえる。

1 遺構

今調査区は、遺跡範囲の最も南端の一部に位置し、縄文時代後期末～晩期の様相がさらに明らかにできた。

具体的には、調査区の南端部で西流するSG1谷跡が検出され、今調査区外の南東部で、隣接する第1次調査B地区（県教委1984）の「隠れ谷」とされた谷跡（同晩期中葉後半の大洞C2式期主体）の内容が、SG1谷跡の位置や堆積土状況、出土遺物と類似し、同一遺構と判断され、堆積土層毎の遺物の関連性がうかがえることにもよる。また、第1次調査B地区で出土のなかつた縄文時代晩期後葉前半の大洞A式期の土器群が、SG1谷跡の上層で確認され、やや時期が異なり、新相の層位や地点であることも分かった。

これまでの調査を総合すると、SG1谷跡は幅約10mほどで、東から西へ緩やかに傾斜する谷跡で、集落の南端を区切っていたと推測される。堆積土は、概ね5層に大別され、数度の洪水や崩落（砂層）と、安定した緩やかな堆積（粘質土）を繰り返しながら、縄文時代晩期中葉後半～後葉前半の大洞C2～A式期の短い時期の間に、徐々に埋没していったことが推測された。

さらに、多量の土器や石器の他に、土偶や石棒・石刀、土冠などの祭祀具、新潟県糸魚川産の翡翠玉類も出土し

た。生活用具の廃棄場所の役割だけでなく、水辺の祭などに関わることも推測できる。上層F1層からは、土器を逆位で設置（RP30）するものがあり、埋設土器などの墓域の可能性もうかがえる。

調査区中央～北部は、現代の搅乱も認められるが、当該期の土坑群や溝跡、柱穴跡、ピットなどが確認された。

遺構の分布は、SG1谷跡の北側約10mの調査区中央部南側では、全体に希薄である。この北側では、直径約1m前後のSK2・9・12・51・69などの土坑群がある。これらは、断面形が袋状や壁が直線的に立ち上がるものが多く、貯蔵穴群と考えられる。

北側には、SP3・18とした大型の柱穴群やSD5溝跡が確認された。大型の柱穴は、建物を組むまでは至らなかったが、調査区外に建物が延びる可能性もある。

作野遺跡の集落構成は、遺跡範囲のほぼ中央部に堅穴住居跡群（昭和54年度調査）などの集落があり、その外縁に建物跡を構成する柱穴群や溝跡があり、さらにその外には貯蔵穴と考えられる土坑群などがあることがわかった。土坑群の外縁には谷が近いためか遺構は希薄で、SG1谷跡などの落ち込み地形は、「土器捨て場」などの廃棄場や、水辺の祭などに利用されたと考えられる。

2 遺物

遺物は、土器、石器、土製品、石製品などが出土した。以下に、主的な土器を中心的に、特徴的なものを記し、1次調査区との比較や遺跡の変遷などをまとめる。

A 土器の組成と変遷

今調査では、縄文時代後期末葉～晩期後葉の同時代終末頃の長期間にわたる土器や石器が多量に出土した。しかし、これらの大半は、特にSG1谷跡から出土し、概ね同晩期中葉後半～後葉前半の大洞C2～A式期に至る限定された時間幅のものであった。また、これらは大きくわけると5層に分層され、新しい順に上層（F1層）、中層（F2層）、下層（F3層・F3下層）、最下層（F4層）であった。時期は、土器文様の形態や遺存状況などから、全体ではF4～F3下層が縄文時代晩期中葉後

半古段階（大洞C 2式期古段階）、F 3～F 2層が同中葉後半新段階（同C 2式期新段階）、F 1層が同後葉前半（同A式期）と考えられた。

各層から出土した土器は、復元により所謂粗製土器も含め、全体で177点以上の個体数（口～体部の1/6以上残存のもの）が把握された。各層では、20～30点前後（F 4・F 3・F 1層）、50点前後（F 3下・F 2層）と、やや数量に大小はあるが、各層を大枠で括ると、大きな時期的な組成変化などがうかがえた。

その結果から、土器相の器種・器形の比率（第25図）や容積分布図（第26図）の概要を記す。また土器変遷図（第22～24図）で、文様や地文の特徴をまとめる。

A-1 器種（表10） 器種構成の変遷を記す。

深鉢 各層で30～50%以上の割合があり、各時期において一定量出土し、安定的に割合が高い器種である。また、文様の有る（有文）深鉢と粗製深鉢の比率では、有文のものが深鉢全体の1/4～1/5と少なく、それ以外は粗製深鉢が大半を占める。粗製深鉢は、器種全体でも20～40%あり、これらは、大洞C 2式期～大洞A式期に一定の比重を継続的な比率であったことが分かる。また、大洞C 2式新段階でやや大型化傾向がうかがえる。

鉢 F 4～F 3下層では30～50%と最も割合が高く、F 2層で減少が認められ、F 2～1層で10～20%の減少傾向がうかがえる。有文と粗製の比率は、全体に有文の割合が高いが、F 4～F 3下層では粗製が1/2～1/3前後の一定量を占め、F 3・F 2層では粗製が減少、F 1層で再び粗製の量が増加する。

大洞C 2式期古段階では、粗製も含め鉢類が多く、定型化が認められる。大洞C 2式期新段階～同A式期では、数量が急減少する。なお、鉢でも深鉢と同様に大洞C 2式期新段階でやや大型化の傾向がある。

浅鉢 F 4層では約15%と少量だが、F 3下～F 3層で約20%前に増加する。F 2～F 1層では全体の25～30%の割合で、器種の中で深鉢に次いで割合が高くなる。全体に粗製は少なく、有文若しくは口縁部内面に沈線が巡るもののが大半である。なお、浅鉢ではF 2～F 1層では台付浅鉢も認められ台付の増加がうかがえる。

大洞C 2式期古段階では大型品も多いが、同C 2式期新段階ではやや小型化したものが多く、定型化が認められる。更に同A式期でも、数量は増加し、台付浅鉢が一

定の割合を占める。これらは、大洞C 2式期新段階～同A式期の前述鉢類の減少に対し、浅鉢と比率が逆転する。

壺 F 4～F 3下層では15%前後で、F 3～F 1層では約20%前後と全器種の中で一定量が認められる。全体では肩部や口縁部内面に有文が多いが、普遍的に粗製品が含まれると考えられる（F 4・F 3・F 2層）。なお、小型の蓋がF 3・F 1層より出土し、個体では不明瞭だが、若干の細口壺の存在もうかがえる。大洞C 2式期古段階～同A式期で少量だが大型品が認められ、大洞C 2式期では一定の粗製品も認められる。

注口土器 全体に数が少なく、F 4層では個体で明確なものは不明である。しかし、F 3下～F 1層では、各層で5～10%前後と比率は少ないが、有文のものが安定的に組成する。特にF 2層でやや増加が認められる。

大洞C 2式期古段階には数量的にやや不明確だが、同C 2式期新段階～同A式期には大型品なども少量ある。

小型土器 全体に数は少なく、F 4層は不明だが、上位のF 3下～F 1層では、各層で5～10%前後である。壺や浅鉢などの小型模倣品が一般的にある。大洞C 2式期古段階～同A式期まで一定量散見される。

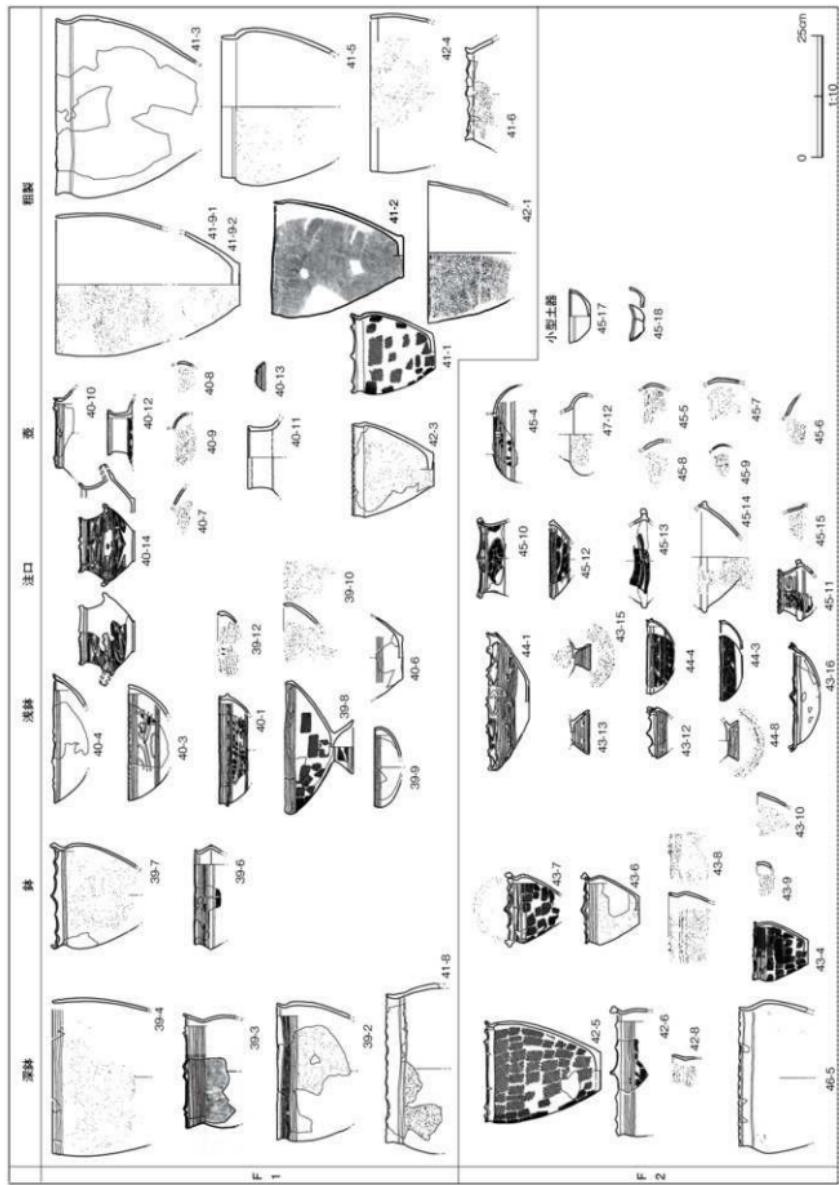
A-2 器形と文様（表11） 各器種の器形と文様の変遷を述べる。特に各層毎に、まとまりのある個体として数量的に分類可能なものを中心に概括する。

有文土器

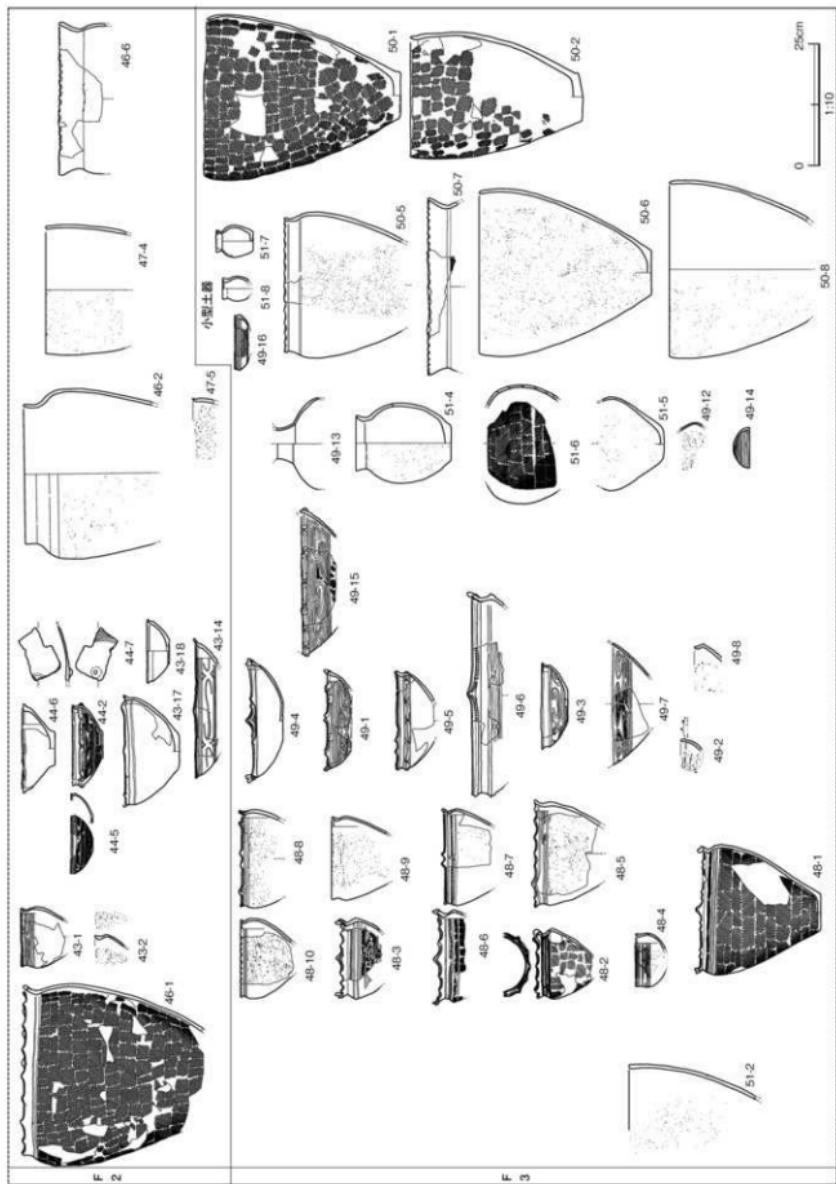
深鉢・鉢 体部下半が欠損し一部器形が不明瞭なものも含めた深鉢・鉢類では、全体に胴～頭部に括れを持ち口縁部が外傾（I類）するものではなく、胴部が若干膨らみ口縁に至り口縁部が直立か内弯（II類）、口縁部が屈曲して外傾か外反（III類）に分類した。

深鉢では、II・III類が認められ、II類は、F 1・F 3層で口縁部に平行沈線が巡るものがあり、粗製の大半を占める平縁寸胴形と同形態である。また、数少ない有文に、単純に口縁部が屈曲・外反するIII vi類が多く、一部小～中型品にIII b類や口縁部が長いIII v類が少量見られるが、時期による形態差は大きく見いだせない。

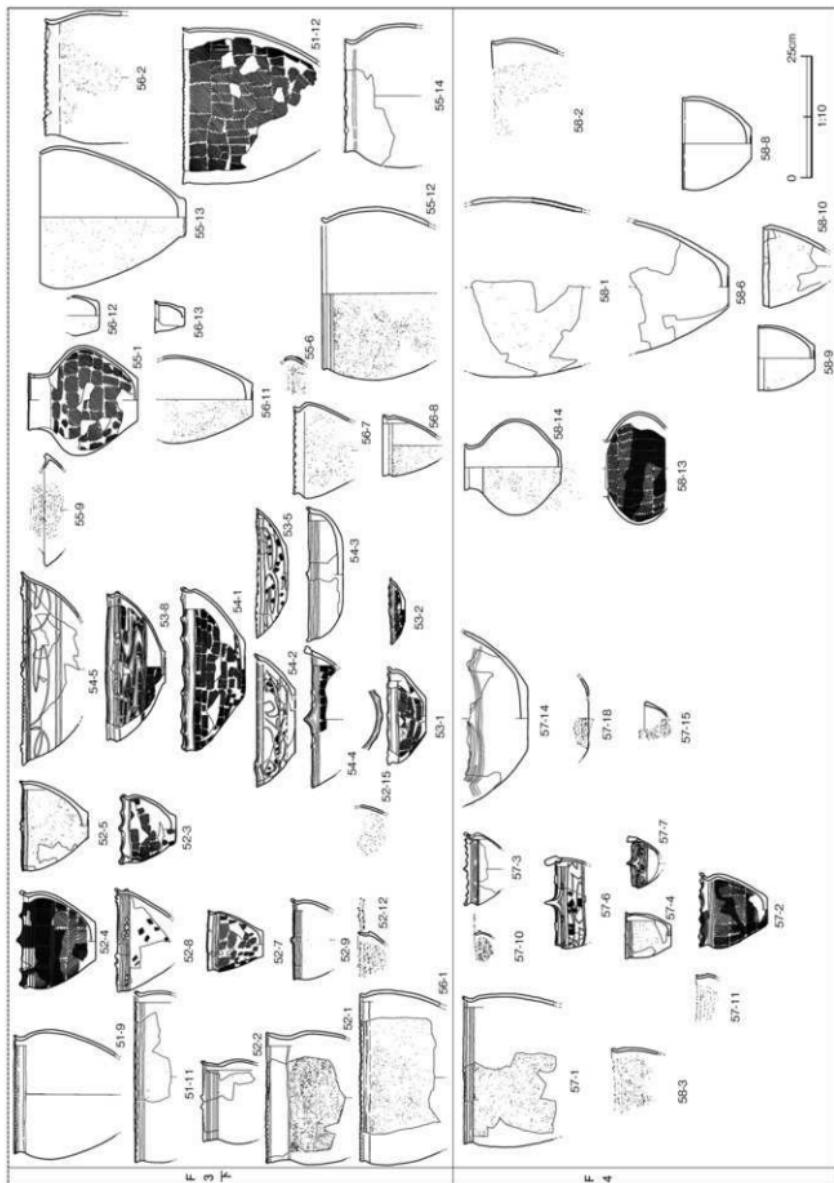
鉢は、F 3下～F 2層でIII類のものが大半である。体部肩が張り頭部窄まり口縁部外傾する一群（III i・ii類）が継続的に鉢類で主体を占め、全体ではIII i類からIII ii類へ変化していく。他に上記器形の変容形態としてIII i類の口縁部がない形態III iii類、口縁部が長く無文帶など



第22図 遺物変遷図1



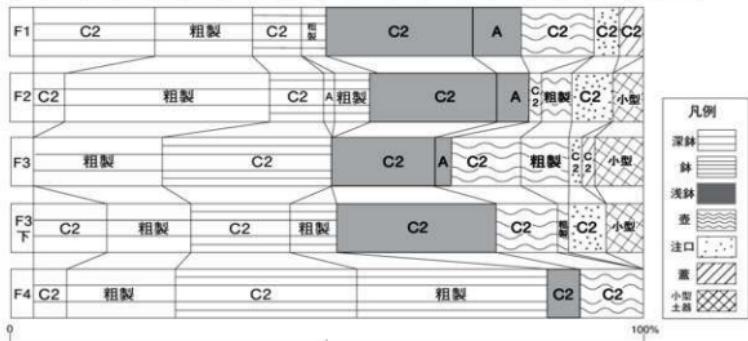
第23図 遺物変遷図2



第24図 遺物変遷図3

表 10 器種組成表

器種	深鉢			鉢			浅鉢			壺			蓋			注口			小型	計
	C2	A	粗製	C2	A	粗製	C2	A	粗製	C2	A	粗製	C2	A	粗製	C2	A	粗製		
F1	0	12	2	0	1	4	3	0	3	0	0	1	0	0	1	0	0	1	33	
比率	15.2	0.0	36.4	6.1	0.0	3.0	12.1	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	30	18.7
F2	2	0	11	6	1	0	10	3	1	1	0	3	0	0	0	4	0	0	3	45
比率	4.4	0.0	24.4	13.3	2.2	0.0	22.2	6.7	2.2	22	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	8.9	0.0	0.0	6.7	25.4
F3	0	0	8	9	0	0	5	1	0	3	0	3	1	0	0	1	0	0	2	33
比率	0.0	0.0	24.2	27.3	0.0	0.0	15.2	3.0	0.0	9.1	0.0	9.1	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	6.1	18.7
F3 F	4	0	9	8	0	4	12	0	0	6	0	1	0	0	0	3	0	0	2	50
比率	8.0	0.0	18.0	16.0	0.0	8.0	26.0	0.0	0.0	12.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	4.0	28.2
F4	1	0	3	5	0	4	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	16
比率	6.3	0.0	18.8	31.3	0.0	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90
計	12	0	43	30	1	9	33	7	1	13	0	9	2	0	0	9	0	0	8	177
比率	6.8	0.0	24.3	16.9	0.6	5.1	18.6	4.0	0.6	7.3	0.0	5.1	1.1	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	4.5	1000

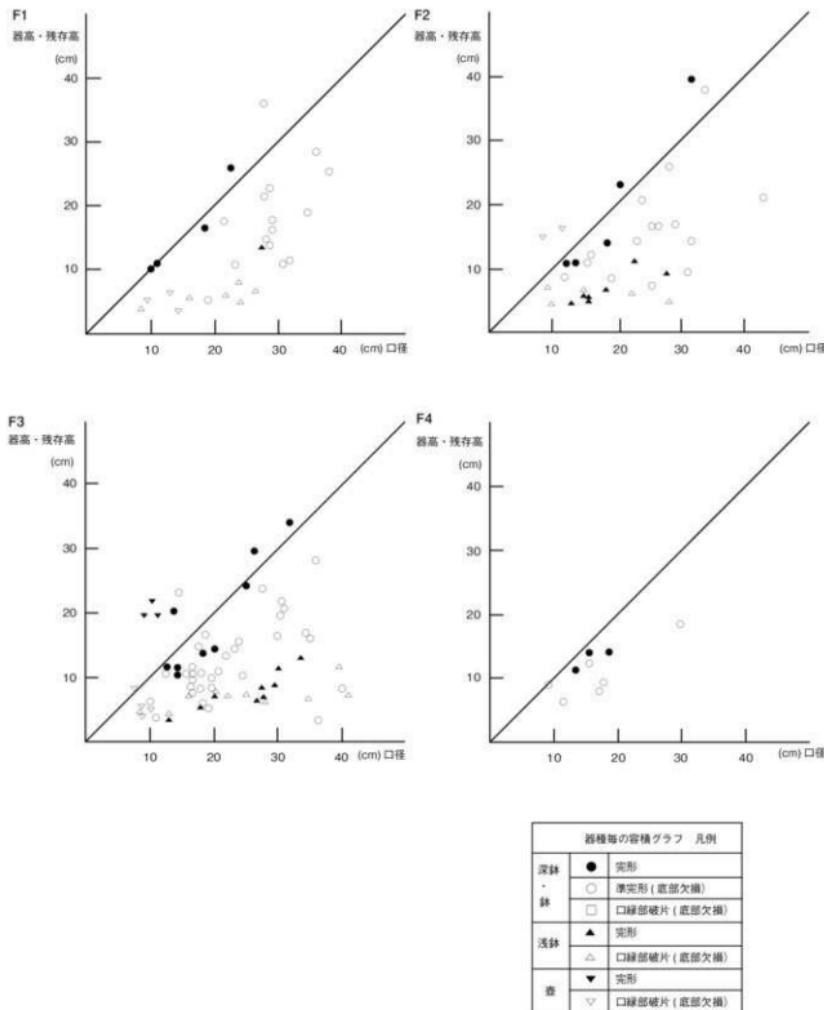


第 25 図 層毎の土器の器種組成率の割合図

表 11 地文組成表

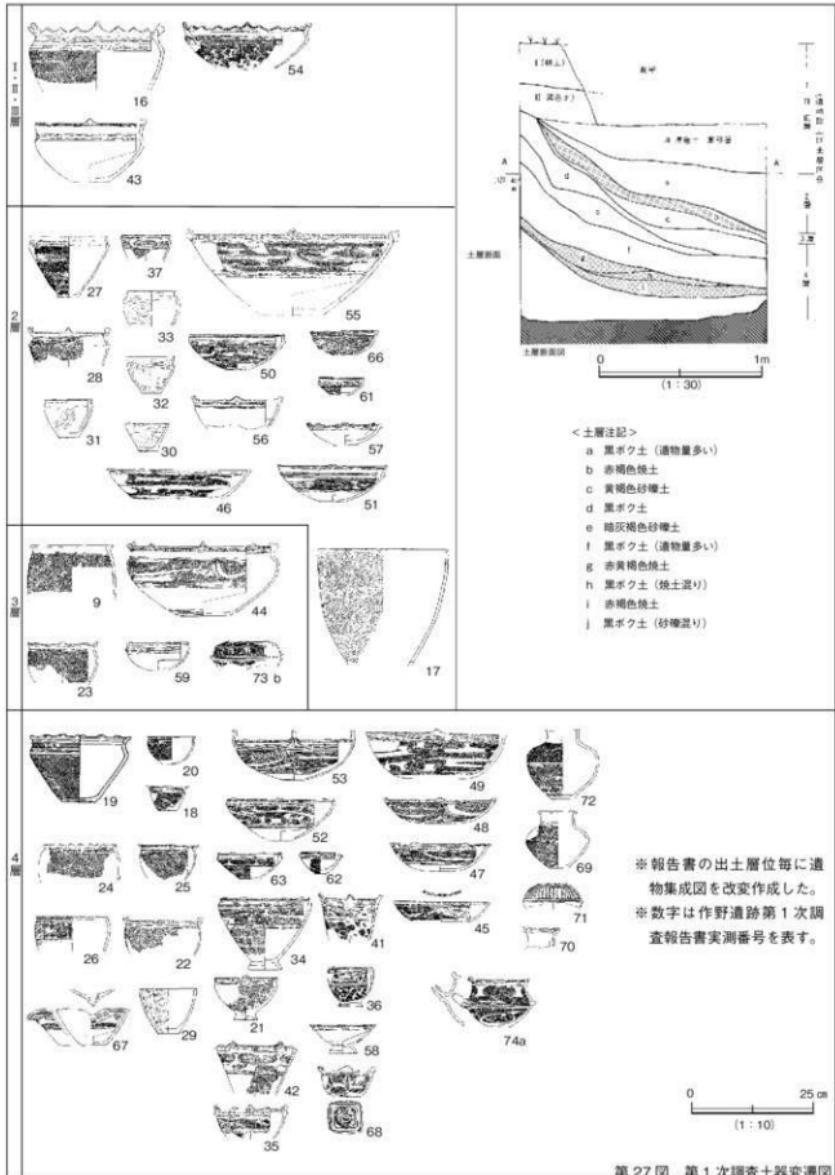
地文	斜縦文										直前段 多余	直前	被覆 (質層)	無文	無文 (文様付)	結合体 条縦文	計
	LR	RL	結縫 LR	L	R	LR + RL	直前段 多余	直前	被覆 (質層)	無文							
F1	9	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	7	0	20		
比率	45.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	350	0.0	1000		
F2	16	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	11	0	30		
比率	53.4	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	367	0.0	1000		
F3	7	0	1	0	0	4	1	0	0	0	0	0	9	0	22		
比率	31.8	0.0	4.5	0.0	0.0	18.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	409	0.0	1000		
F3 F	23	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6	0	36		
比率	63.8	12.9	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	167	0.0	1000		
F4	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	7		
比率	28.6	14.2	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	143	0.0	1000		
計	57	6	2	0	1	12	3	0	0	0	0	0	34	0	115		
比率	49.6	5.2	1.7	0.0	0.9	10.4	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	296	0.0	1000		
F1	10	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	13		
比率	76.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	77	0.0	1000		
F2	6	1	0	1	0	4	0	0	0	2	0	0	1	0	15		
比率	40.0	6.7	0.0	6.7	0.0	26.6	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	67	0.0	1000		
F3	8	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
比率	72.7	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1000	
F3 F	5	2	2	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
比率	35.7	14.3	14.3	7.1	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1000	
F4	3	1	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	9	
比率	33.4	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1000	
計	32	6	2	3	0	8	3	1	1	4	0	0	2	0	0	62	
比率	51.6	9.7	32	4.8	0.0	12.9	4.9	1.6	1.6	65	0.0	0.0	32	0.0	0.0	1000	
合計	89	12	4	3	1	20	6	1	1	4	34	2	177				
比率	50.3	6.8	22	1.7	0.6	11.3	3.4	0.6	0.6	22	19.2	1.1	1000				

※小型土器は、無文（文様付）に含む。



第26図 土器容積分布図

作野遺跡第1次調査（1982）B地点出土遺物



第27図 第1次調査土器変遷図

を有するⅢ vi' 類、口縁部が短いⅢ iv類、口縁部が直立するⅢ v類などが各層で少数認められる。特に口縁長いⅢ vi' 類や口縁短いⅢ iv類はF 3下～F 2層、口縁直立のⅢ v類はF 2～F 1層で多い傾向がある。

浅鉢 大きく体部から口縁部まで単純に至るI類と、口頭部で屈曲内傾するII類、口縁部が内弯するIII類がある。F 3～F 2層ではI・II類が多く、上位層につれII類が多くなる。両者とも磨消繩文などの有文を持つが、前者は全体に沈線手法表現に対し、後者は体部上半に丁寧なC字状や大腿骨文系の磨消繩文を伴うものが多い。また、後者は口縁部無文帶で頭部に眼鏡状浮線文を持つものが多い。F 1層ではI・II類が減少し、III類が出現し、台付浅鉢となるものが多い。

壺 全体に広口壺II類が多い。口縁部内面の沈線と体部繩文施文のものの関連が不明瞭な所もあるが、F 3下層ではやや肩張り球形の体部繩文施文、F 3層で体部球形の無文、F 2～F 1層で球形の肩部に文様を持つものが多く認められ、一部口縁部が短く直立し眼鏡状浮線文が付き体部が継長のものもある。他に小型の蓋がF 3～F 1層にあり、細口壺I類に伴うと考えられる。

注口土器 破片で全体に受口を持つII類で、F 3下層で大型品があるが、F 2～F 1層では小～中型品が多く、最大径と器高が同等のものが多くなる。

小型土器 数は少ないが、F 3下層で壺形や深鉢形が多く、F 2～F 1層では浅鉢形が多い傾向が認められる。

文様

上記器種・器形に対する文様は、主に列点文や平行沈線、直線化する磨消繩文、多条の平行沈線、連結入組文(4類)と、工字文(5類)が認められ、前者が概ね大洞C 2式期、後者が同A式期と捉えられた。

更に4類には、各々器種に主体的な文様が配置され、4 a～4 v類までの文様に細別された。これらは、下位から順に大きく、F 4層に主体のもの(平行沈線4 c類の深鉢・鉢、磨消繩文の大腿骨文系4 i類の鉢・浅鉢など)、F 3下層に主体のもの(平行沈線に眼鏡状浮線文4 g類の鉢・浅鉢、磨消繩文の三日月状文系4 k類の浅鉢など)、F 3層に主体のもの(平行沈線[列点文]に縦位スリット区画4 b類の深鉢・鉢、磨消繩文のC字状文4 j類の浅鉢、入組連結文[磨消繩文入り]4 r類の浅鉢、平行沈線の無文帶4 e類の浅鉢など)、F 2層に主

体のもの(磨消繩文のC字状文に縦位スリット4 p類の浅鉢、平行沈線に縦位沈線区画4 q類の壺、磨消繩文の鉢巻状文系4 v類の注口土器、連結入組文の工字状文4 s類の浅鉢・注口土器など)、F 1層に主体のもの(工字文5類など)の5段階が認められた。

これら主体文様は、その後上位層の器形などの変化に伴い、継続、改変、融合し、多様な変遷をとる。

そして、特に4類の平行沈線や磨消繩文に、縦位沈線やスリットが文様構成に入る段階(4 b・4 p・4 q・4 r類など)は、次段階の大洞A式期(工字文)に類似する改変期と捉えられ、大洞C 2式期の古・新段階の初期と考えられた。これらから、概ねF 4～F 3下層が大洞C 2式期古段階、F 3層～F 2層が同C 2式期新段階、F 2～F 1層が同C 2～A式期の大別3時期に分けられ、上記の各層の主体的文様もこの層準に対応したほぼ同時期のものと考えられる。他に、破片資料だが特異な形態で、隆帯による方形区画文4 u類(村山市宮の前遺跡に類似品)、多条沈線の弧状文4 h類(新潟県青田遺跡に類似品)が認められ、これらも出土層位の時期の所産と考えられ、他地域の影響を受けた可能性もある。

そして、浅鉢や鉢、壺などで、頭部の平行沈線間が無文帶(4 e 1類)や、丁寧なミガキによる体部無文(7類)などもあるが、単体では時期は判断できず、主体的な出土層位に準拠した時期が比定されよう。

なお、全体的に有文の浅鉢や粗製深鉢などで、主に補修孔が多く認められた。炭化物付着は、有文中型鉢に多く認められる傾向がうかがえた。

粗製土器

粗製土器は、所謂地文や無文のみのもので、口縁部内面にも横位沈線を巡らさないものも含む。器形変化にも乏しい土器で、単体で時期判別が困難なものである。前述有文土器で概ね各層の時期が捉えられ、各層出土の粗製土器も概ねこの層序の時期幅に収まるものであろう。以下に、主体的な深鉢・鉢を主に、特徴などを整理する。

深鉢 F 4～F 3下層では、平縁の寸胴形のII類で、次期以降にも普遍的で、やや口縁が強く内弯する傾向がある。口縁部が屈曲するIII類では、口縁部が単純に外反するものに、口縁部が短く外反するものがIII類中で一定量出土し特徴的である。F 3～F 2層では、下位層に継続して平縁の寸胴形のII類が多く、口縁部が屈曲す

るⅢ類では、口縁部が長く口唇刻目文のものが多い。F 2～F 1層は、平縁の寸胴形のⅡ類が深鉢類中で一定量あり、口縁部はあまり内弯しないものが多い。Ⅲ類は、口縁部が単純に外反のもの以外に、ほぼ直立する形態がⅢ類の中で一定量認められる。

なお、深鉢では、理化学分析で明らかになった内面に漆付着のものが多く、漆容器などの可能性も含められた。

鉢 鉢は、F 3層を主にⅢ ii・v類のもので、頸部文様は欠落するが、器形は有文のものと類似する。口縁部無文で直立する形態が下・上層で確認される。

壺 壺は、口縁部形態は不明ながら体部縦文地文のみのもので、F 3～F 2層で肩が張る形態、口縁部が短いもの、体部綫長のものなどが増える。

他に、注口土器でもF 2層などに地文のみの粗製があるが、数量が少なく傾向などは判然としない。

地文

有文の土器群も加え、地文全体の変化も概観する。

F 4～F 3下層では、有文も含めた全体では、斜縄文が約6割を占め、LRが3～5割だが、鉢・壺などでは斜縄文による羽状縄文が約1～3割あり、他にRL、撚糸文、直前段多条が散見できる。無文は約1～2割で、粗製深鉢や有文の鉢や浅鉢に認められる。

F 3～F 2層では、斜縄文が5割で、原体の太さが異なる細密なものも散見される。鉢・壺などでは羽状縄文が1割あり、RL、直前段多条が散見され、多様な原体がある。無文は、有文の浅鉢が増加し、壺にも認められ、約2割である。粗製では、LRの他に、RL、羽状縄文も2割見られる。破片で網目状撚糸文も確認できる。

F 1層では、有文を含む全体で、斜縄文が6割になり、原体の太さが異なる細密なものも散見される。LRの他に、羽状縄文は1割以下にやや減少し、結節LRや直前段多条、ヘラ描文が散見される。無文は、浅鉢・壺で2割認められる。粗製深鉢では、ヘラ描文や格条体条痕文も少量見られる。

A-3 今調査と第1次調査B地区（第27図） 上記までのSG1谷跡の各層で得られた層準や時期毎の変遷を基に、大洞式C 2～A式期の主体的な土器群について、変遷と特徴を記す。また、隣接し同一遺構と考えられる第1次調査B地区との層準対比や出土量などを検討する。

第1次調査B地区では、多量の遺物が出土した「土器捨て場」が確認された。大別すると順に1～4（層）で取り上げ、大洞C 2式前半が主体とされる。

遺物は、「IV-D群土器」とされ、明確な定義は示されていないが、器種では「各器種内における器形の変化や文様施文のあり方」から、深鉢6種（類型：タイプ）、鉢（台付含む）6種、浅鉢（台付含む）6種、壺4種、壺9種、注口土器3種を認められた。また、器種類型には「結果としてその大半を占めるような一般的（集團に嗜好されたとも云うべき）・量的まとまりを持ったもの」があるとし、類型組成も試みた。（山形県教委1984）

第1次調査B地区（IV-D群土器）と今第3次調査を器種別に主体的な土器を比較・検証してみたい。

深鉢 1次調査の深鉢a類（3次調査の粗製深鉢II A 2類に対応。以下調査を省略する）と、1次深鉢b（3次深鉢G III ii 4 d類・粗製深鉢H III ii 4 e 1類など）が主であったとする。今調査でも前者は一定量各層で認められる。後者も全体的に各層で認められるが、口唇・口縁形態から細分される可能性がある。逆に1次調査で少ない1次深鉢d類（3次深鉢A II 4 c類）や1次深鉢f類（同粗製深鉢A II 1類）がF 1層などに多い。

鉢 1次鉢a類（3次鉢E III i 4 a・b類）・b（同III鉢E III ii 4 c類など）を主とする。今調査でも各層で主体的であったが、特にF 3より上位層では鉢E III i 4 b類が多い。また1次調査では、上記の次に鉢d類（3次鉢E III iv 4 c類など）、鉢c類（3次鉢B III iii 4 a類）の順に出土量があった。今調査でも両者とも鉢全体の中で一定量確認できたが、特に前者はF 3層で多い。

他に1次調査では、体部上半に磨消縄文を有する台付鉢a・b類（3次鉢G III ii 4 i・p類。台付かは不明）が一定量確認され、他にも前代の大洞C 1式期の系譜を引くであろう磨消縄文の鉢類が多い。一方、今調査では、最下層のF 4層に主に少量出土した程度に留まる。

浅鉢・壺 浅鉢a類（3次浅鉢D II iii 4 i類）・c（同G I vi類か）・d（同A II iii 4 g + 4 i類か）・f（同C I i 4 d + 7類）が主としてまとまりを持つとされる。今調査でもF 3～F 2層を主に、同器形が一定量認められるが、全体に1次調査の「大洞C 1式からの系譜を引く雲形文」とはやや異なる粗雑で簡略化した磨消縄文などが多い。なお第3次調査では浅鉢に含めたが、1次調

壺の皿は、皿 a 類（3 次浅鉢 B I v 4 m 類）・同 b（同 H I i 4 k 類か）が主で、大型の c（同 I 4 k 類）、半精製の d（同 C II v 4 k 類か）の順である。今調査で F 3 層に、鉢同様に器形は類似するが、「雲形文」の磨消繩文は少なく、1 次調査 d 類に近い「繩文地を磨り消すだけ」の粗雑なもの（4 k 類）が一定量確認される。

壺 1 次調査で精製の壺 a 類（壺 I 4 q・1 類）・半精製の壺 h 類（壺 A I 7 類・粗製壺 A I 2 類）が主で、今調査でも同じ様相である。後者では、口縁部の内面に沈線の有無があり、形態的に長嗣形も散見される。

注口土器 1 次調査で a 類（注口土器 G II 4 v 類）が主体だが、今調査では 4 r・4 s 類が上層で多い。

さて、上記の様相からは、第 1 次調査は、大洞 C 2 式期の範疇ながら、前段階の大洞 C 1 式期の系譜を引く文様が多く、今調査のものより全体に古い様相と捉えられる。層位的にも今調査の F 3 層に主に対応するようである。また、1 次調査 B 地区では、今調査の F 1 ~ F 2 層の次期の大洞 A 式期（工字文）の土器群も認められない。

その結果、全体には、土器形態の類似や層準から 1 次調査の 1~2・3・4（層）が概ね今調査の F 4~F 3 下・F 3・F 2 に各々対応するものと考えられる。また、今調査の最も新相段階である F 2 の一部や F 1 層に対応する層が欠落するか、削平などにより消失した可能性がうかがえた。なお、第 1 次調査では近接の C 地区から大洞 A~A' 式期の土器群が出土し、関連もうかがえる。

これらからは、昨年度の第 2 次調査も含めれば、繩文時代晩期中葉から弥生時代初頭にあたり、大きく古い順に第 1 次調査区 B 地区（大洞 C 2 式期古段階）→一部平行して第 3 次調査区 S G 1 谷跡（同 C 2 式期古～新段階～同 A 式期）→第 1 次調査 C 地区（同 A~A' 式期）→第 2 次調査区 S T 40（同 A' 式期～青木畠式期）の変遷が推測される。

B 石器・土製品・石製品

土器以外の出土品で石器・土製品・石製品の特徴的なものを概述する。石器の大半は、S G 1 谷跡から出土した。各層毎の特徴は希薄で、一部器種の少なさもあり、組成は判然としない。但し、大まかな傾向は捉えられ、剥片石器で加工痕のある石器を除くと、定形的な石鎌や石槍、石箋が多く、全体の約 75% を占める。

礫石器は、磨製石斧や、四石、磨石などあるが、全体

に四石や磨石は他遺跡と比べ、非常に少ない。

県内で数少ない蜂の巣石は、北岸の S K 2 貯蔵穴から 2 点出土し、大型の川原石の隆起部裾を多用した凹痕のあり方から、集落内の継続的使用がうかがえた。

他に土偶や石棒・石刀、土冠、線刻繩など祭祀品、玉類など垂飾品の大半が S G 1 谷跡から出土し、概ね各層に準じた時期が推測された。特に第 1 次調査でも出土した石棒・石刀類は、F 3 層などで、斜めに出土するものが多く、廃棄時の様相がうかがえる。玉類では、県内でも希少な新潟県糸魚川産と考えられる翡翠製の玉が出土し、剥片もあり、集落内の加工も推測され、他地域との交流を示す資料となった。土冠は、一般的に石製が多く、第 2 次調査でも弥生時代初頭の石製が出土した。今調査では土製で突起部が棒状のものであった。全体に F 2~3 層出土で大洞 C 2 新相～A 式期と考えられ、第 2 次調査例に先行する、県内では数少ない資料である。

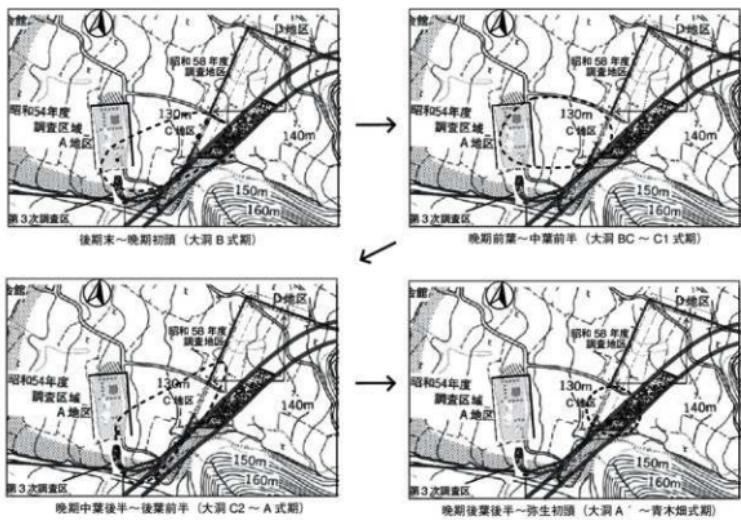
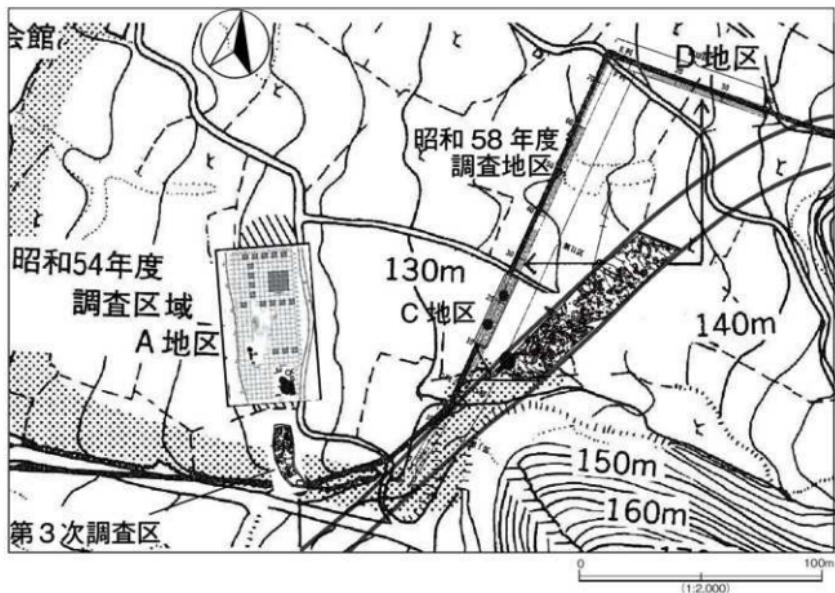
C 作野遺跡の変遷

最後に、上記土器変遷や從来の調査成果を踏まえ、本遺跡の変遷をまとめる。今調査では、S G 1 谷跡から多量の土器群（繩文晩期中葉～後葉：大洞 C 2~A 式期）が各層から段階的に出土した。しかし、前述谷の北側の岸辺（平場）の主な土坑や柱穴跡からは、S G 1 谷跡の主体時期の出土品とはやや時期の異なる土器群（後期後葉：瘤付土器Ⅲ～IV 段階、晚期後葉：大洞 A 式期）で、やや様相が異なる。これは、第 1 次調査 B 地区の報告でも、出土土器の時期幅が晩期中葉後半（大洞 C 2 式期）に限定され、周辺の 1974 年村山市調査区や第 1 次調査 C 地区の住居群の主体時期とも時期を一部異なる。

本項では、S G 1 谷跡に多量の土器群を廃棄した集團や、その移動などを検討するため、昨年度の第 2 次調査成果も踏まえ、從来の調査区を合成（第 28 図）し、出土遺構や遺物の時期を整理し、時期変遷図を作成した。

結果、大別 4 時期に変遷が分けられた。古い順に記す。

I 期：繩文時代後期末葉～晩期初頭（瘤付土器Ⅲ・IV 段階～大洞 B 式期） で、作野遺跡で最も古い段階である。遺跡範囲の中央部より東側の山際の標高の高い昭和 54 年度調査北区・南東区、第 1 次調査 C 区南、第 2 次調査区南半、今調査区北半が主な地域で、主体的な範囲は全体に東西に広がりを持つのであろう。堅穴住居跡（昭和 54 年度南東区 1 棟・第 1 次 C 区 2 棟）、貯蔵穴群（第 2



第28図 道路変遷図

次南半)、土坑(今調査北半)などを主に確認された。

Ⅲ期：同晚期前葉後半～同中葉前半(大洞B C～C 1式期)の段階である。活動域が標高の低い西の平場にやや移動する段階である。昭和54年度調査北区・中央区・南東区、第1次C区が主体地域である。集石・組石遺構(北区)、土坑(中央区)、落し穴(南東区)などが確認される程度である。遺物量などはやや低調で、落し穴などの存在などから狩猟場の性格に起因するかもしれない。

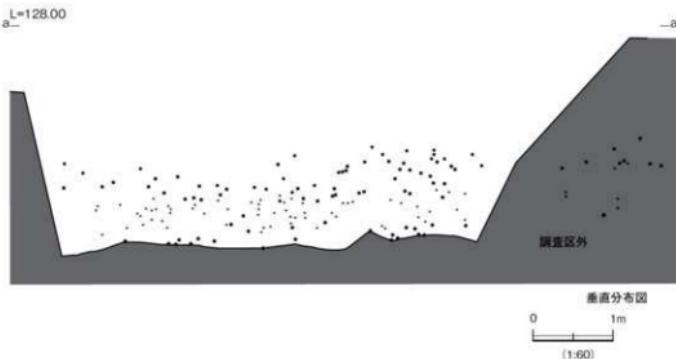
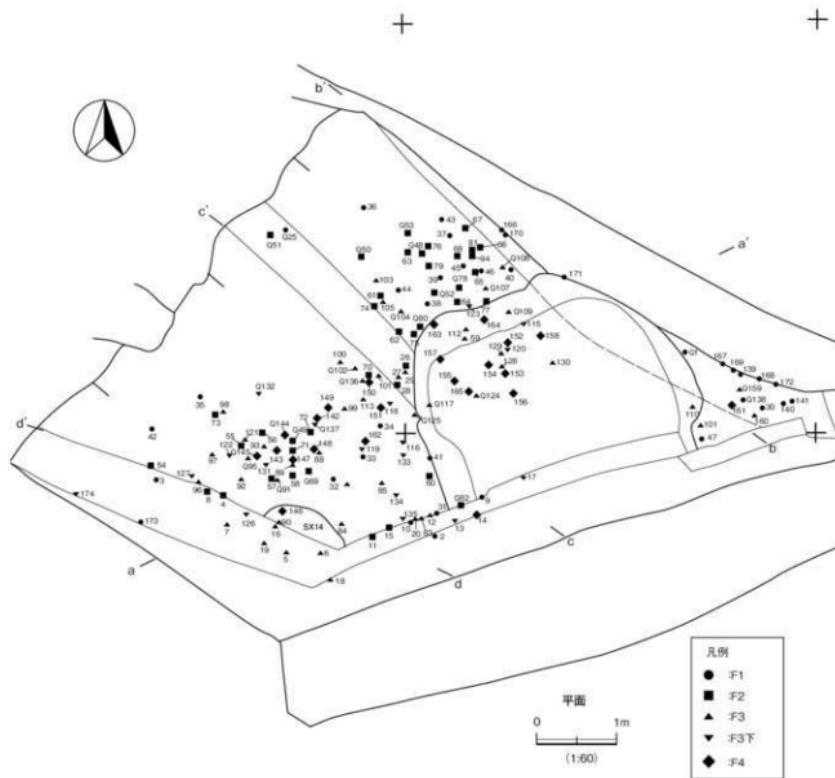
Ⅳ期：同晚期中葉後半～同後葉前半(大洞C 2～A式期)の段階である。明確な活動域は、昭和54年度調査北区・南東区、第1次調査B区(大洞C 2式期)・C区

C～D～30～33 G(大洞A式期)、今調査区の谷跡などに限られ、集落主体もやや南側への移動も考えられる。堅穴住居跡(南東区1棟)、土坑(北区)、溝跡(今調査北半)、谷跡(第1次B区・今調査南半)などで、谷の多量の遺物に対して遺構は判然としない。

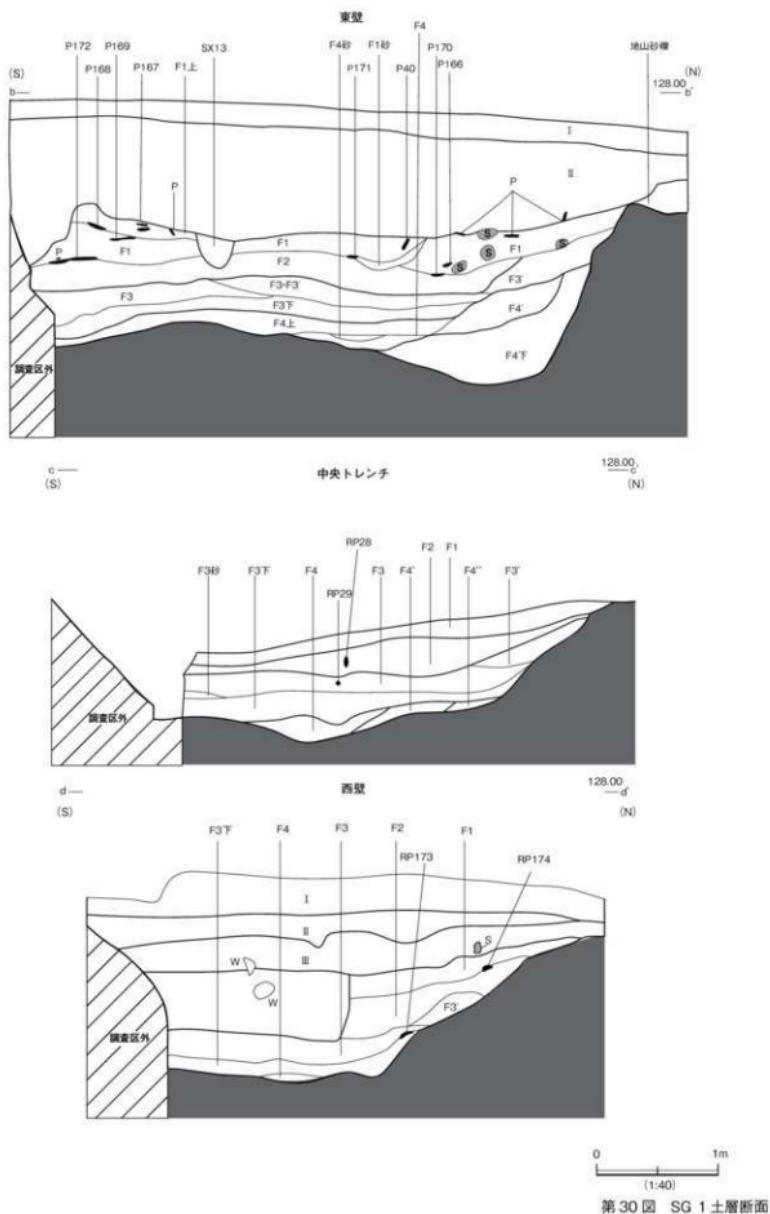
Ⅴ期：同晚期後葉後半～弥生時代初期(大洞A'～青木畠式期)の段階である。再び標高の高い遺跡東側に主体地域が移り、規模が限られる。第1次調査C区・第2次調査区南端などが主体地域となる。県内では数少ない堅穴住居跡(第2次南端)があるが、第1次調査C区では一部土器群のみで明確な遺構は不明である。

参考文献

- 阿子島功 1990 「土地分類基本調査 槍山」山形県
 安孫子昭二・加藤稔 1982 「縄文時代後・晚期」『村山市史 別巻一原子・古代編』村山市教育委員会
 安孫子昭二・加藤稔 1981 「村山市史編集資料第9号」『作野遺跡遺物集成』村山市史編さん委員会
 安孫子昭二 1989 「窟付土器様式」『縄文土器大観 4』小学校
 阿部明彦 1988 「蟹沢跡」『東根市史別巻上』考古・民族編 東根市教育委員会
 石川日出志 2003 「関東・東北地方の土器」『考古資料大観 I 弥生・古墳時代 土器 I』小学館
 横松暎彦 2007 「村山市宮の前遺跡第3次調査の遺物組成について」『北村山の歴史』第9号・北村山地域史研究会
 小林圭一 2001 「最上川流域における縄文時代後・晚期の遺跡分布」『山形考古』第7号第1巻
 小林信行 1996 「縄文文化」『日本土器事典』雄山閣
 佐藤庄一 1978 「山形県における縄文時代終末期の土器様相」『山形考古』第2卷第3号
 佐藤嘉広 2004 「山形の縄文から弥生へ」「さあい～」第21号 さあい同人会
 鈴木克彦 2001 「東日本での縄文後期土器編年研究」雄山閣
 鈴木正博 1987 「続 大洞 A 2式考」「古代」第84号 早稲田大学考古学会
 須藤隆 1973 「土器組成論」「考古学研究」第19巻第4号
 須藤隆 1998 「東日本先史時代文化変化・社会変動の研究」算修社
 藤沼邦彦・関根達人 2008 「亀ヶ岡式土器(亀ヶ岡式土器群)」「絶観 縄文土器」(株)アム・プロボーション
 高橋龍三郎 1988 「亀ヶ岡式土器の文様について」「第3回縄文文化検討会シンポジウム亀ヶ岡式土器の編年について」
 高橋圭一 1998 「仙台周辺の縄文時代後期から晩期初頭にかけての編年動向」「古代」第85号
 中沢道彦ほか 1998 「「ブリカ法による縄文時代晚期土器の柄状圧痕の観察」「縄文時代」9
 中村五郎 1988 「弥生文化の曙光 縄文・弥生文化の接点」未來社
 林謙作 1981 「縄文時代という時代」「縄文土器大成4 晩期」講談社
 藤沼邦彦 1981 「東北地方」「『縄文土器大成4 晩期』講談社
 藤村東男 1983 「縄文土器組成論」「縄文文化の研究」雄山閣
 山野井徹 2010 「山形県地学ガイド」山形県の地質とそのおいたち コロナ社
 山内清男 1930 「所調亀ヶ岡式土器の分布と縄文式土器の終末」『考古学』第1卷第3号 東京考古学会
 山内清男 1937 「縄文土器型式の細別と大別」「先史考古学1卷1号」
 山内清男 1939 「日本遠吉之文化・補註付・新版」-先史考古学会
 山内清男 1964 「縄紋式大器」『総論』『日本原始美術』1 講談社
 山内清男 1979 「日本先史土器の縄紋」先史考古学会
 吉田茂 1968 「村山市出土 土器 村山市文化財叢書第1編」村山市教育委員会
 渡邊朋利・荒川隆史 1999 「縄文時代後期・晩期」『青森県の考古学』高志書院
 会津若松市教育委員会 1977 「幕判」会津若松市教育委員会
 岩手県北上市教育委員会 1977 「九年橋遺跡第3次調査報告書」文化財調査報告書第18集
 宮城県一迫町教育委員会 1985 「山王岡遺跡調査図録」
 宮城県教育委員会 1982 「青木畠遺跡」宮城県文化財調査報告書第85集
 宮城県教育委員会 1987 「田柄貝塚」宮城県文化財調査報告書第111集
 新潟県朝日村教育委員会 2002 「奥三面ダム開通遺跡発掘調査報告書第V 元居敷遺跡II」朝日村文化財報告書第22集
 新潟県教育委員会 2004 「日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書V 青田遺跡」新潟県埋蔵文化財調査報告書第133集
 福島県三島町教育委員会 1990 「荒屋敷遺跡 II」三島町文化財報告書第10集 埋蔵文化財調査報告書V
 福島県立博物館 1988 「三貴地貝塚」福島県立博物館調査報告書第17集
 山形県教育委員会 1984 「作野遺跡発掘調査報告書」山形県埋蔵文化財調査報告書第83集
 山形県埋蔵文化財センター 1995 「宮の前遺跡第2次発掘調査報告書」山形県埋蔵文化財センター調査報告書第19集
 山形県埋蔵文化財センター 1997 「北柳1・2・3遺跡発掘調査報告書」山形県埋蔵文化財センター調査報告書第48集
 山形県埋蔵文化財センター 1999 「宮の前遺跡第3次発掘調査報告書」山形県埋蔵文化財センター調査報告書第65集
 山形県埋蔵文化財センター 2009 「下叶水遺跡発掘調査報告書」山形県埋蔵文化財センター調査報告書第177集



第29図 SG 1 遺物平面・垂直分布図

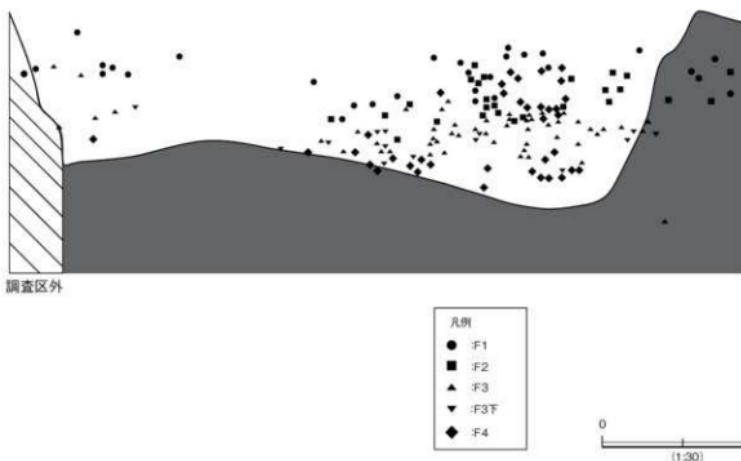


SG1

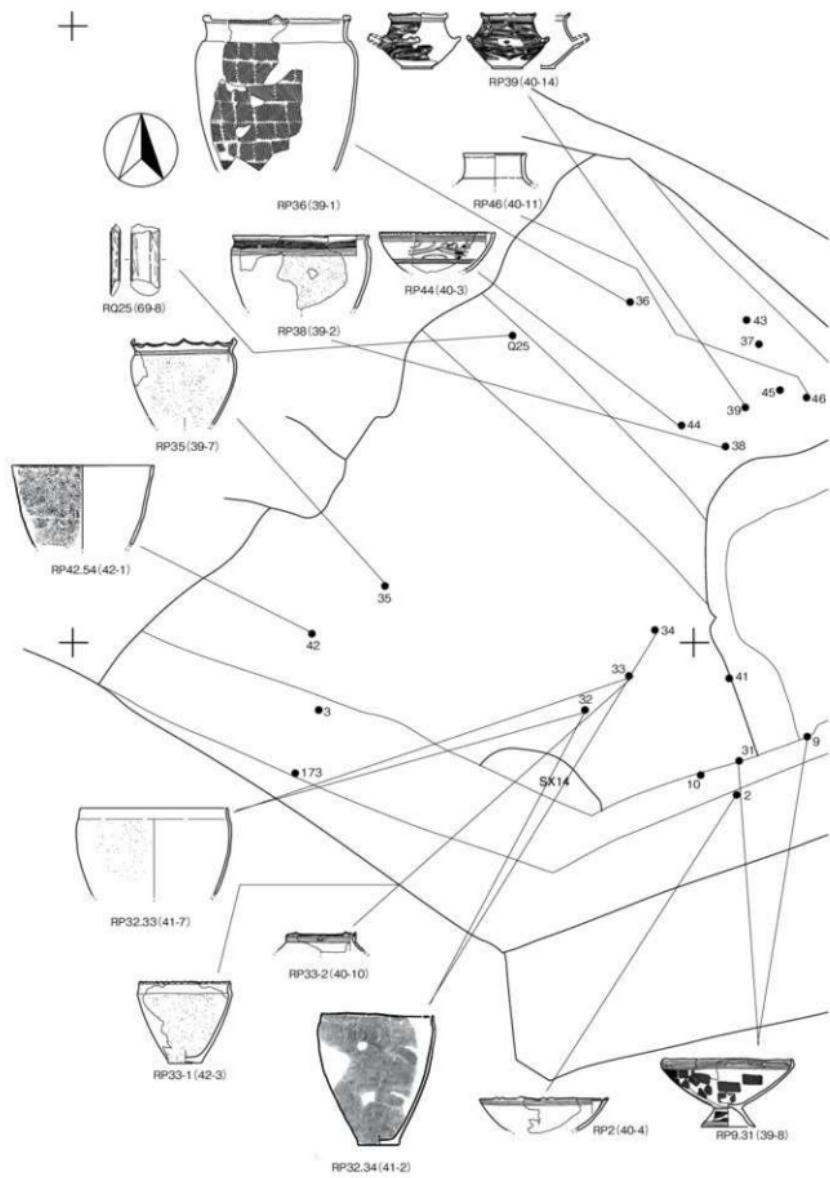
- F1 IOYR3/1 黒褐色紗質シルト 土器を上面に多く含み、地山粒含む しまる
 F1' IOYR3/2 黒褐色紗質シルト 土器を含み、地山砂塊、礫を含む 1より明る地山粒を多く含む
 F2 IOYR2/2 黒褐色紗質シルト 斜面崩落土か F2と類似 F1'2に相当
 F2' IOYR2/2 黒褐色紗質シルト 1より地山粒多く含み、礫を含む 上面に地山砂塊を含む
 F3 IOYR2/1 黒色紗質シルト F3とF2と類似 F2' F3層準 上質はF3に類似 地山塊を含む
 F3' IOYR1/1 黒色粘質シルト 崩壊落土か 2より地山粒少いF3の
 F4 IOYR4/1 暗褐色紗質シルト 硬化粒、地山粒を若干含み、粘質 単一的 土器を多く含む ややしまる
 F4' IOYR6/4 にじい橙色シルト 硬化粒を多く含み粘質 単一的 上面に土器を多く含む やわらかい
 F4 IOYR5/1 暗灰色粘質シルト 砂質だがやや粘土 (F4)と類似 磨を多く含み、地山粒を多く含む 遺物を含む しまる
 F4' IOYR4/2 灰黄褐色微妙 地山砂塊 僧土か
 F4' IOYR4/2 灰黄褐色微妙 砂質を含み、地山粒を若干含む グライ化する 遺物を若干含む やわらかい
 上面に焼土砂塊を含む しまる
 F4' IOYR4/2 灰黄褐色微妙 地山塊を多く含み 土器片を若干含む 墓壊落土 しまる
 F4' IOYR4/2 灰黄褐色微妙 地山粒、塊を多く含む 地山様 崩壊落土か やわらかい
 無機物層

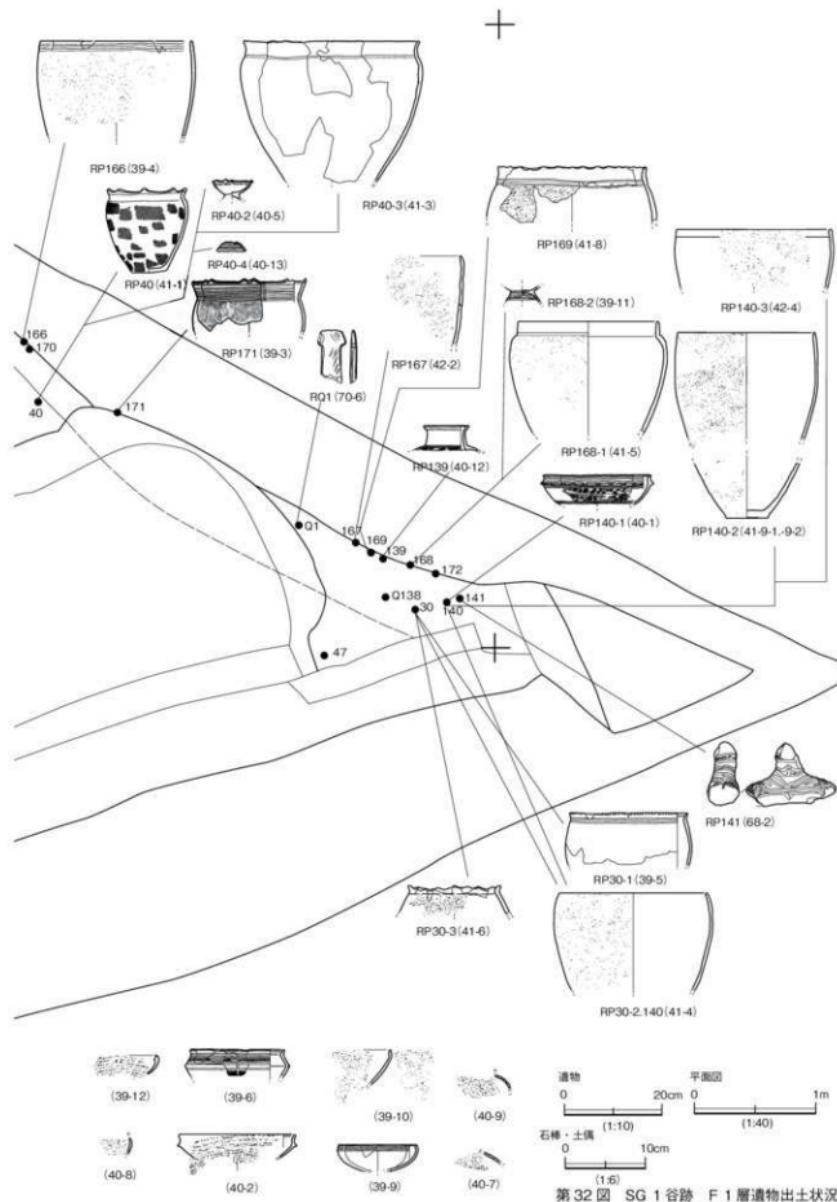
b L=128.00

— b'

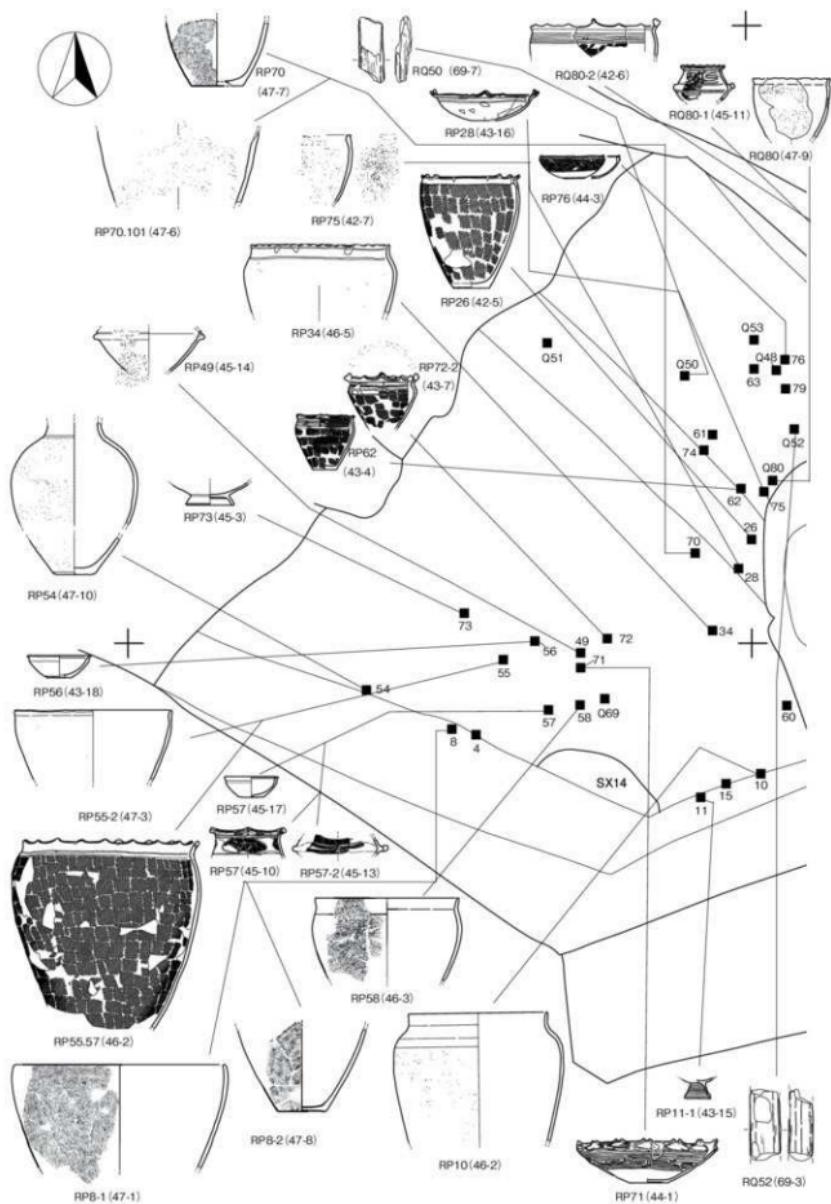


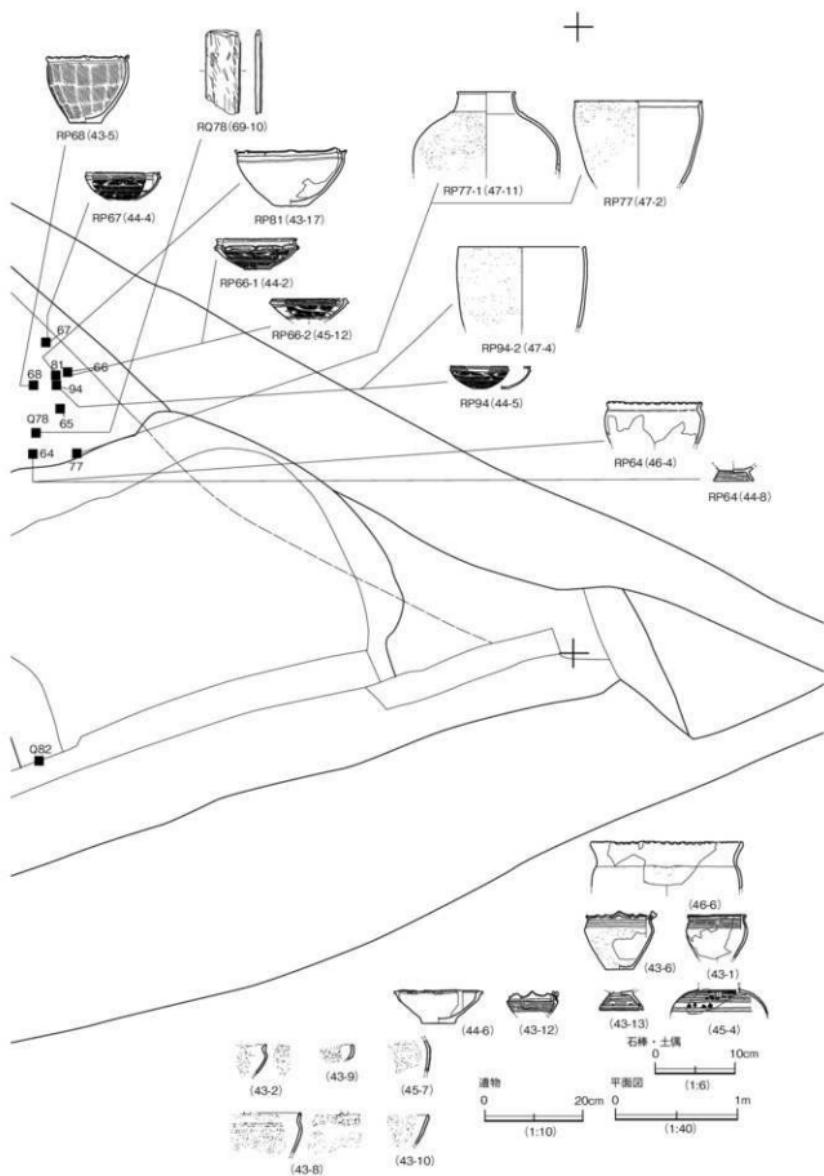
第31図 遺物垂直分布図 (RP)



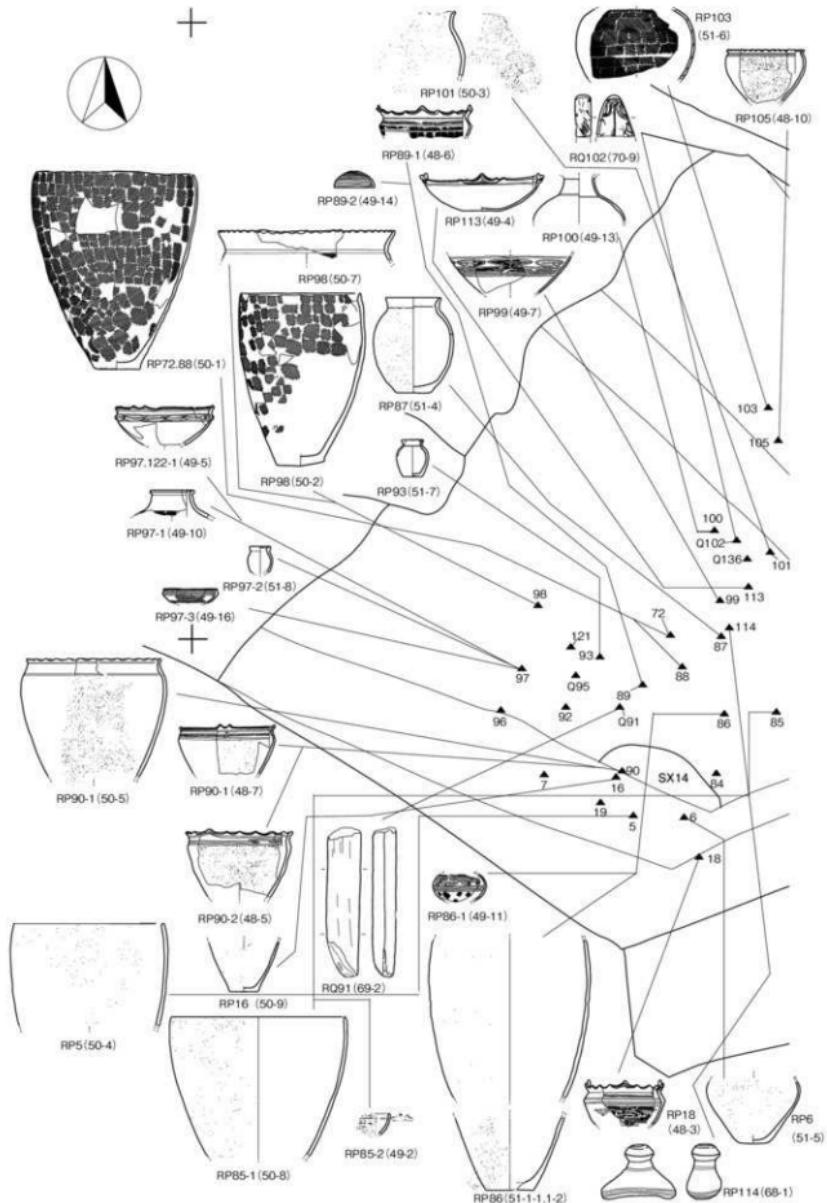


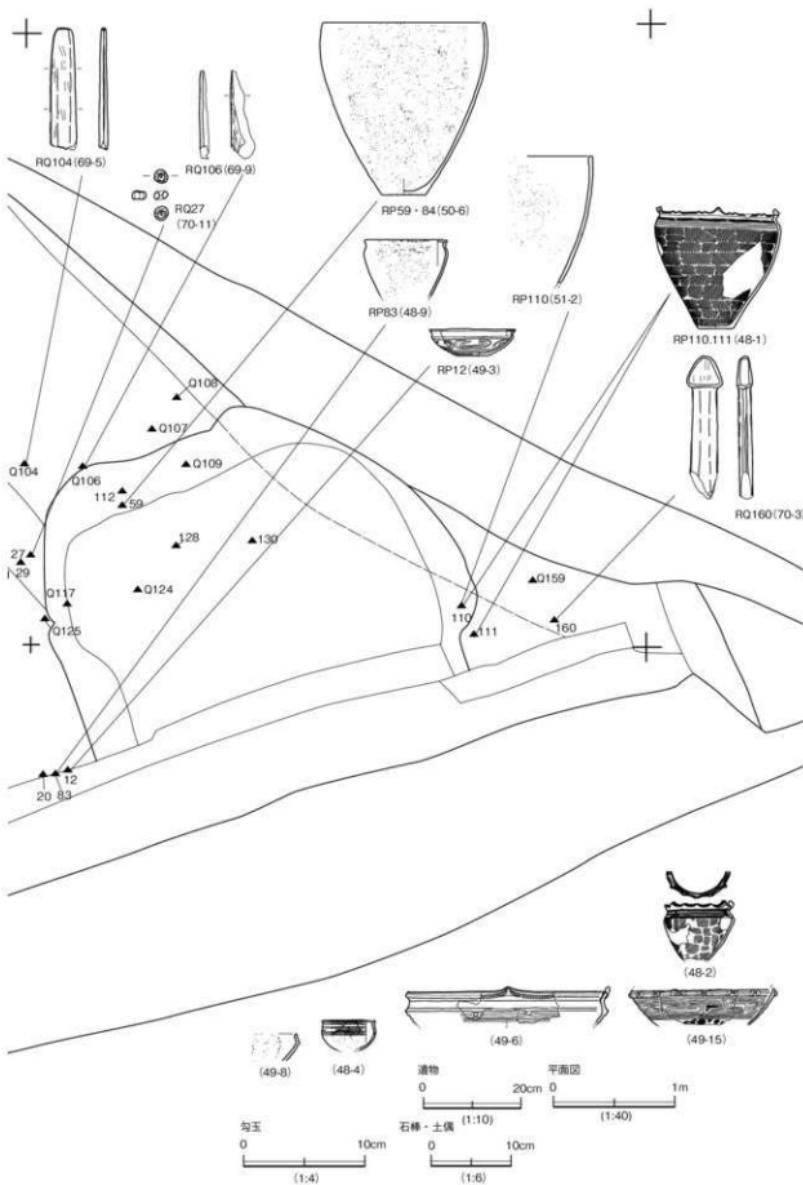
第32図 SG 1谷路 F 1層遺物出土状況



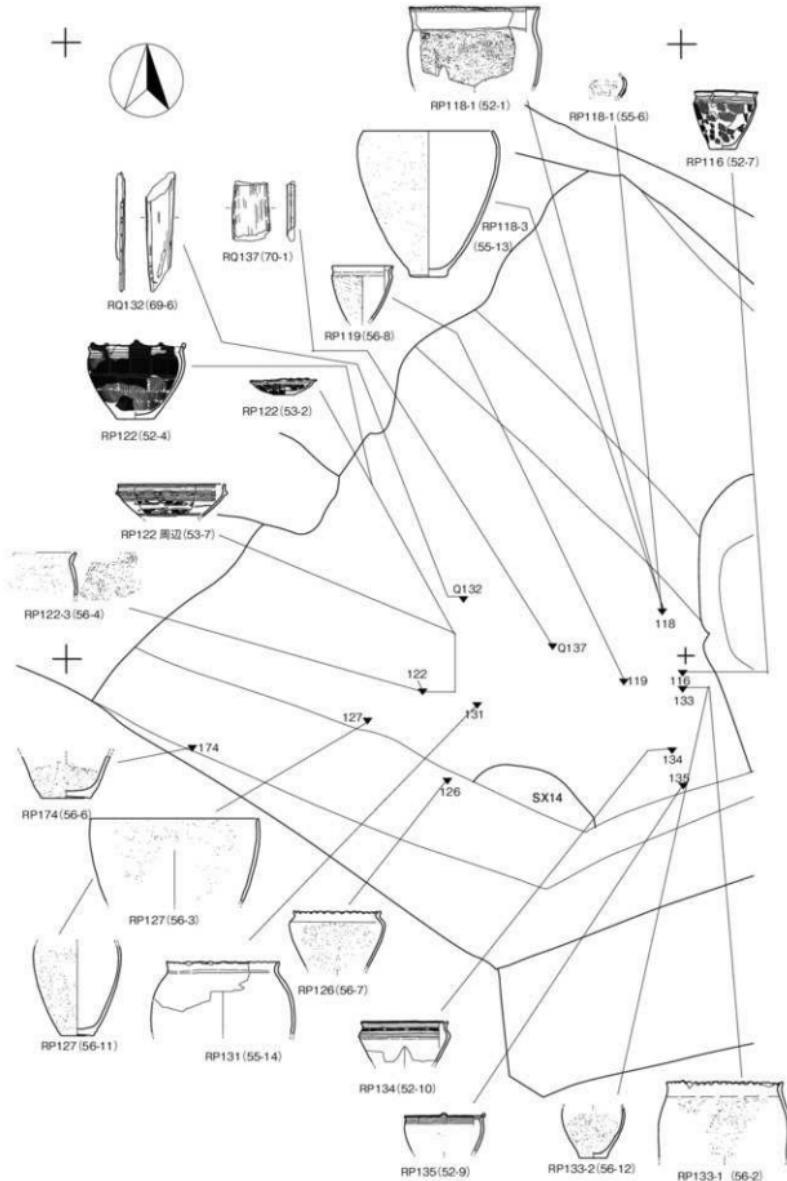


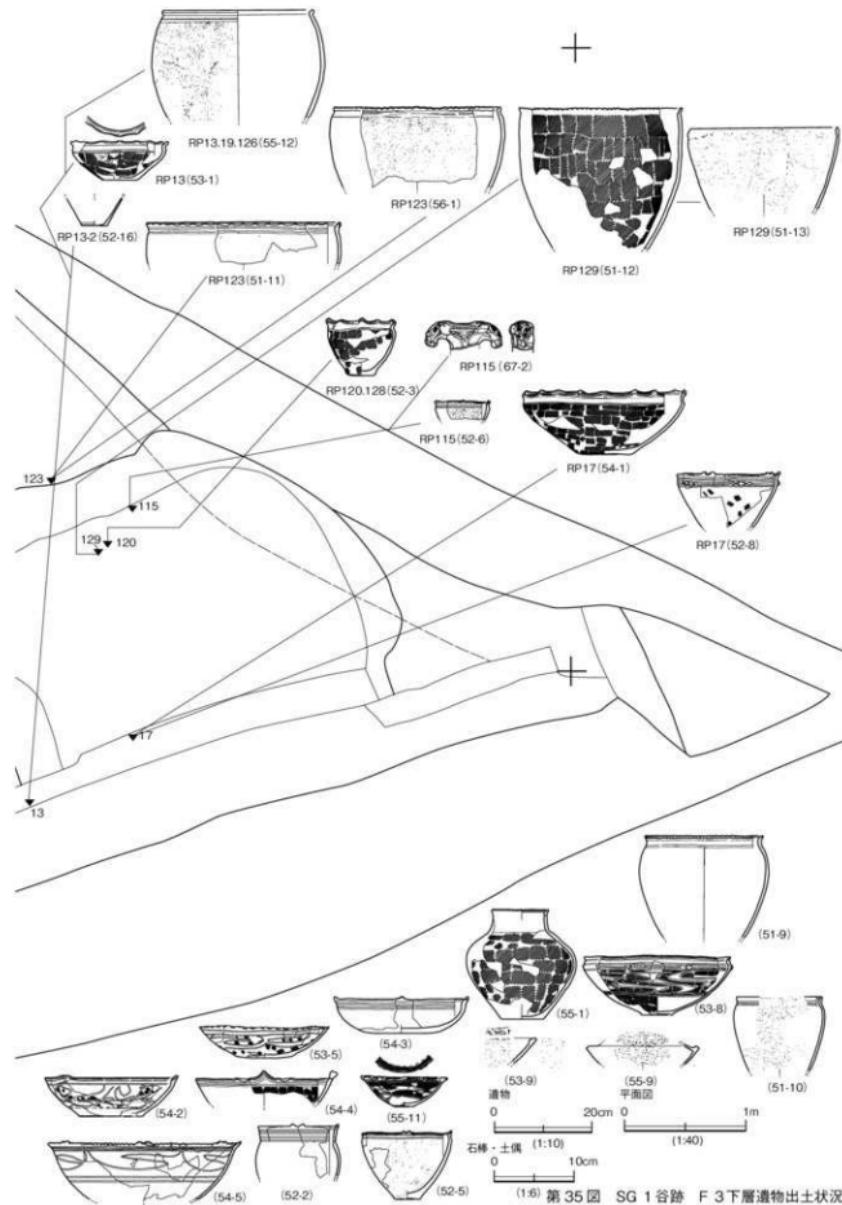
第33図 SG 1谷跡 F 2層遺物出土状況

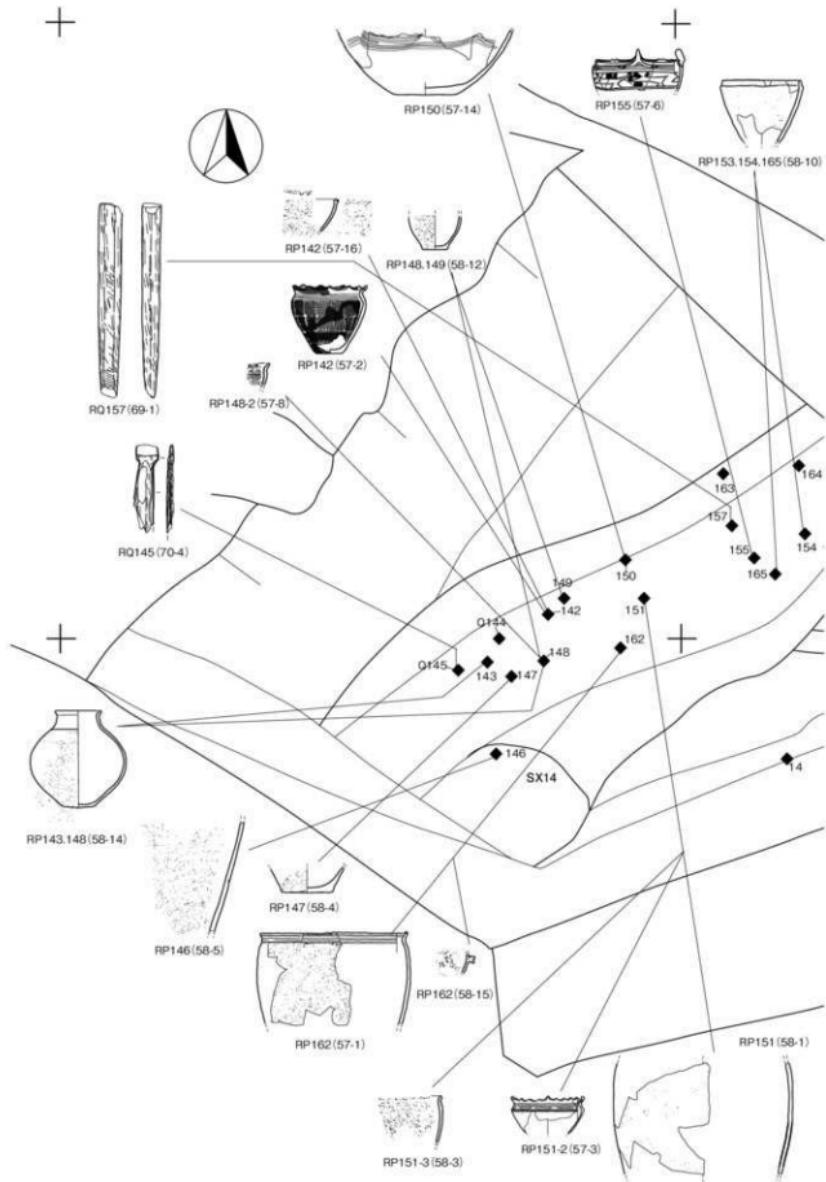


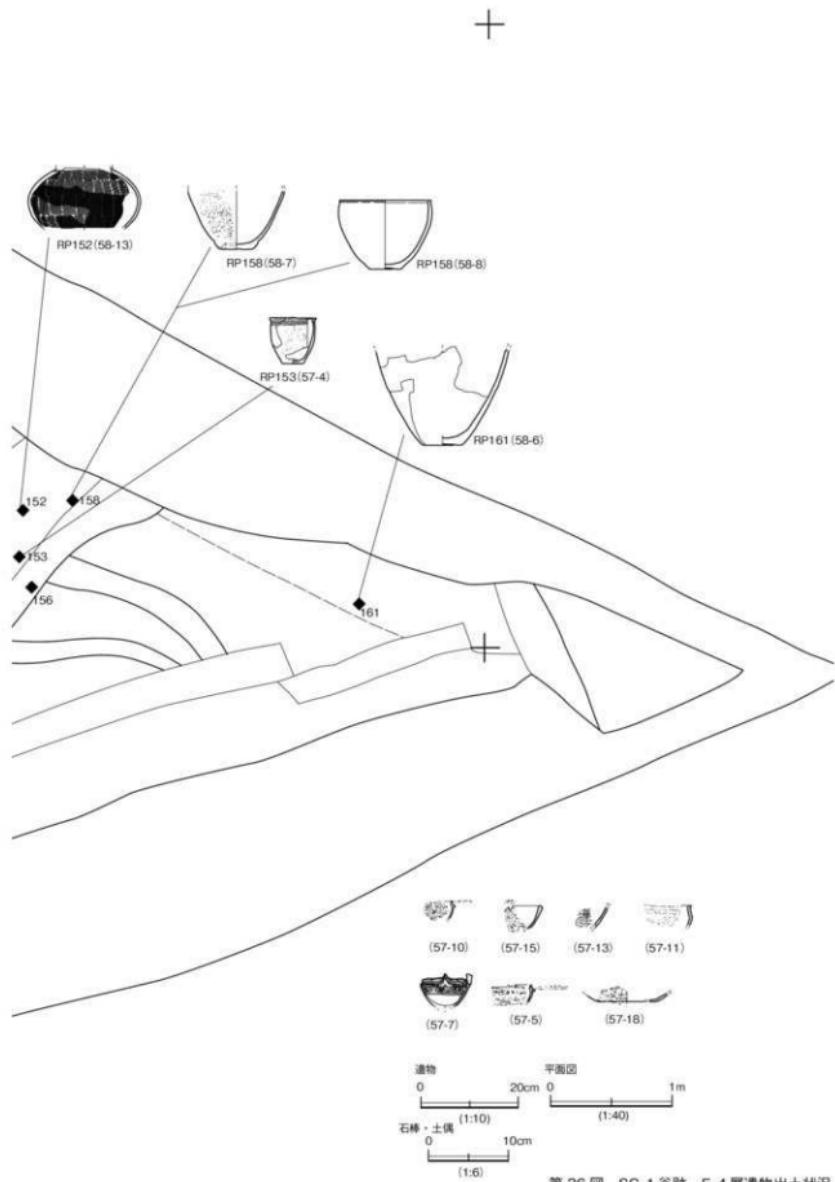


第34図 SG1谷跡 F3層遺物出土状況

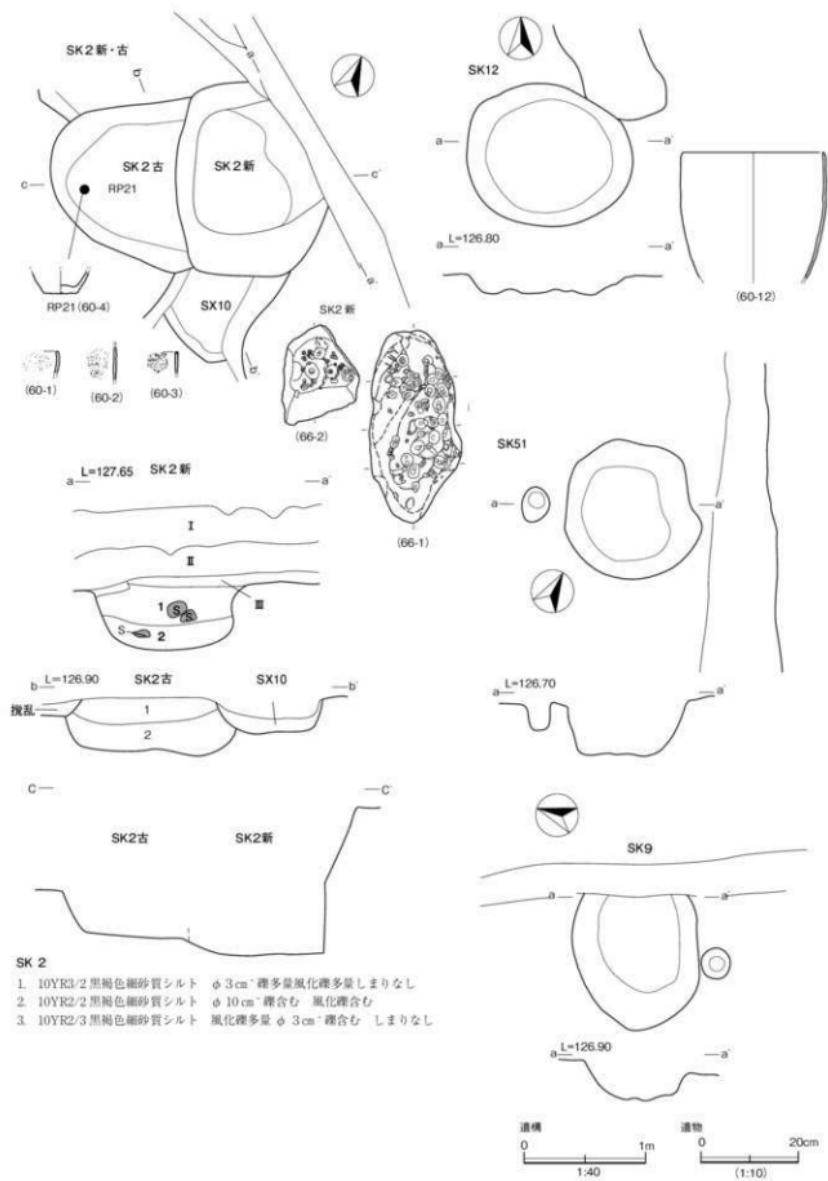




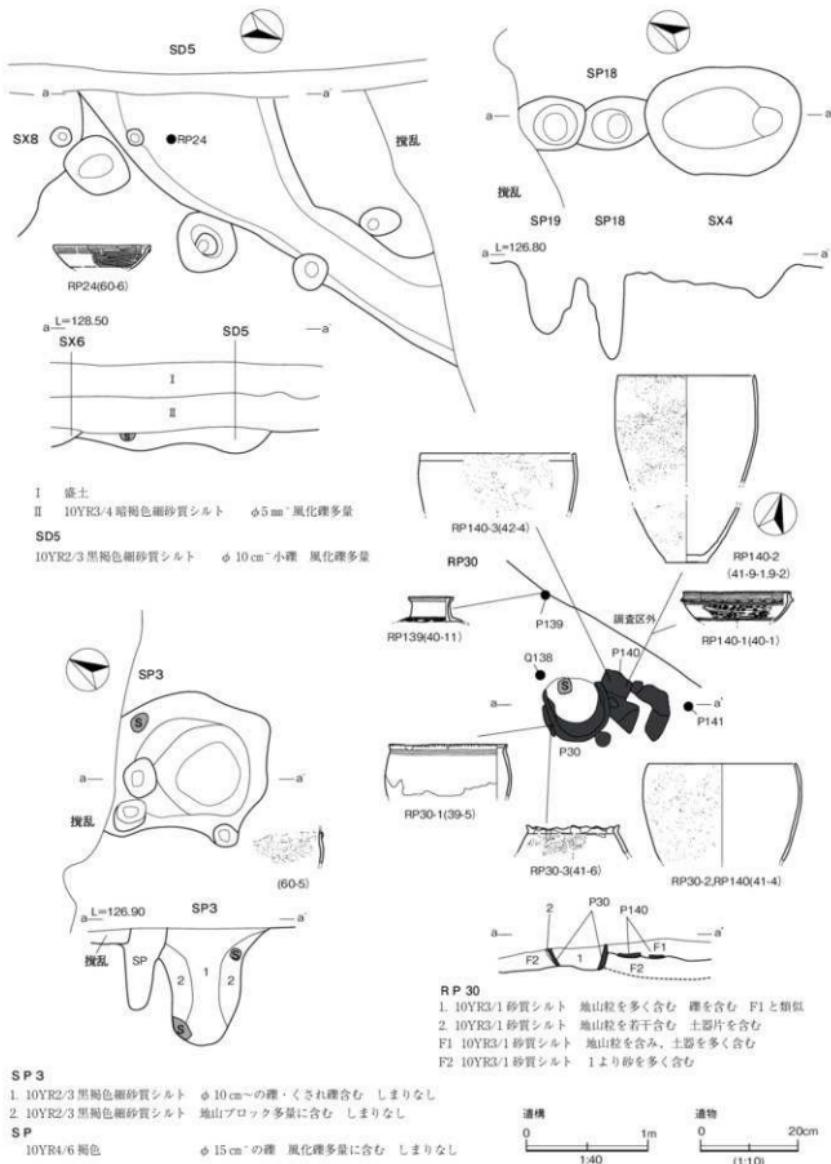




第36図 SG 1谷跡 F 4層遺物出土状況



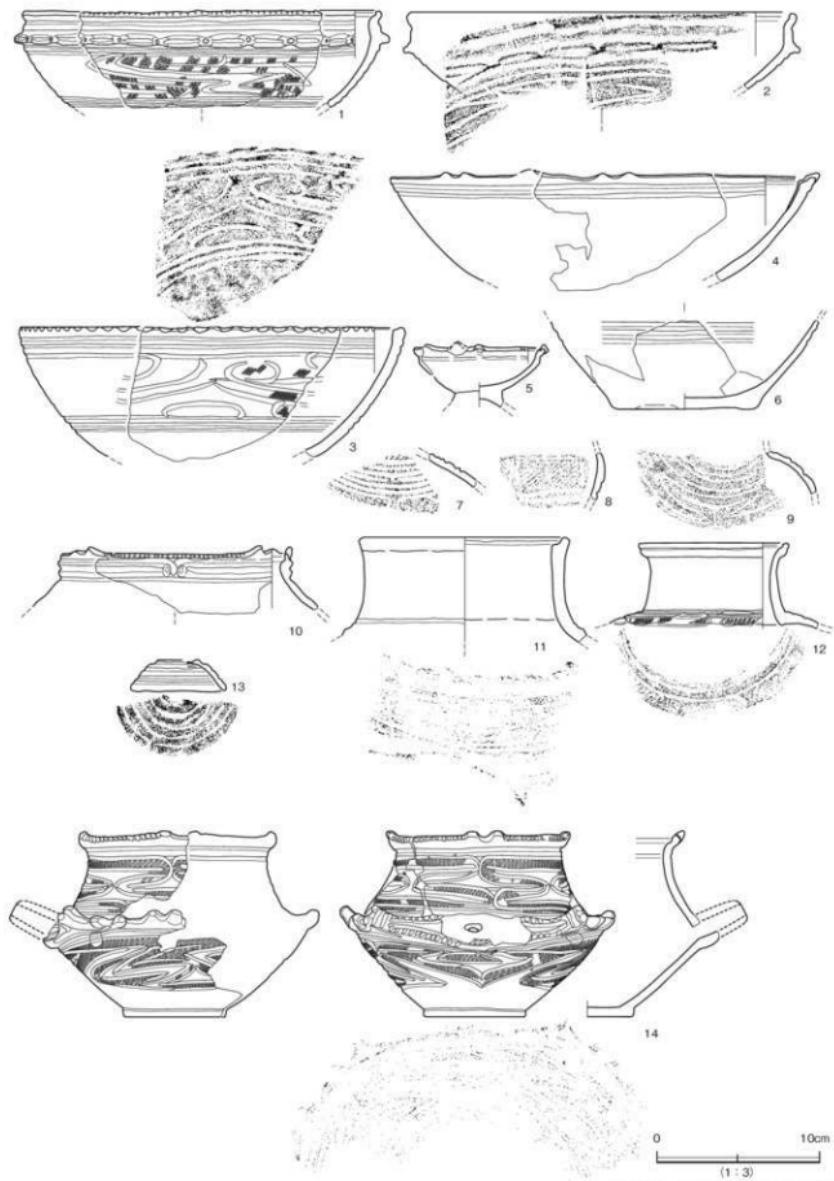
第 37 図 SK2・12・51・9 土坑



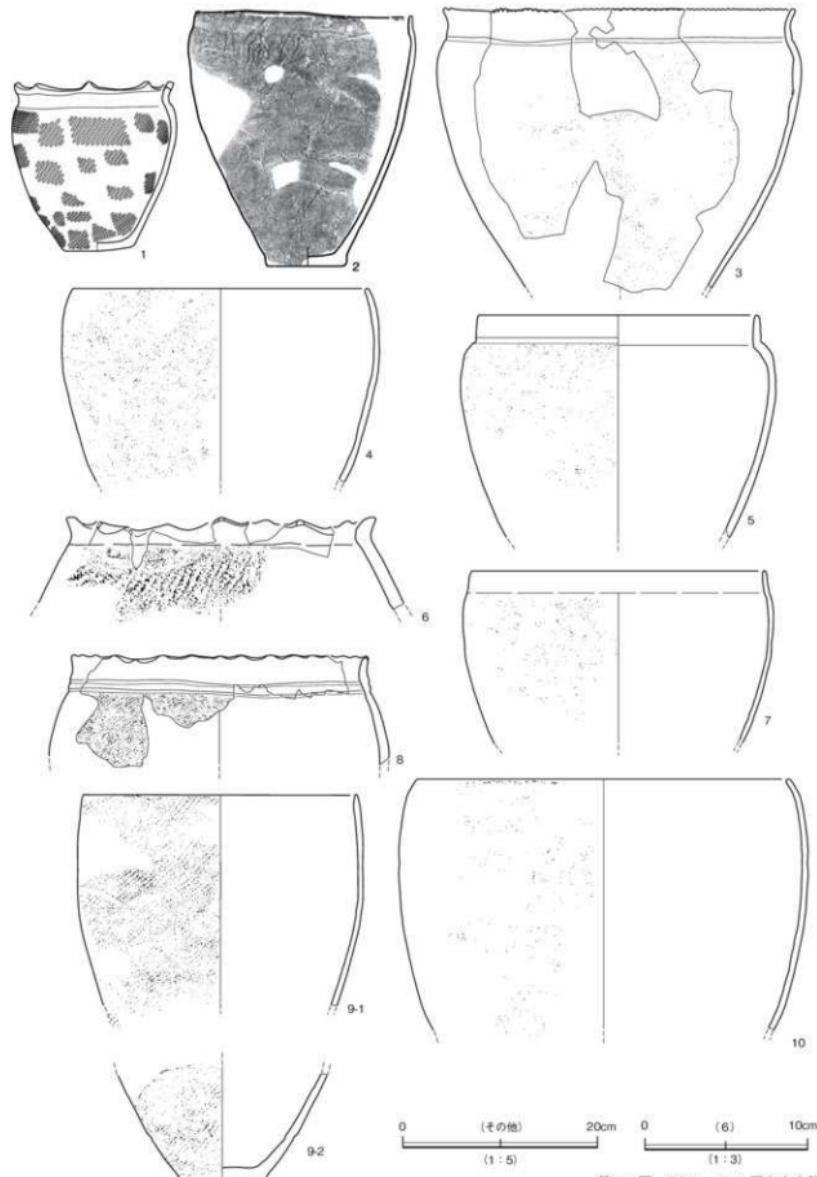
第38図 SD5溝跡・SP3・18柱穴・RP30埋設土器



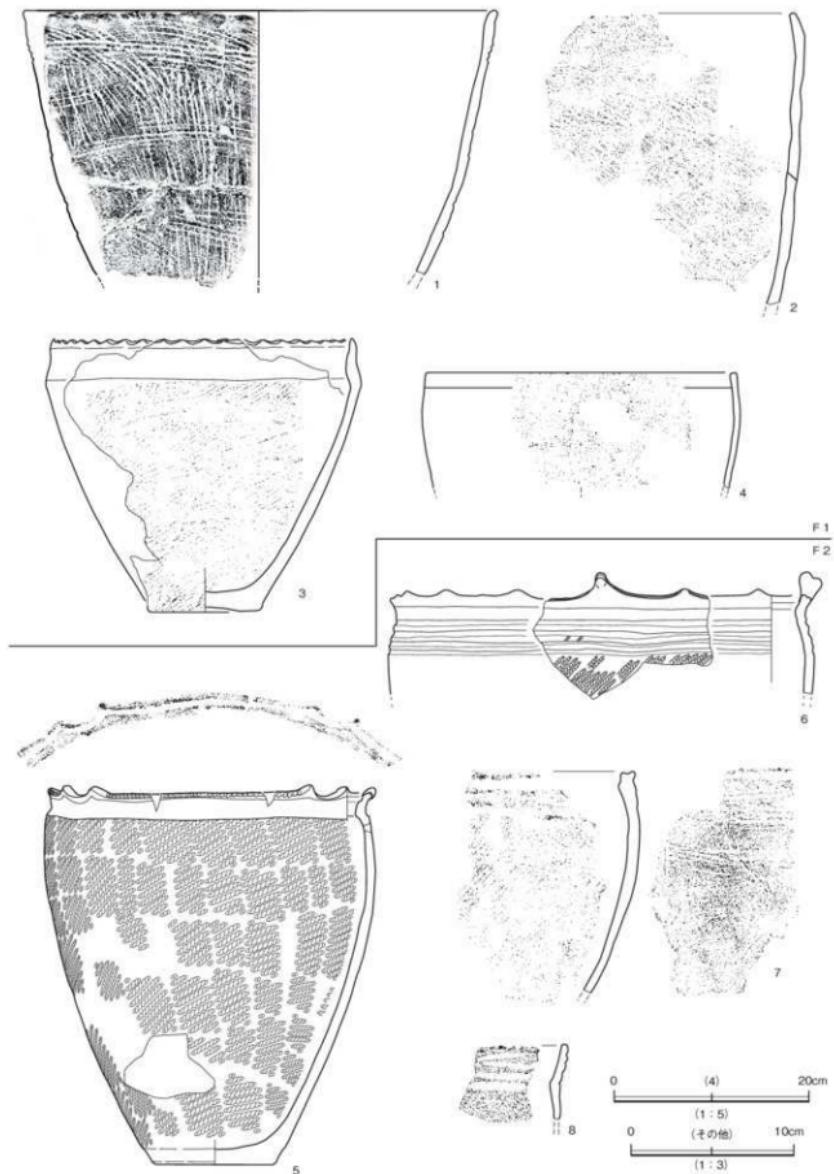
第39図 SG 1 F 1層出土土器



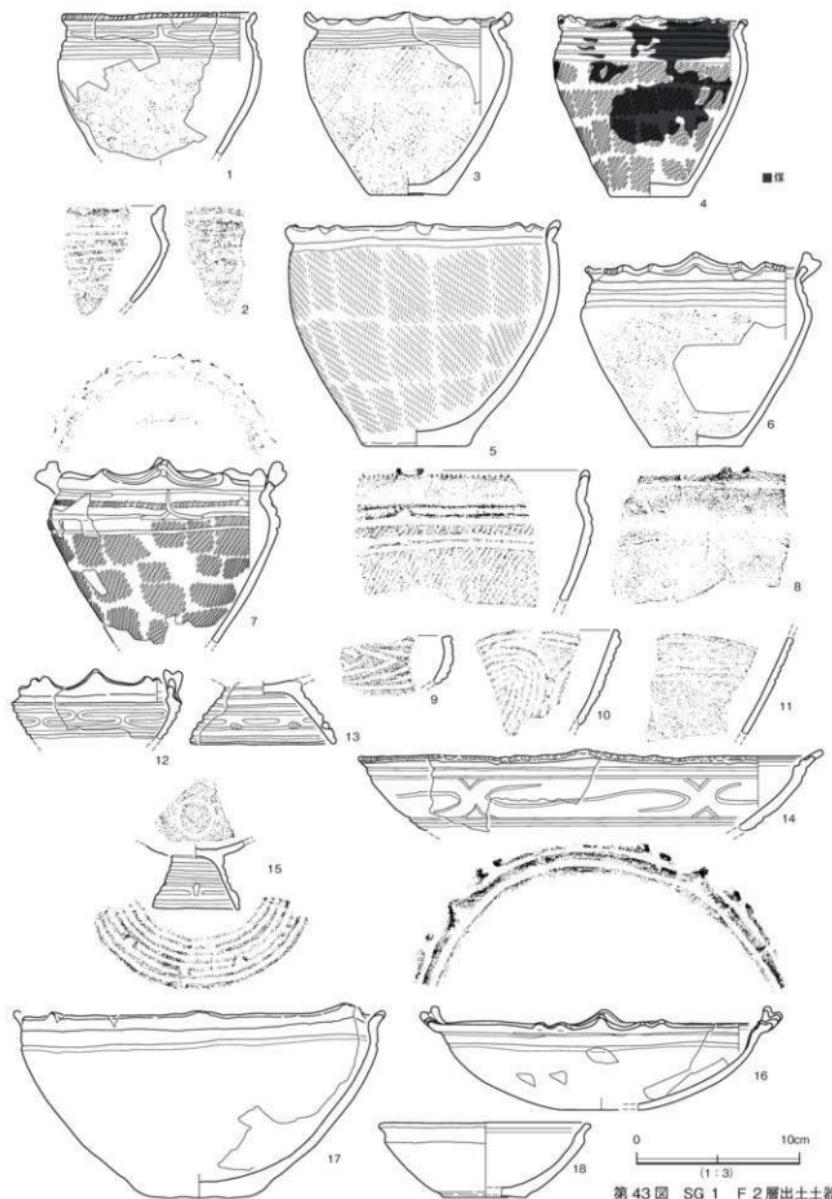
第40図 SG 1 F 1層出土土器



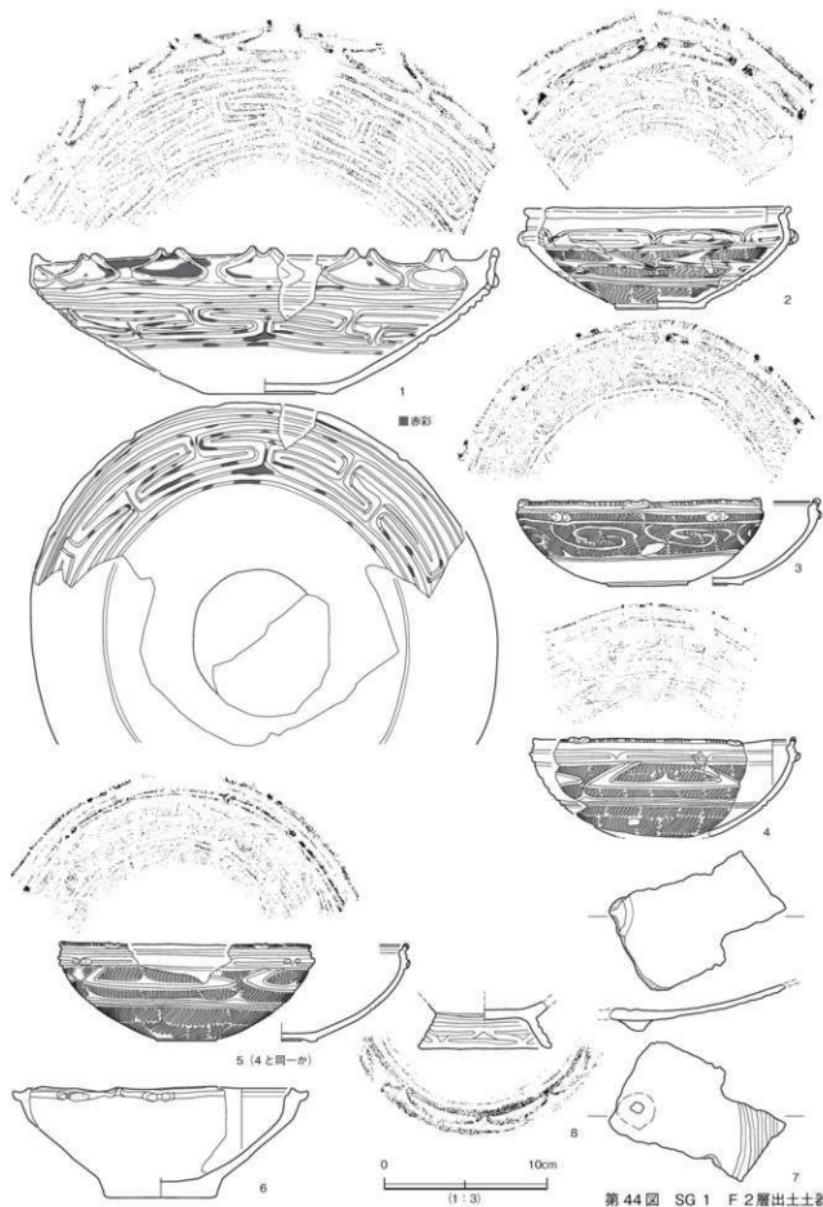
第41図 SG 1 F 1層出土土器



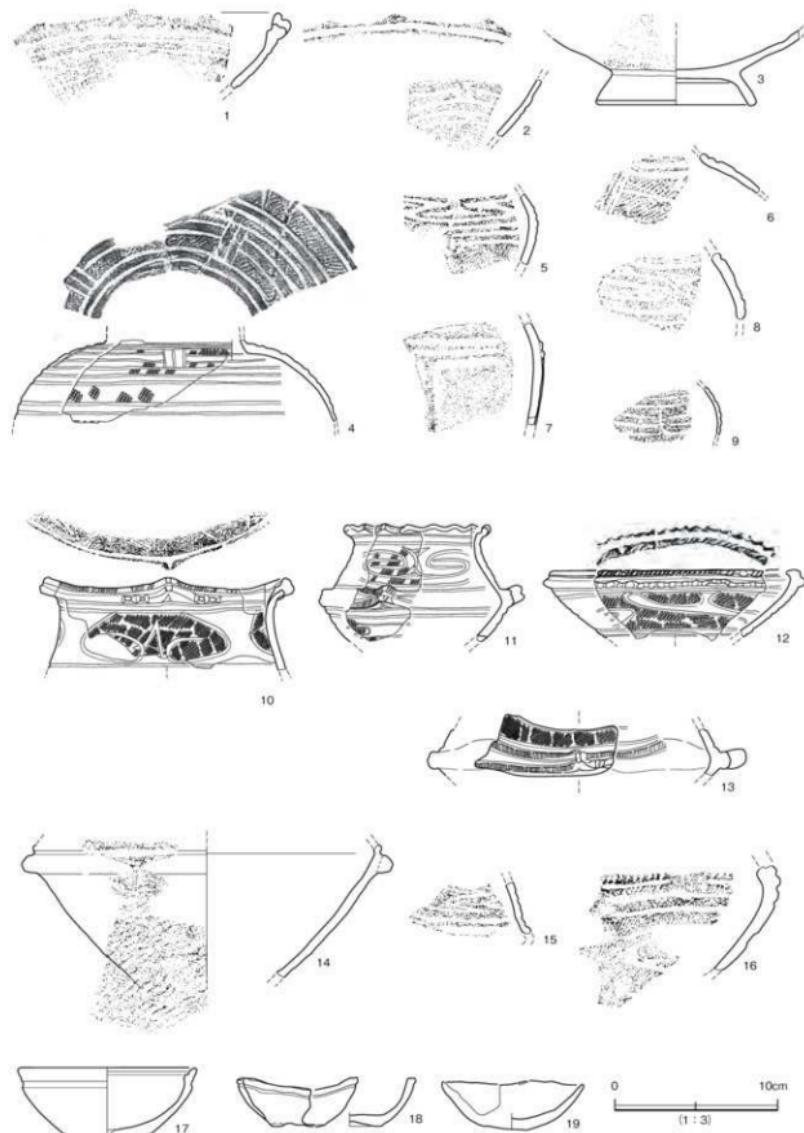
第42図 SG 1 F 1・F 2層出土土器



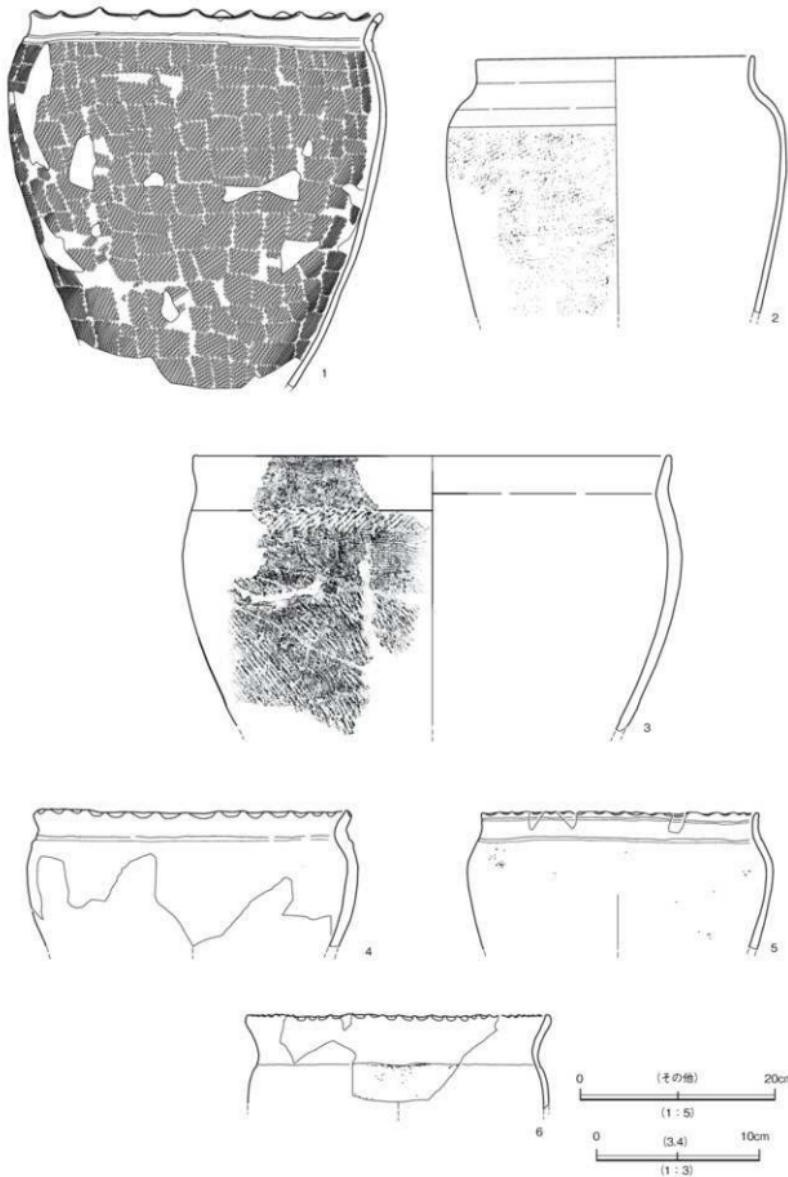
第43図 SG 1 F 2層出土土器



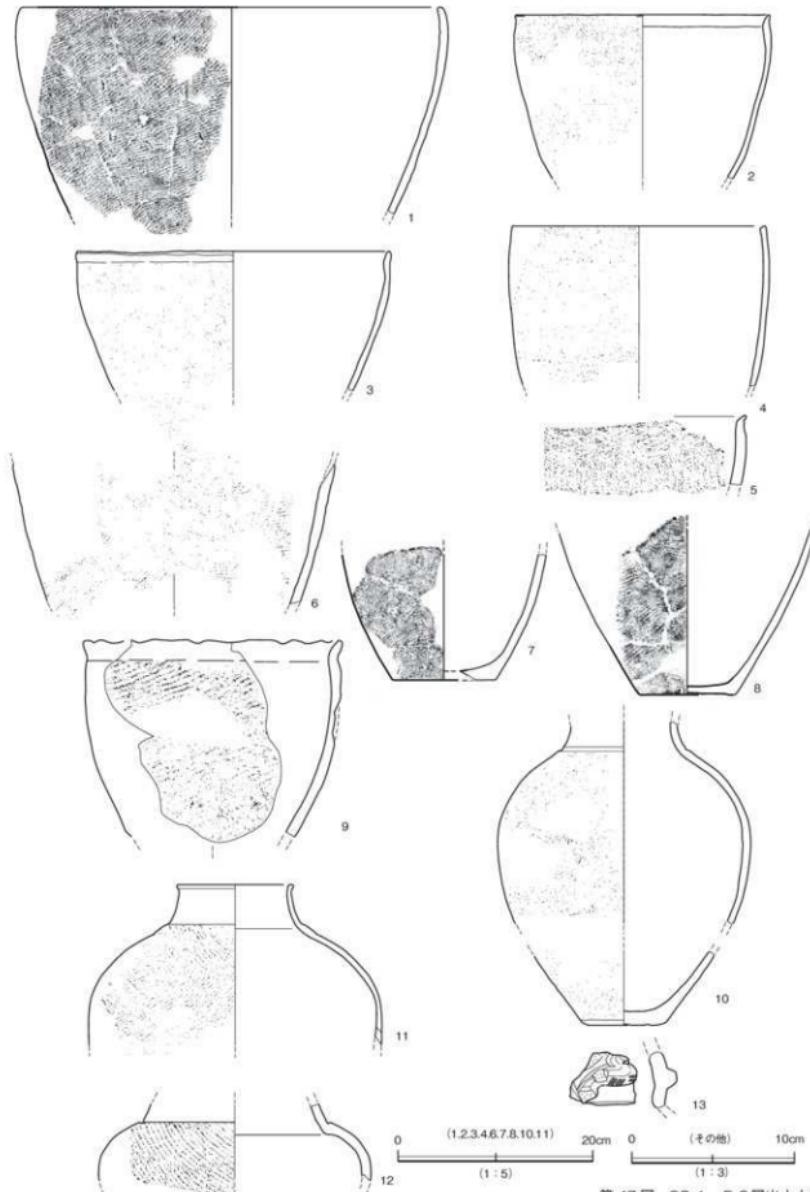
第44図 SG 1 F 2層出土土器



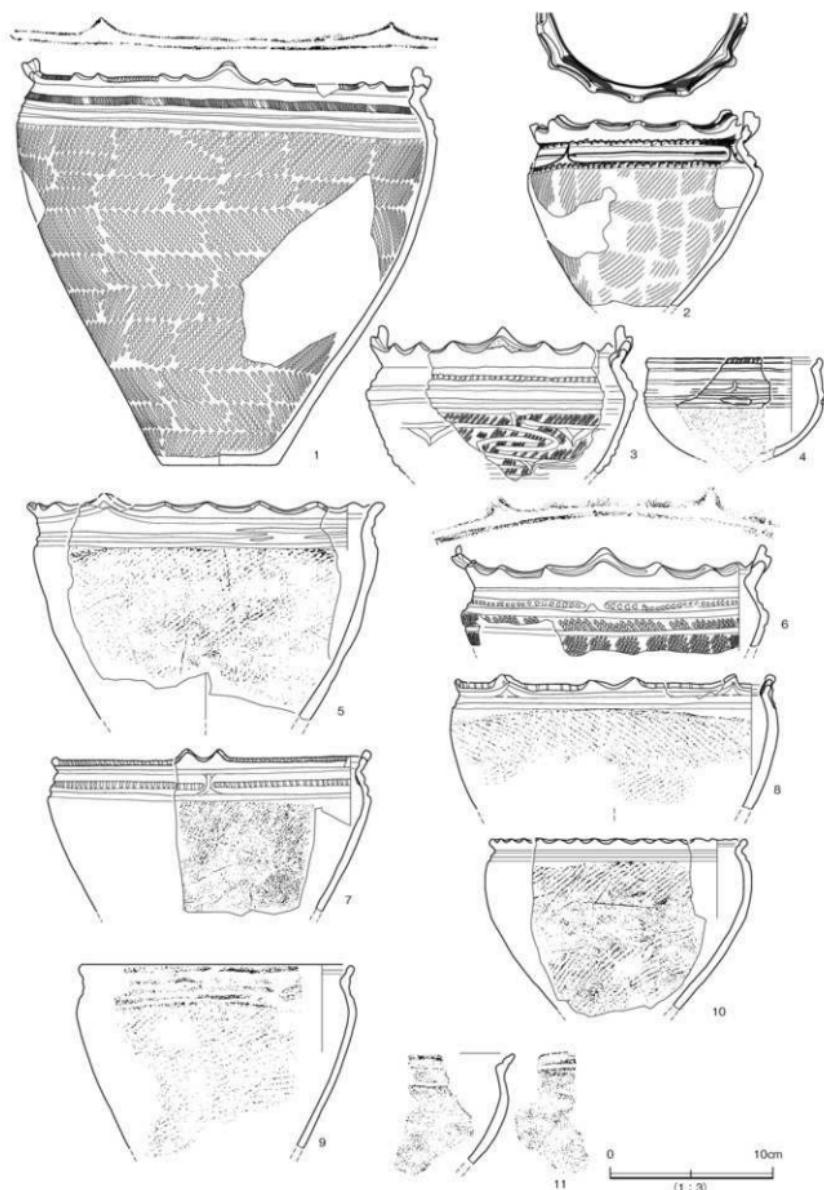
第45図 SG 1 F 2層出土土器



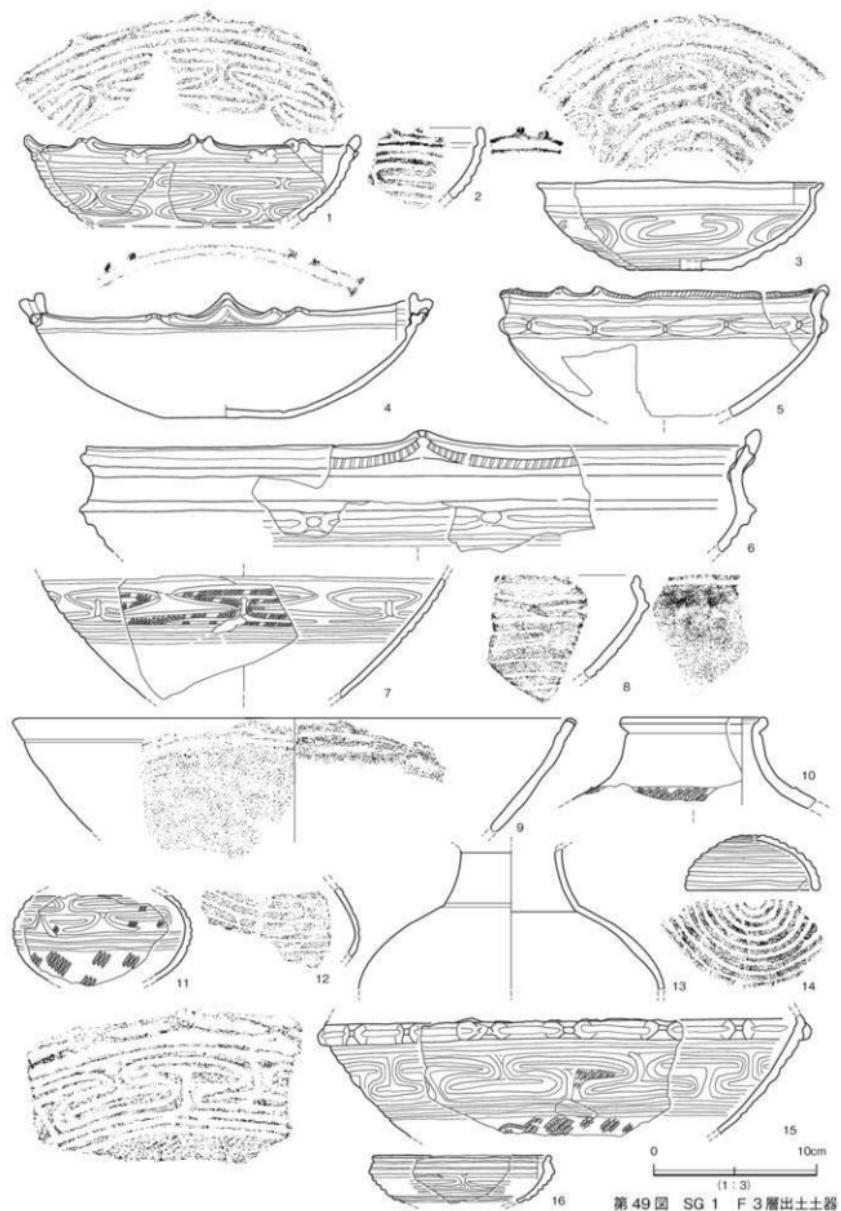
第46図 SG 1 F 2層出土土器



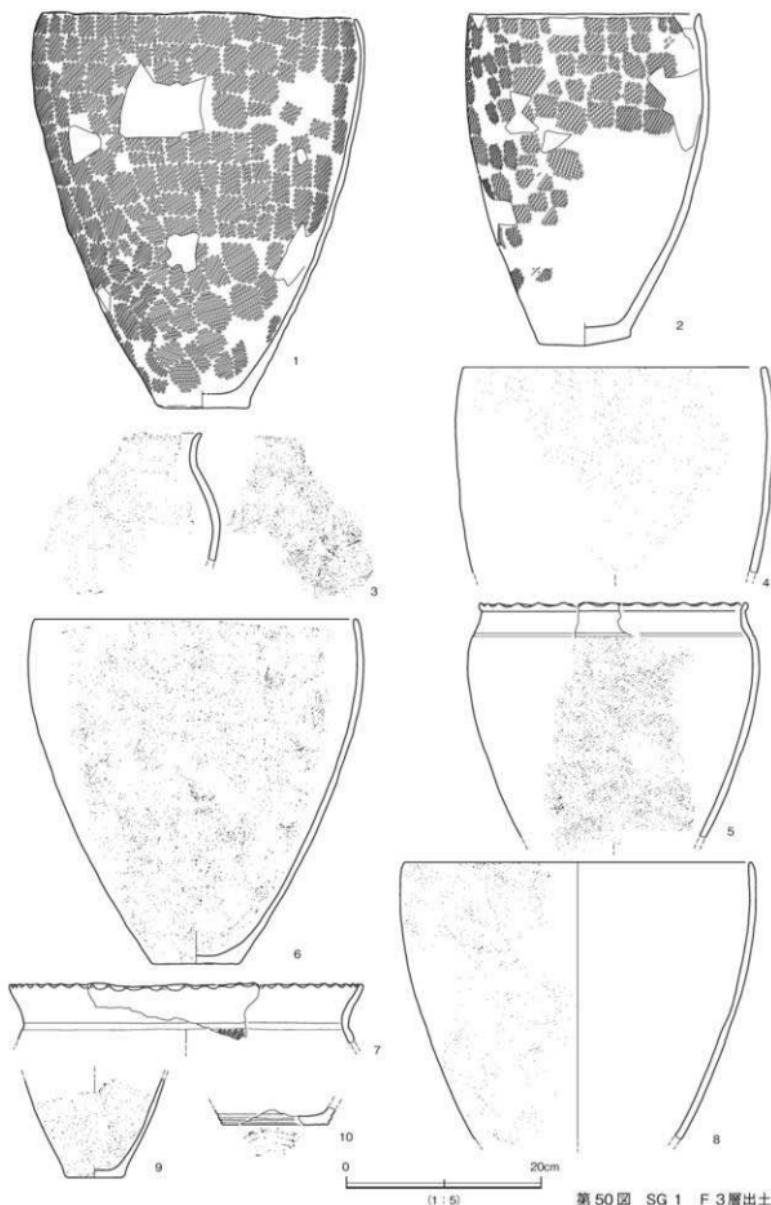
第47図 SG 1 F 2層出土土器



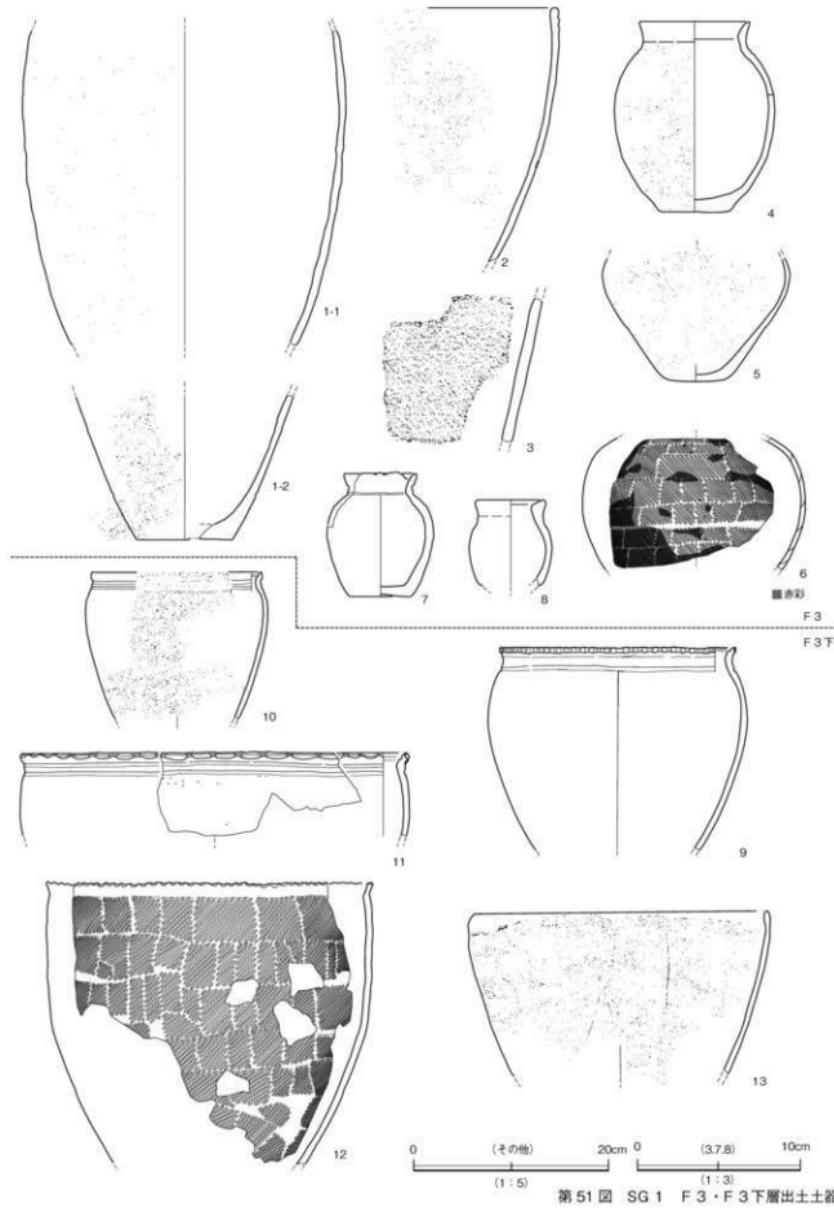
第48図 SG 1 F 3層出土器



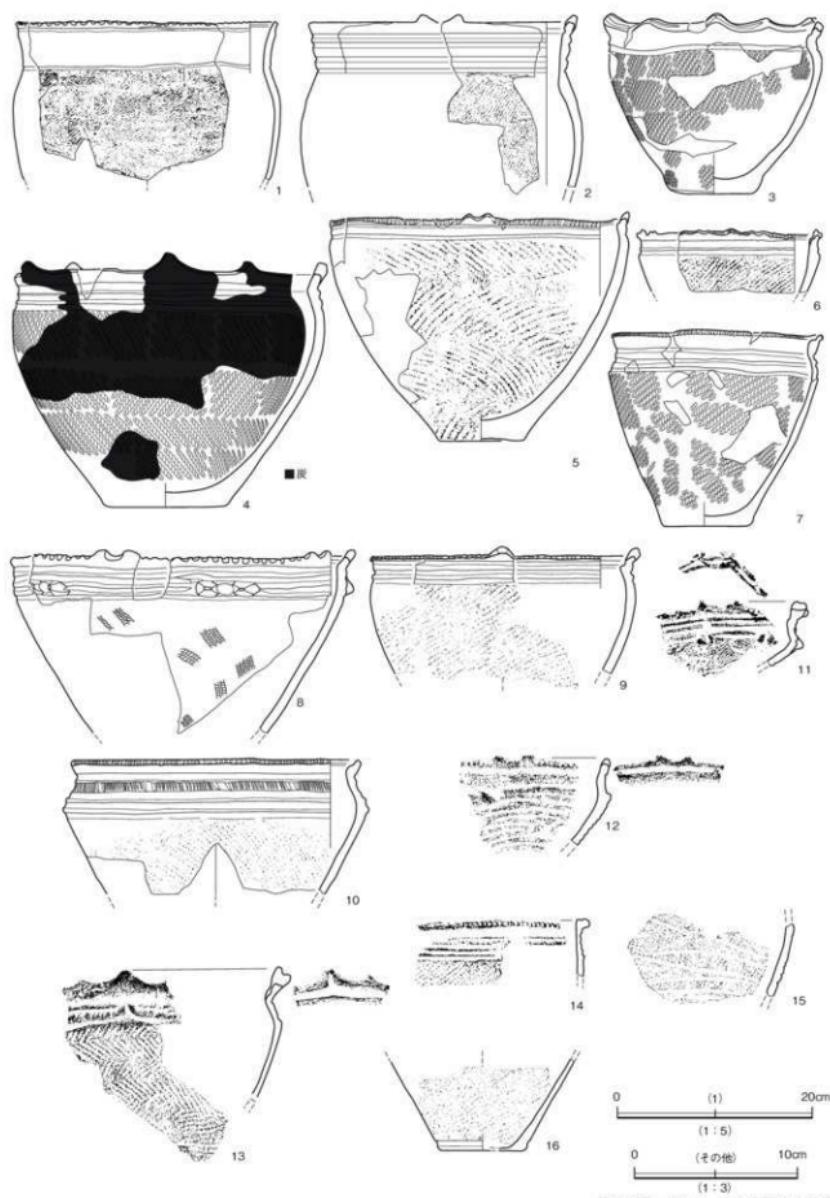
第49図 SG 1 F 3層出土土器



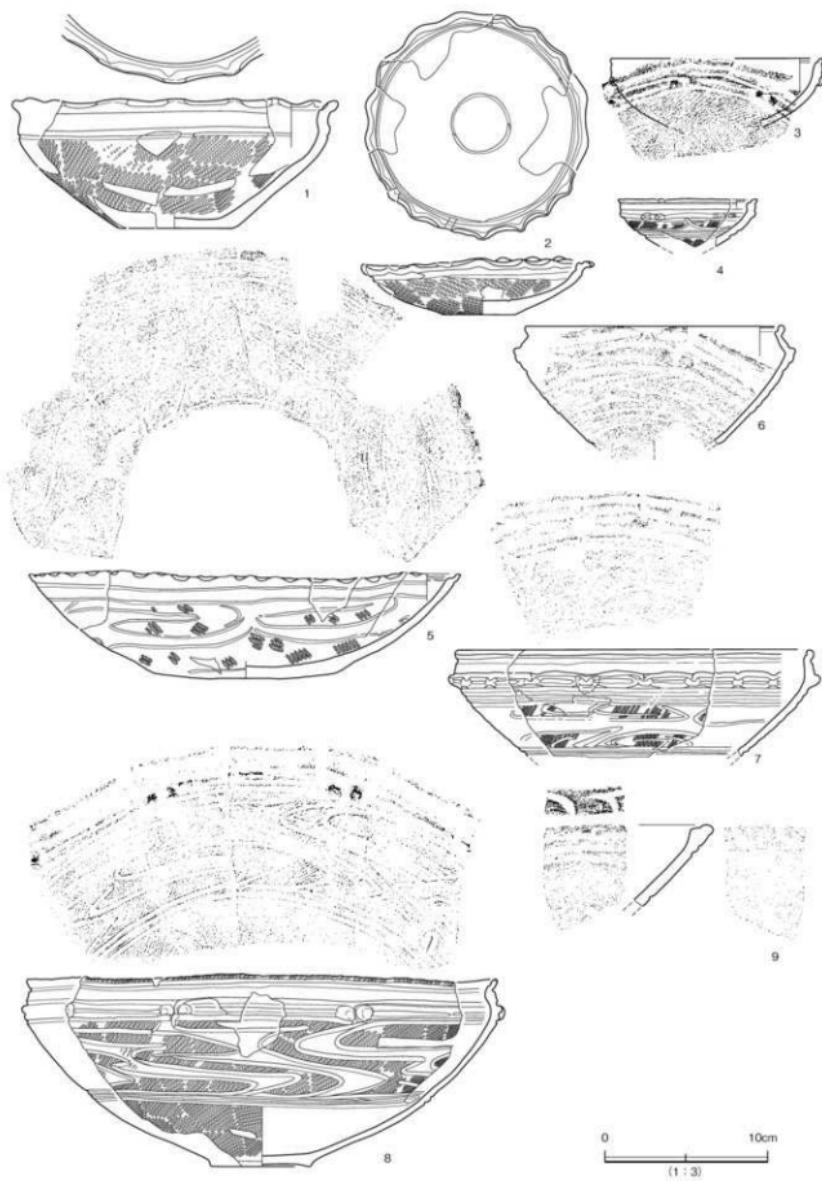
第50図 SG 1 F 3層出土土器



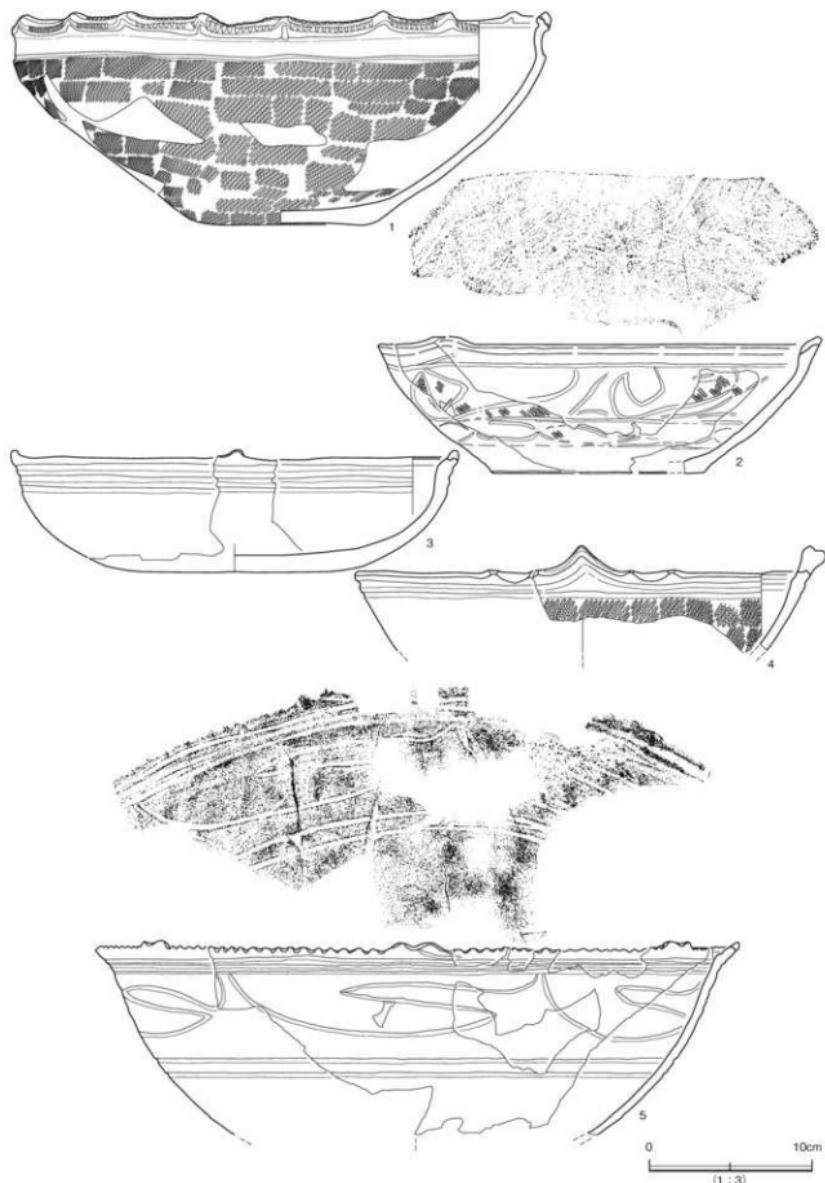
第51図 SG 1 F 3・F 3下層出土土器



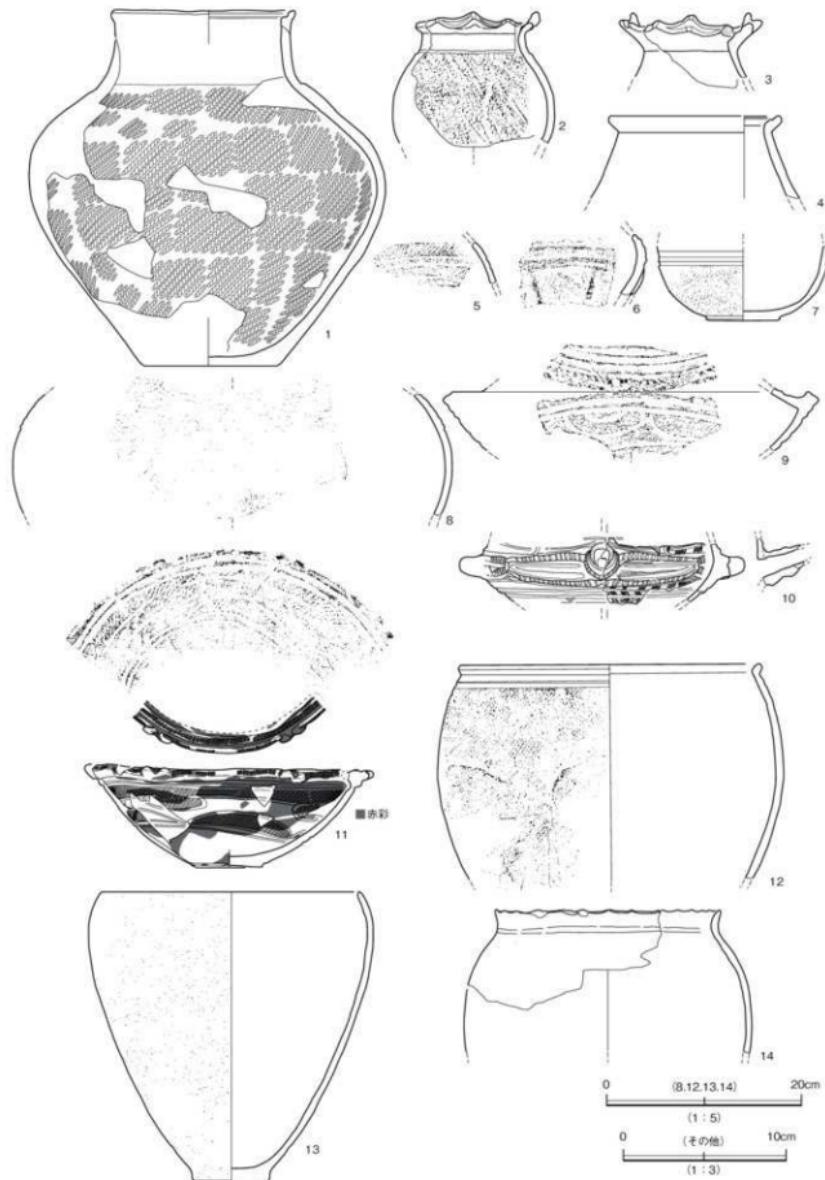
第52図 SG 1 F 3下層出土遺物



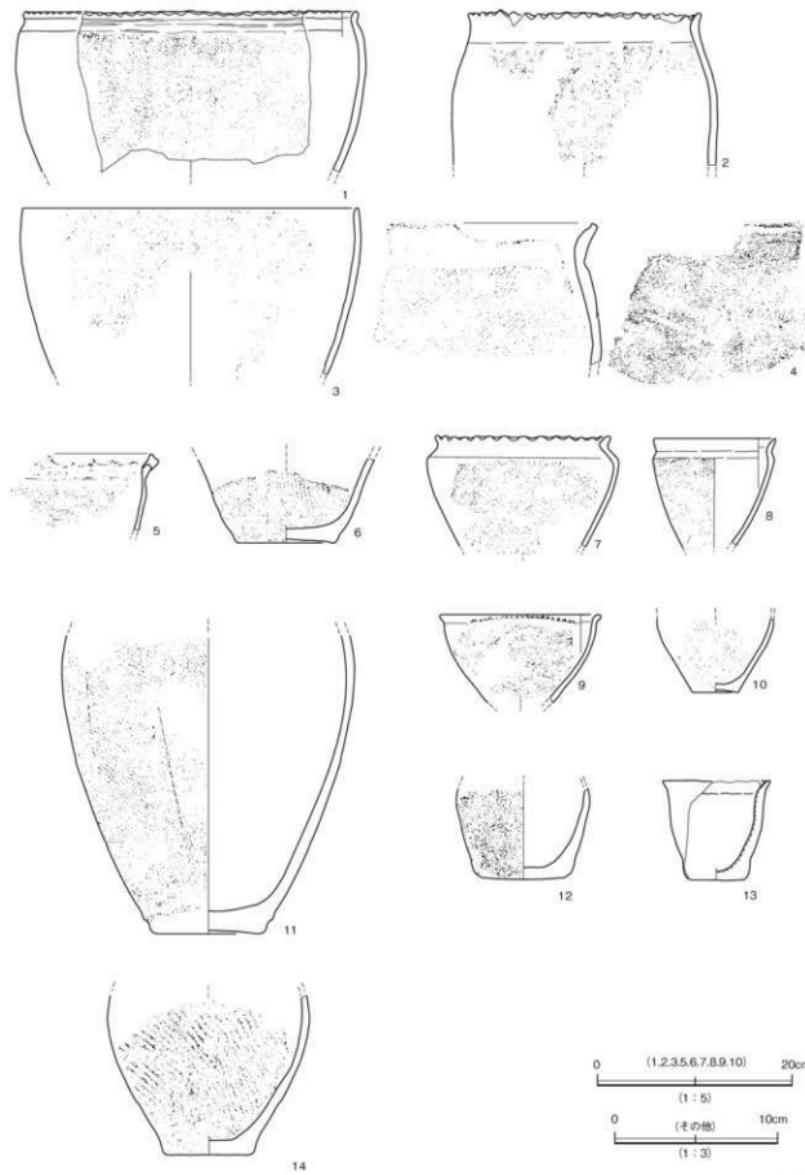
第53図 SG 1 F 3下層出土土器



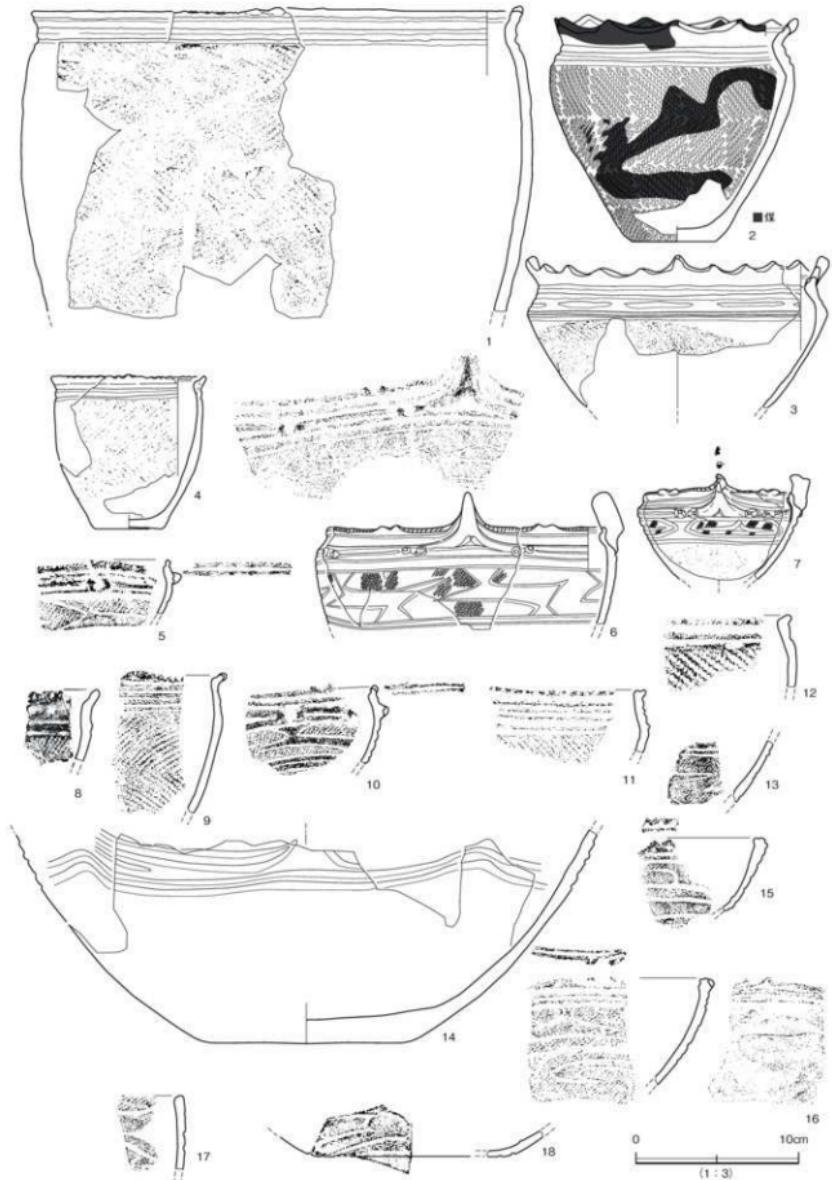
第54図 SG 1 F 3下層出土土器



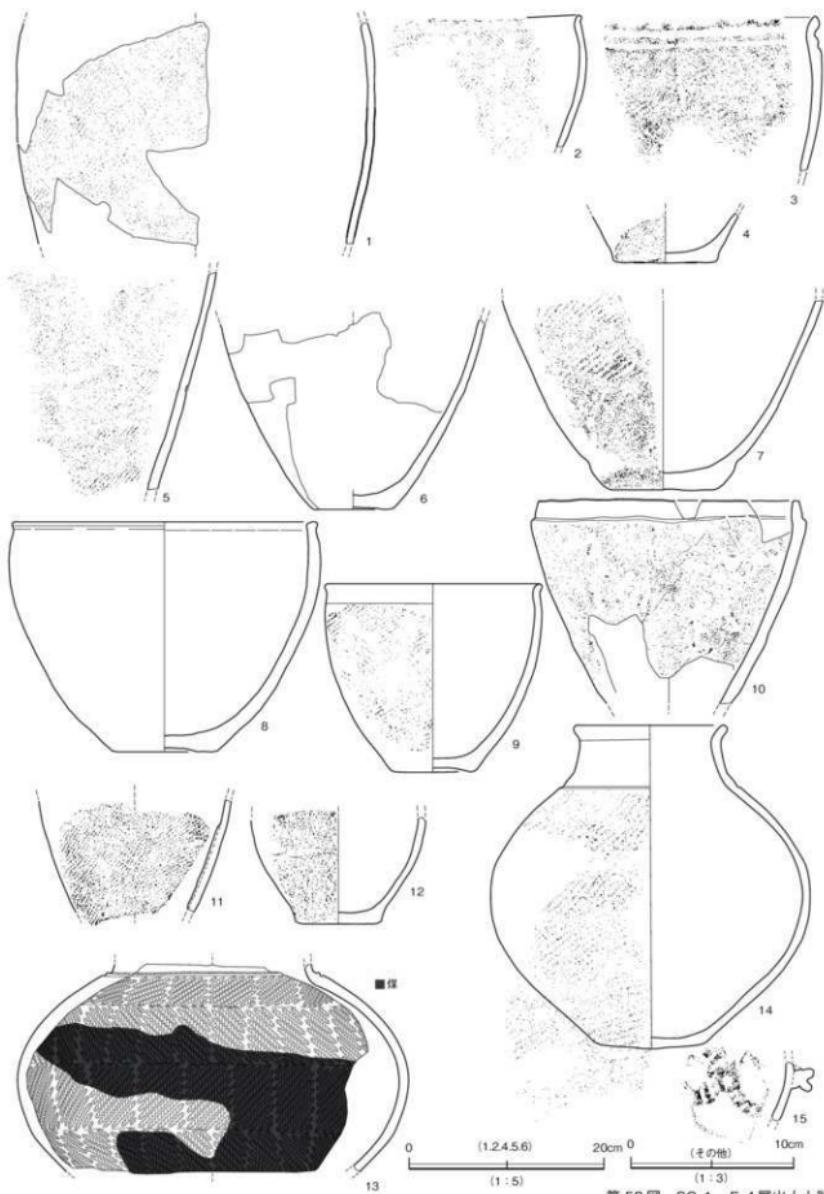
第55図 SG 1 F 3下層出土土器



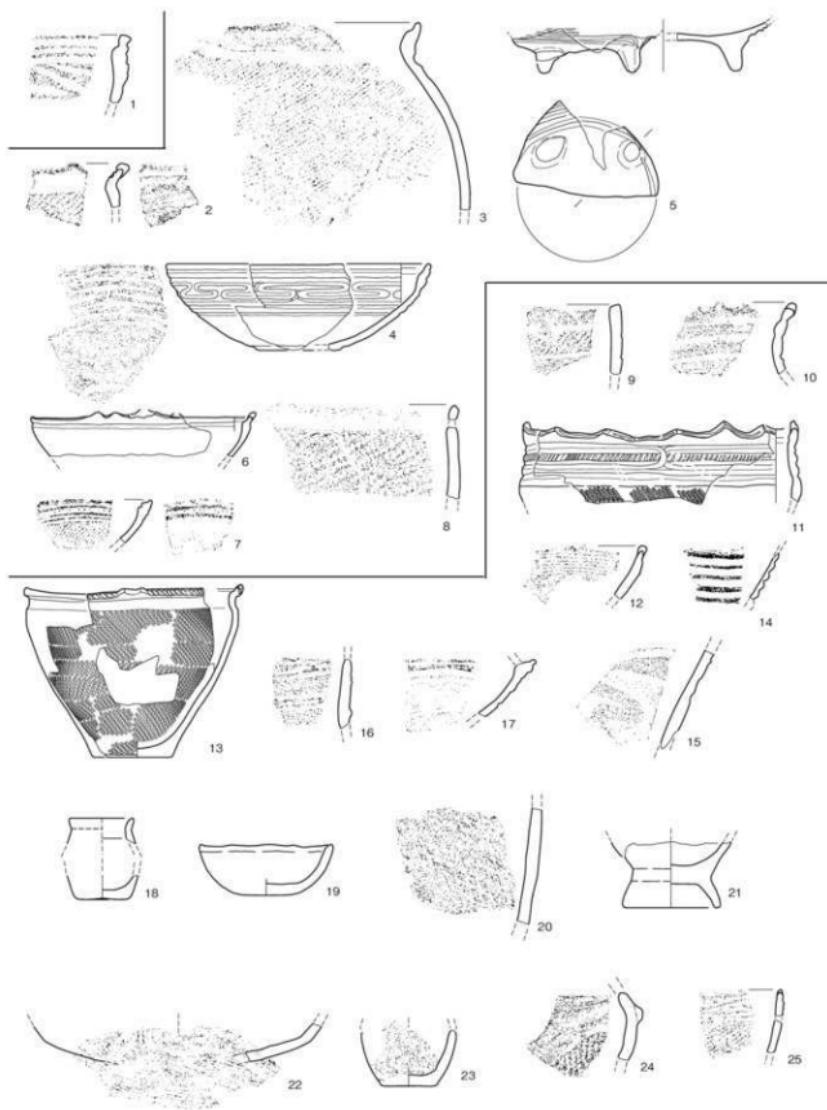
第56図 SG 1 F 3下層出土土器



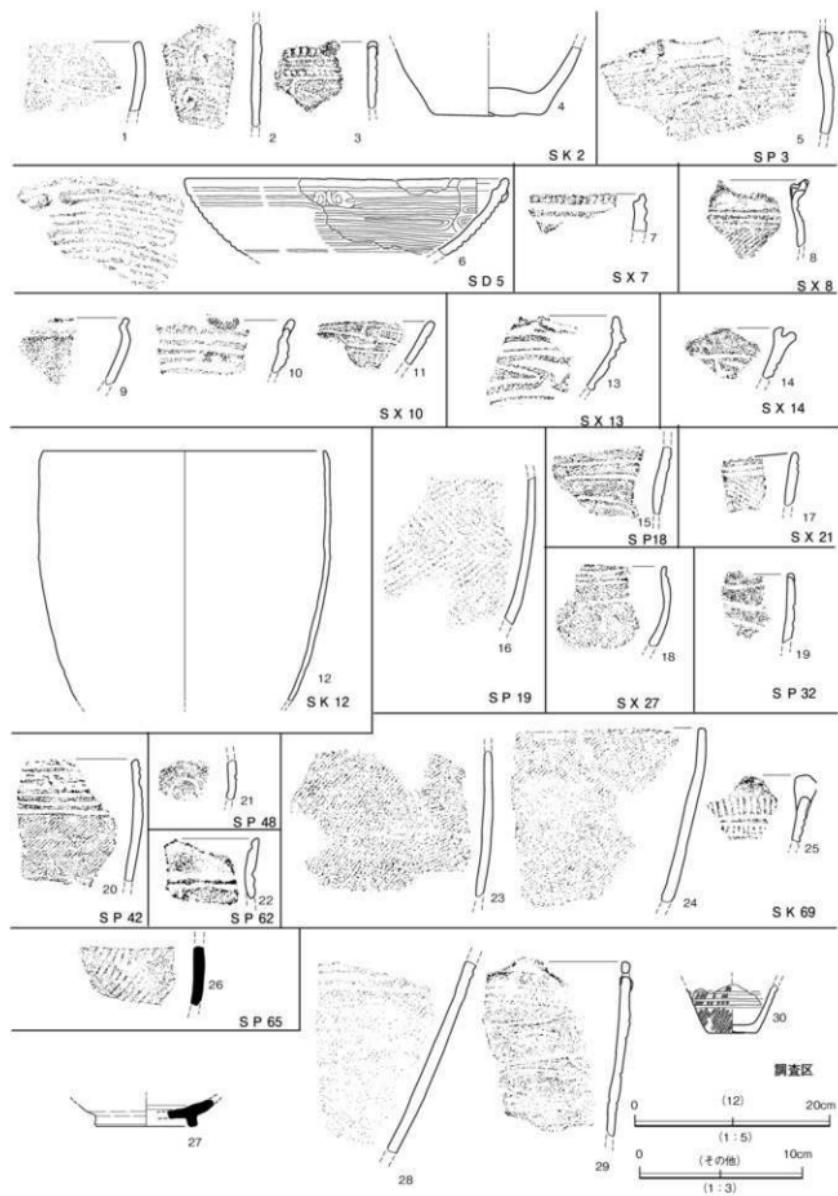
第57図 SG 1 F 4層出土土器



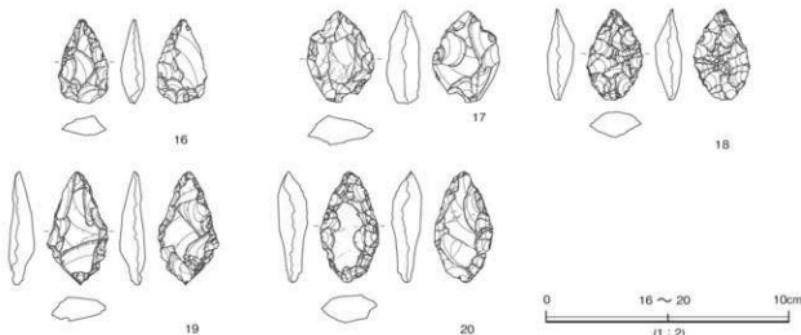
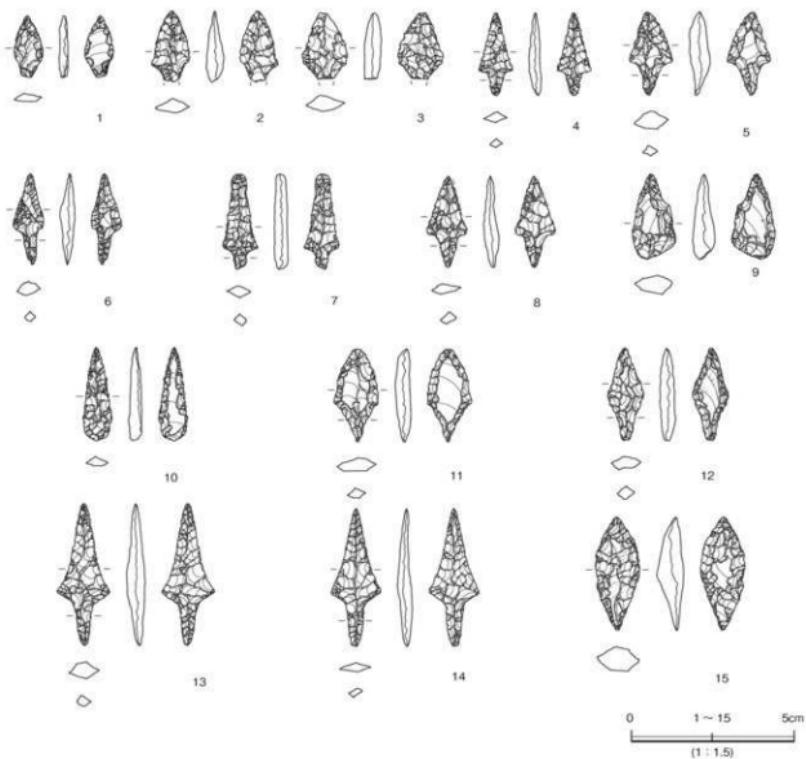
第58図 SG 1 F 4層出土土器



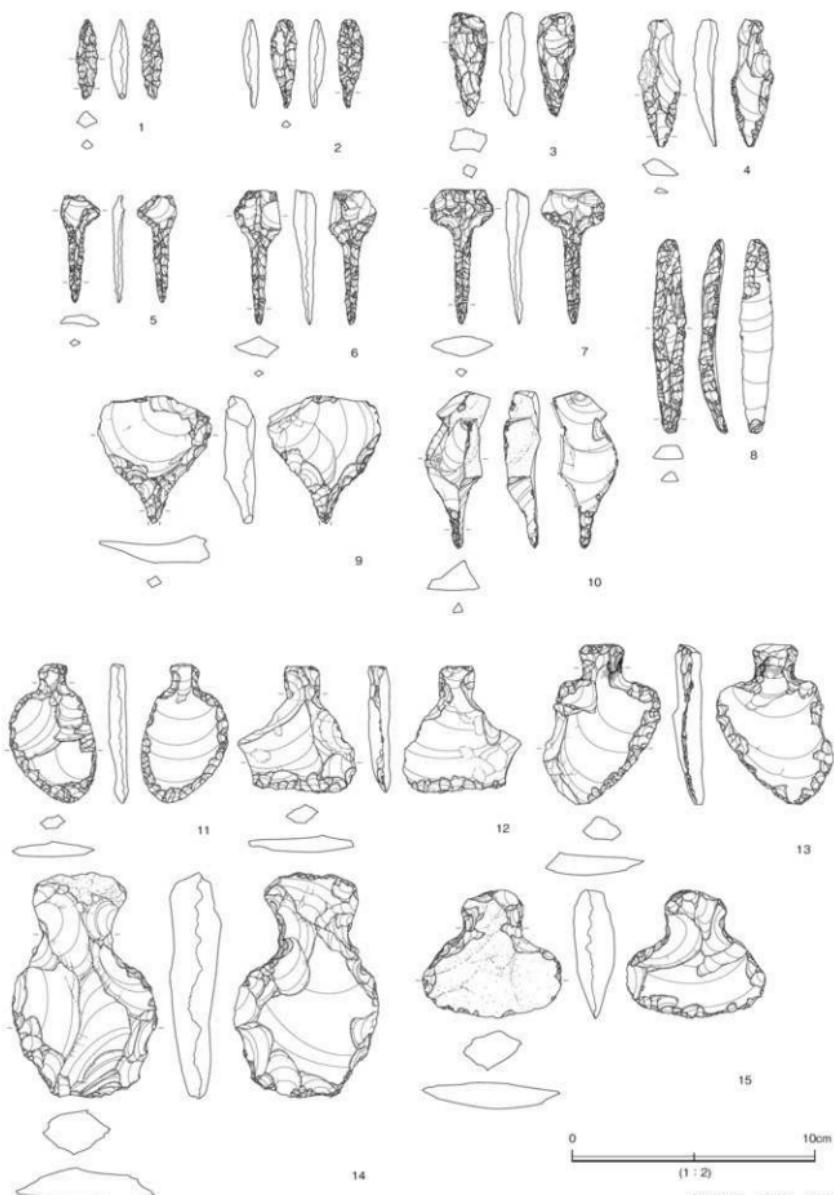
第59図 SG 1 上層・下層・SG 1出土土器
0 10cm
(1:3)



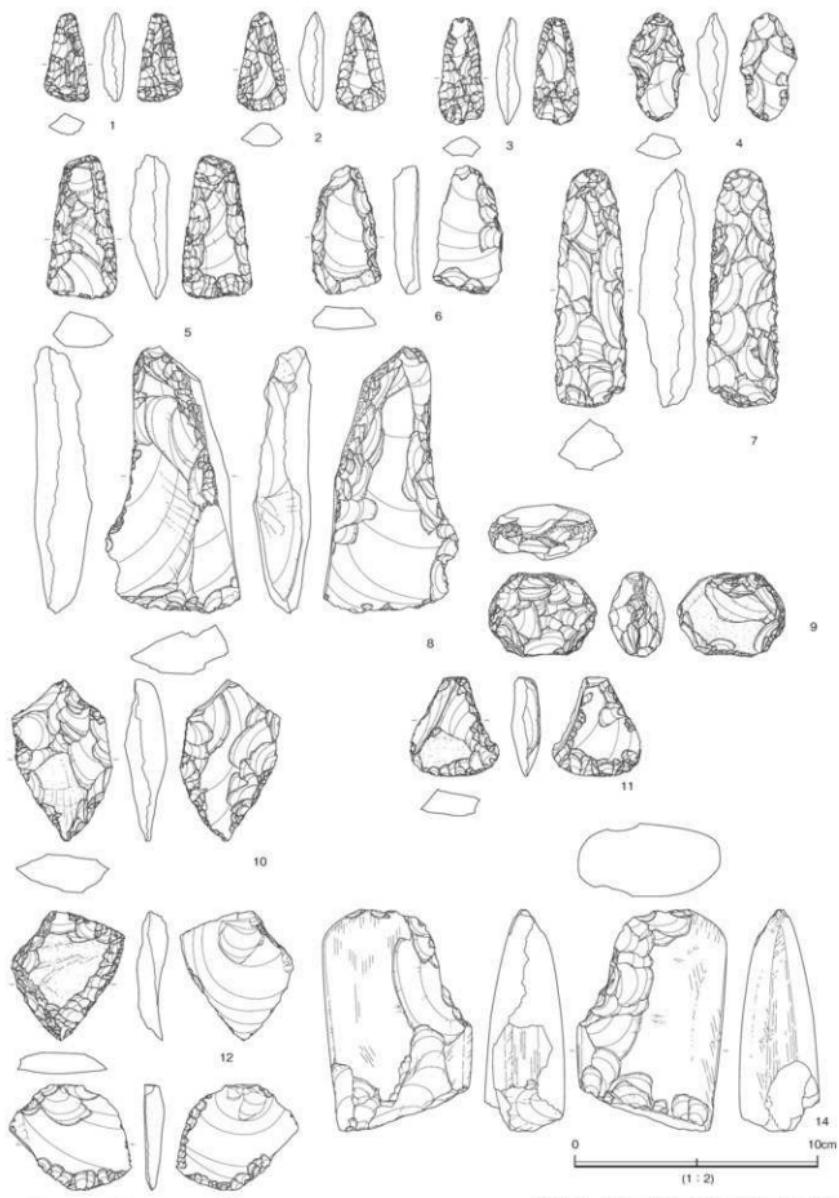
第60図 遺構・調査区出土土器



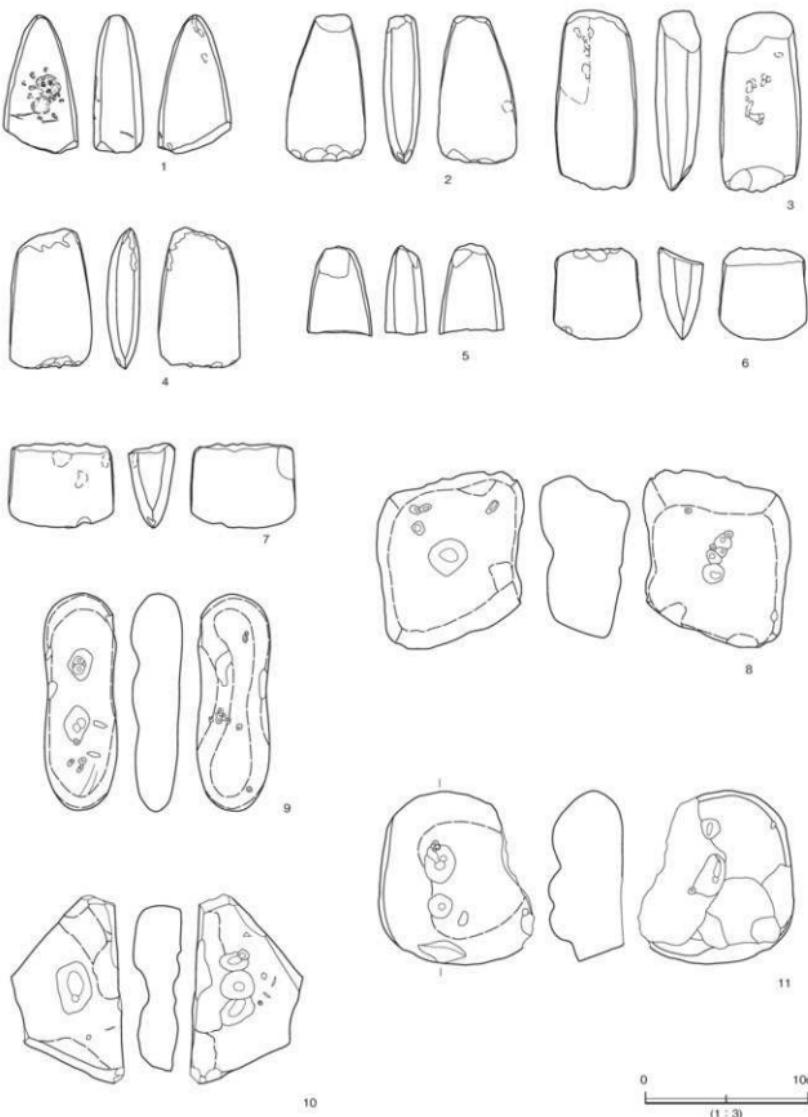
第61図 石鎌・石槍



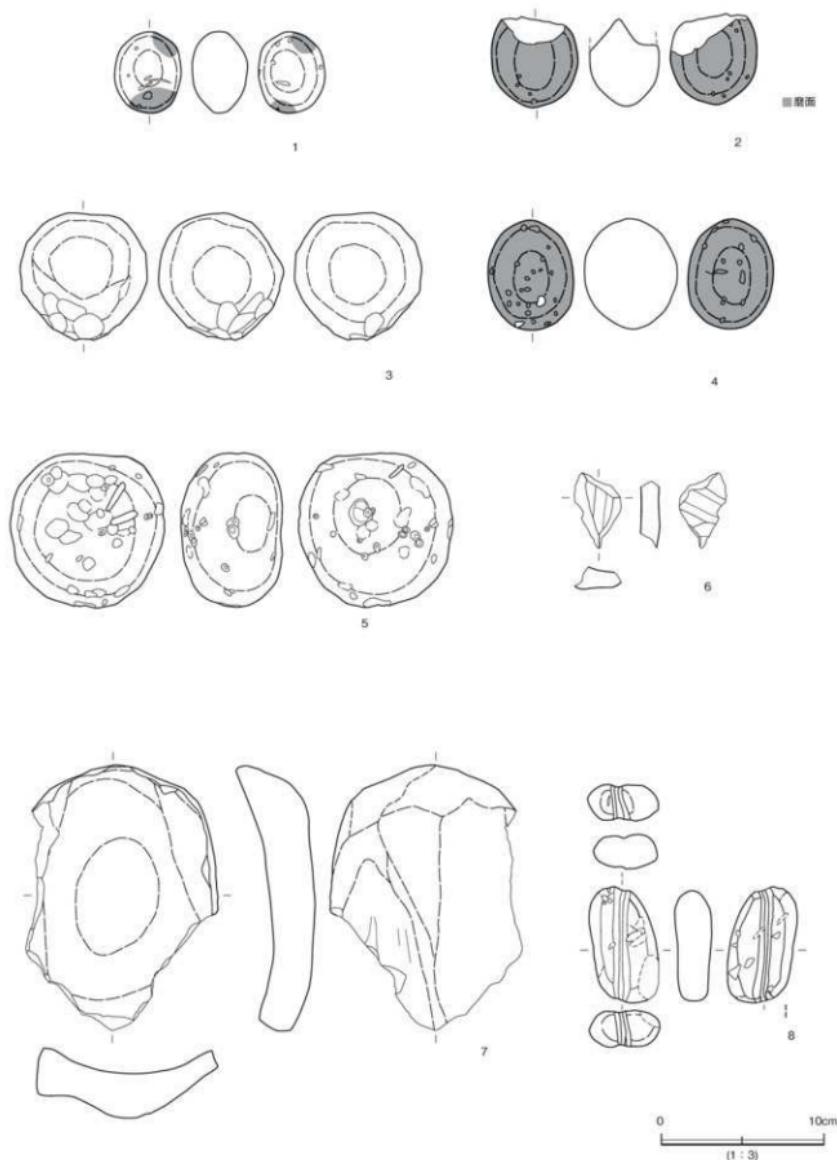
第62図 石錐・石匙



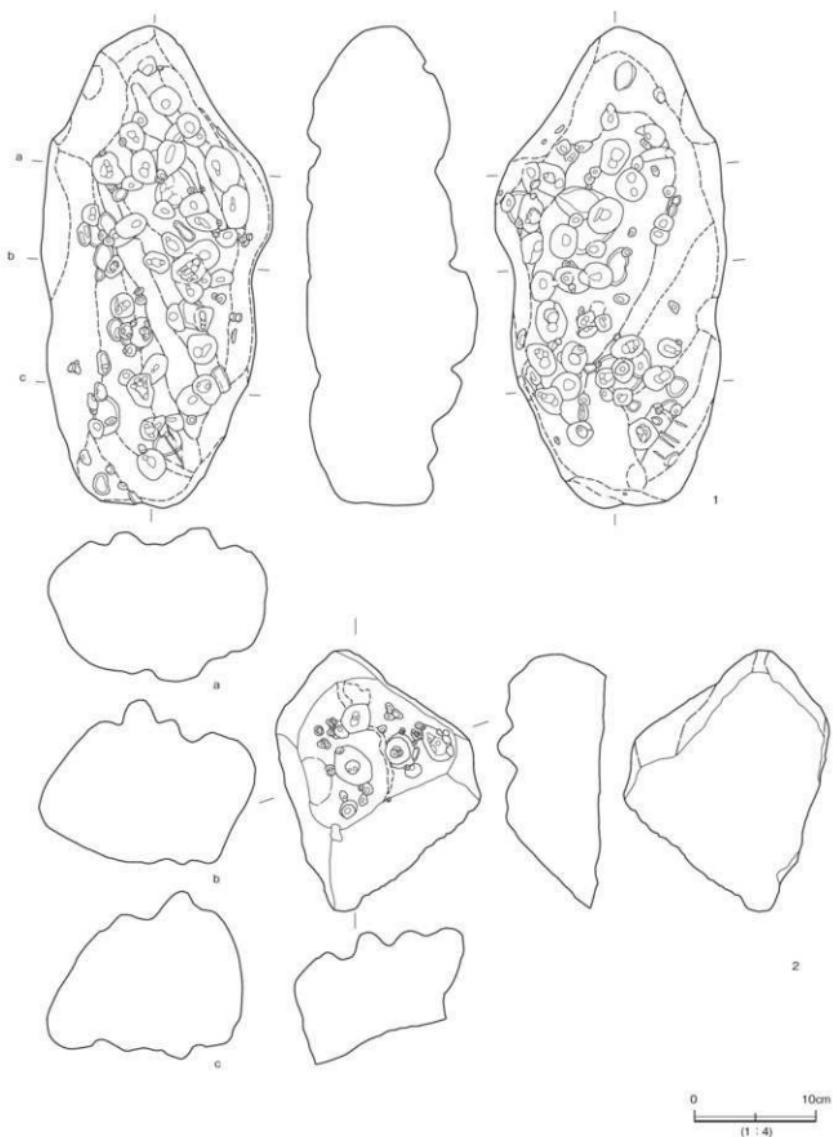
第63図 石箋・搔器・削器・石核・磨製石斧



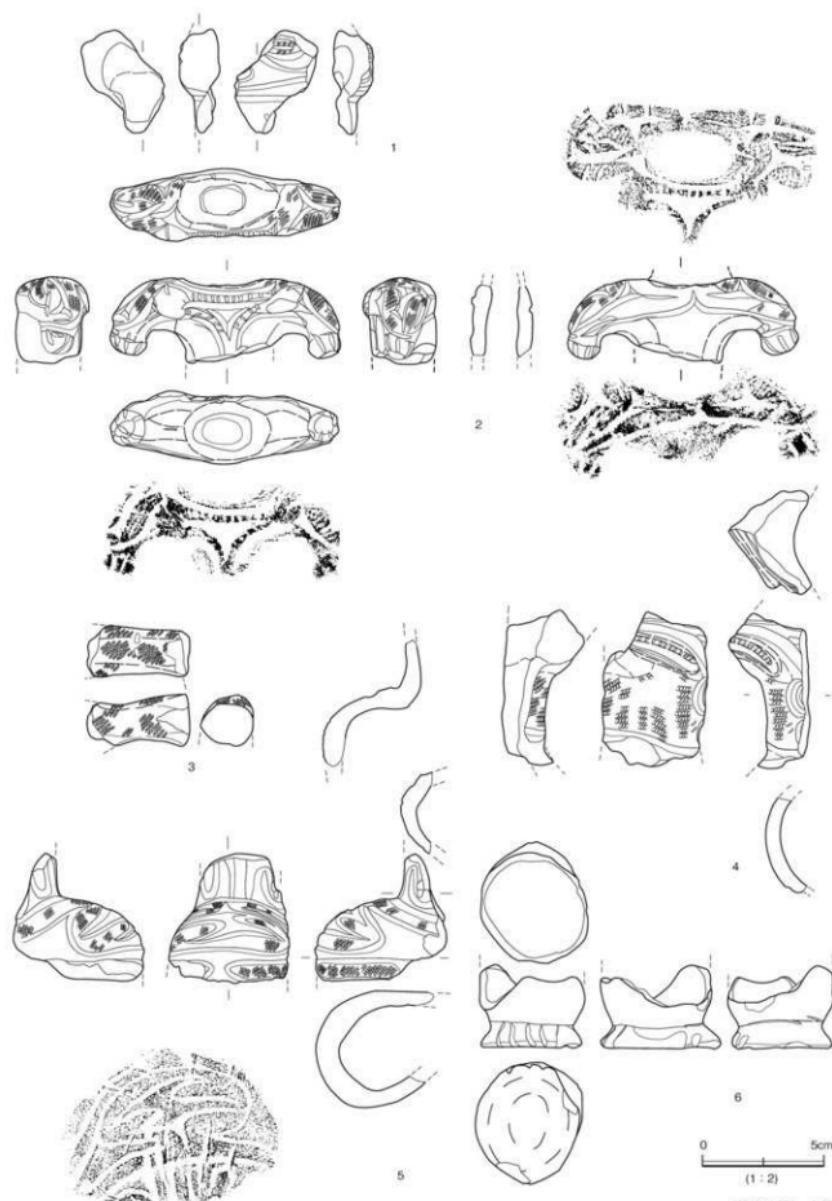
第 64 図 磨製石斧・凹石



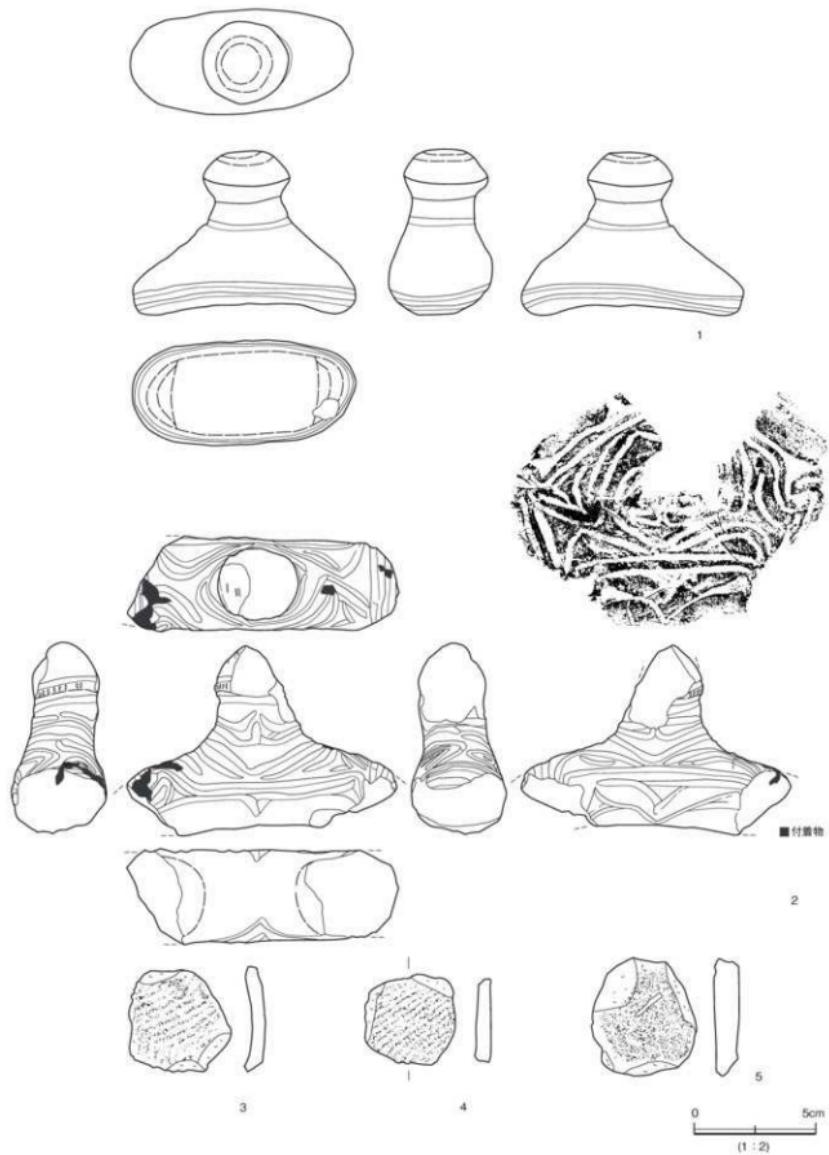
第65図 磨石・敲石・砥石・石皿



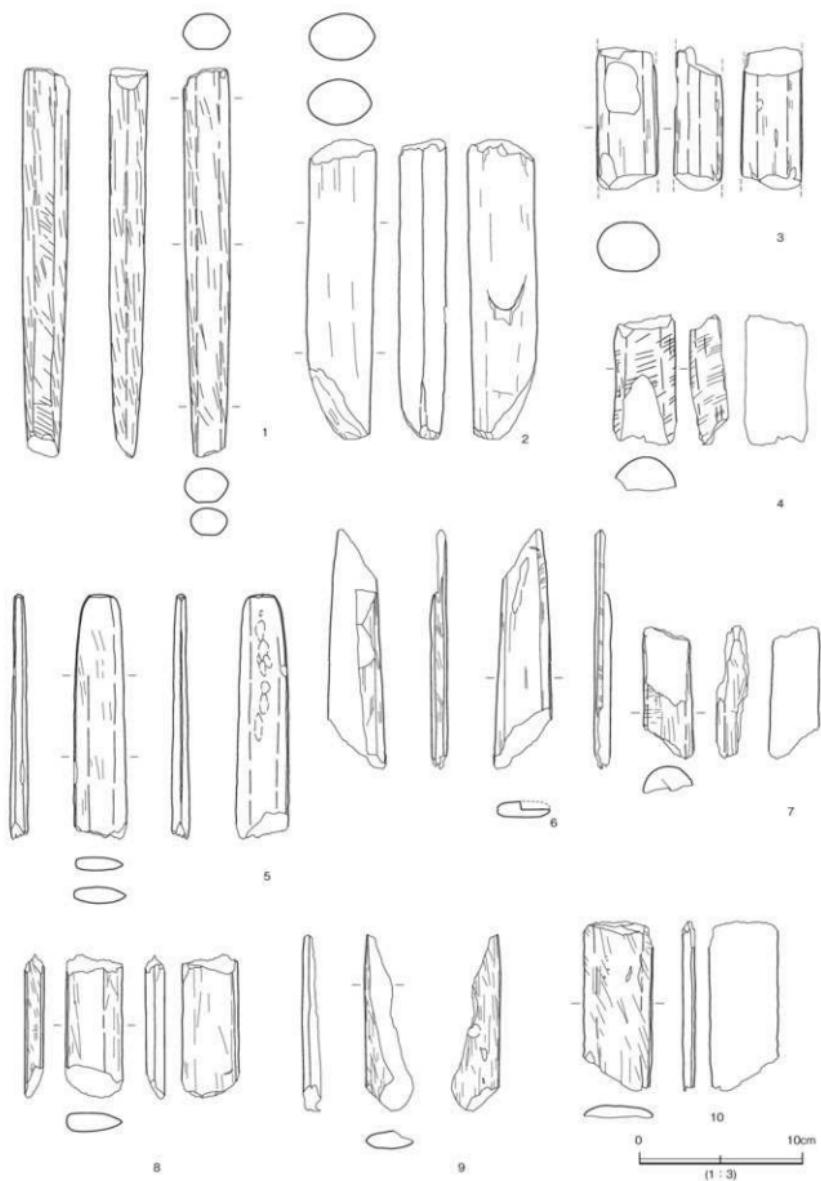
第66図 凹石



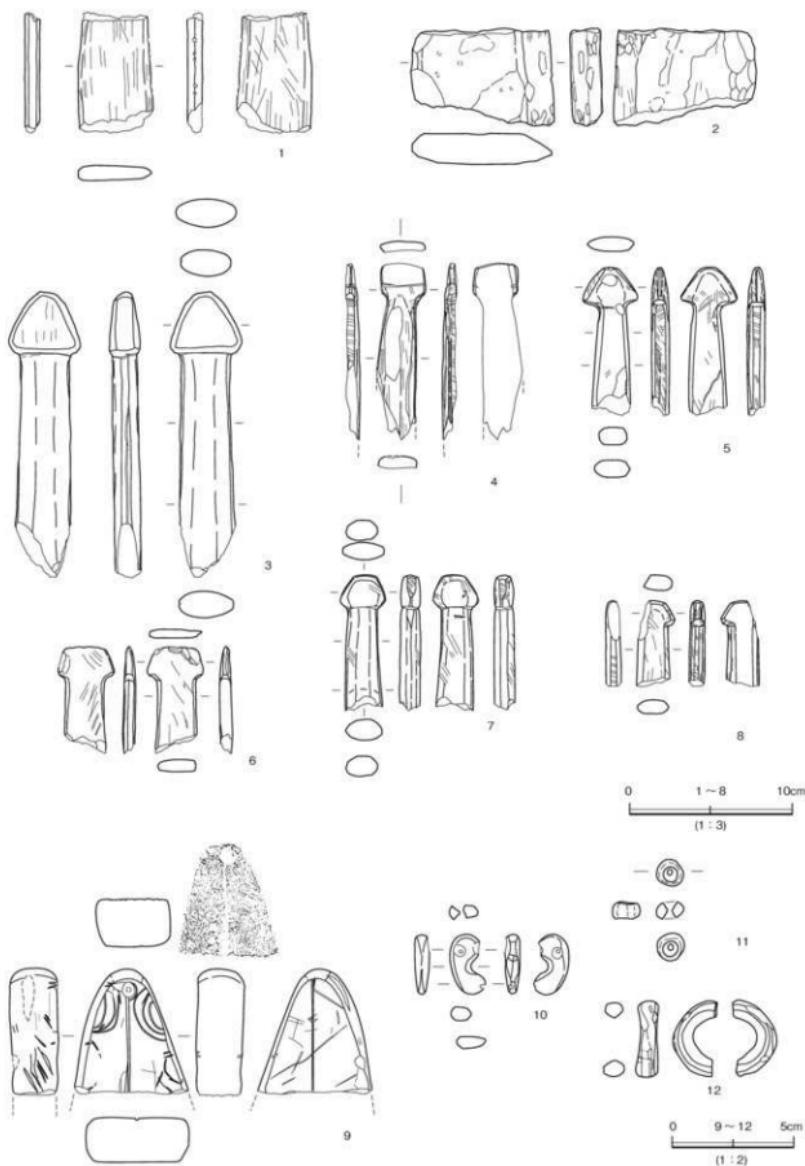
第67図 土偶



第 68 図 土冠・円盤状土製品



第69図 石棒・石刀



第70図 石刀・石製品・垂飾品

表 12 土器観察表

出土土器図版・観察表凡例

土器の観察表などの基準は、下記の通りである。

- ・本中の遺物番号は、遺構跡図・遺物図版の遺物番号に共通し、遺物観察表に列記しており、「○-△」と略記した。
- ・遺物実測図・拓影図は、原則として土器は1/3、粗製土器1/5、石器は、1/15、1/2、1/4を基本として採録し、それぞれにスケールを付した。遺物図版は、任意の縮尺とした。
- ・拓影図は、原則として、左側から内面・断面・外面を表している。
- ・表出土位置は、調査区・基本層序・包含層・遺構、グリッド、層位の順に記入した。
- ・表ブロックは、SG1 河川跡の集中出土ブロック域を表す。
- ・調査段階での取り上げの不備を防ぐため、上下層で遺物が接合した場合、上層に付した。
- ・表器種では、「注口」が注口土器、「小型」が小型土器、「多孔」が多孔土器を表す。
- ・表器種・形態は、出土土器本文中の分類に準じる。「瘤」は瘤付土器I~IV期(後期)を表す。「B・BC・C1・C2・A」は大洞B~A式期(晚期)を表す。
- ・残存率は、復元などによる個体中の残存値を表し、小破片は1/10とした。
- ・出土土器観察表中の()内の数値は、回上復元による推定値、または残存値を示す。
- ・表部式・文様・備考では、「口」が口縁、「体」が底部、「底」が底部、「台」が台部と表し、「内」が内面、「外」が外縁、「口内」が口縁内側などを表記した。
- ・備考では、登録番号を付し、特徴を記した。他に「補孔」が補修孔、土器の付着などは、「炭」が炭化物、「朱」が赤彩、「付着」が付着物と表記した。

図 No.	出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	厚さ	部位	口縁形態	文様	地文	備考
1 SG1	DD29NEF1	深鉢	C2	Ⅲ4	1/6 (320)	(335)	7	口~体	A突削平	口内沈線	LR-RL RP26	口縁上部 に沈線外縁		
2 SG1	EE29SWF1	深鉢	C2	Ⅲ4	1/6 (279)	(148)	6	口~体	削目平縁	多条平行沈線(沈線間に削目)口内沈線	LJRRP	RP38		
3 SG1	東カベF1 F	深鉢	C2	Ⅲ4	1/6 (231)	(107)	5	口	B突削平	多条平行沈線 口内沈線	LR	RP171	外縁	
4 SG1	東カベ	深鉢	C2	Ⅱ4	1/6 (290)	(182)	6	口~体	平縁	平行沈線	LR-RL	RP166	外縁	
5 SG1	F3DD29SE	深鉢	C2	Ⅲ4	1/4 (241)	(105)	6.0	口~体	削目平縁	平行沈線(削目)	LR	RP301	埋藏	
6 SG1	DD29SE(W)	鉢	C2	Ⅲ4	1/6 (190)	(54)	5.6	口~体	削目平縁	平行沈線(削目) 工字状文口内沈線	LR	内外模多		
39 7 SG1	DD29SWF1	鉢	C2	Ⅲ4	1/4 214	(174)	4	口~体	A突削平	平行沈線 口内沈線	結節LR	RP35		
8 SG1	南カベEE30NW	浅台	A	Ⅲ5	1/2 (254)	108	138	55	口~底	平縁	工字文	LR	RP9-31 台に平行沈線 内面底部に沈線	
9 SG1	DD30NEF1	浅鉢	A	Ⅲ5	1/6 160	(54)	5.3	口~体	平縁	無文(ミガキ)工字文 口内沈線				
10 SG1	D30NEF1	浅鉢	A	Ⅲ5	1/10	(72)	5.0	口~体	平縁	メガネ状平縁 平行沈線 口内沈線				
11 SG1	東カベ	浅台	A	5	1/4 (62)	(29)	5	底	無文(ミガキ)工字文 平行沈線		RP168-2	内側底部に沈線		
12 SG1	D30NEWカベF1	浅鉢	A	Ⅲ5	1/8	(40)	5.5	口~体	平縁	メガネ状工字文 口内沈線				
1 SG1	E29SE	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/6 (220)	(59)	4.5	口~体	削目平縁	メガネ状工字文 平行沈線	LR	RP140-1		
2 SG1	DD29SWF1	浅鉢	C2	Ⅱ4	1/6 (240)	(46)	5.0	口~体	平縁	メガネ状工字文 口内沈線	LR	RP140-1		
3 SG1	EE29SWF1	浅鉢	C2	14	1/6 (238)	(80)	65	口~体	波状	平行沈線 勝消済文 口内沈線	LR	RP44		
4 SG1	南カベEE30NW	浅鉢	C2	T4	1/8 261	(70)	6	口~体	B突削平	無文(ミガキ)ナデ 平行沈線(削目)口内沈線	RP2			
5 SG1	EE29SWF1	小型	C2	4	1/2 (81)	(38)	4	口~底	B突削平	無文(ナデ)平行沈線 口 内沈線	浅鉢(台付) RP40-2			
6 SG1	DD29SF1	浅脚	C2	4	1/4 (163)	84	(54.5)	5.2	体~底	無文(ミガキ)平行沈線				
40 7 SG1	D30N E F1	壺	C2	4	1/10	(20)	4.4	体	平行沈線(削目)	平行沈線(削目) 工字状文	LR			
8 SG1	D30 N E F1	壺	C2	4	1/10	(28)	4.5	体	方彌区画文(尤線)	方彌区画文(尤線)	LR			
9 SG1	DD30NEF1	壺	C2	4	1/10	(26)	2.3	体	工字状文	工字状文	LR			
10 SG1	DD30NEF1	壺	C2	T'4	1/6 (144)	(38.5)	6	口	B突削平	無文(ミガキ)メガネ状 浮文 口内沈線	RP332	広口壺		
11 SG1	EE29SWF1-D29SWF2	壺	C2	1	1/4 129	(63)	75	口	平縁	無文(ナデ)口内沈線 横位沈線	RP46-65			
12 SG1	E29SE東カベ	壺	C2	14	1/6 92	(55)	5	口	平縁	磨削楕文 平行沈線 口内沈線	LR	RP139		
13 SG1	EE29SWF1	壺	C2	5	1/2 (27)	59	21	4	口~底	多条沈線		RP40-4		
14 SG1	EE29SWF1	注口	C2	Ⅲ4	1/2 122	62	114	5	口~底	B突削平	工字状文 勝消済文 口内沈線	LR	RP39	外部中央 B突削付
41 1 SG1	EE29SWF1	深鉢	粗製	II2	1/1 155	70	173	6	完形	突起平縁	LRか	RP40	内底多	
2 SG1	DD30NEF1-DD29SEF1	深鉢	粗製	III1	1/2 (221)	76	(261)	6	口~底	縦条条件文	RP32-34	補孔 外縁		

図 No.	出土地点	器種	形式	型番	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
3	SG1 EE29SN	深鉢	粗製	II2	1/6 (360)	(285)	6	口～体	削日平縁	横位沈線	LRか	RP40-3		
4	SG1 DD29SEF3- DD28SD	深鉢	粗製	II2	1/6 302	(200)	6	口～体	平縁		LR	RP30-2・RP2140		
5	SG1 東カベSEカド	深鉢	粗製	II2	1/6 (286)	(228)	8	口～体	平縁	横位沈線	LR	RP168-1		
6	SG1 F3DD29SE	深鉢	粗製	II4	1/6 (190)	(51)	8.0	口	小波状		LR	RP30-3		
7	SG1 DD30NEF1-西カベ下層(F3-4Y)	深鉢	粗製	II4	1/4 (299)	(177)	0.5	口	平縁		LIRR	RP3233 外底		
41	8 SG1 東カベ	深鉢	粗製	II4	1/6 (303)	(109)	8	口～体	波状	平行沈線	LR	RP169 外底		
	E29SE-D29SE(W)	深鉢	粗製	II4	1/4 (282)	(216)	6	口～体	平縁		LR	RP140-2 外底		
9.1	SG1 F3-EF20下層子外SG南東カド	深鉢	粗製	II4	1/4 (282)	(110)	8	底			LR	RP140-2 外底		
	E29SE-D29SE(W)	深鉢	粗製	II4	1/4 (286)	(256)	6.3	口～体	平縁		LR	RP140-2 外底		
9.2	SG1 F3-EF20下層子外SG南東カド	深鉢	粗製	II4	1/4 (286)	(110)	8	底			LR	RP140-2 外底		
10	SG1 西カベ-DD29SWF1	深鉢	粗製	II4	1/6 378	(256)	6.3	口～体	平縁		LR	外底		
	DD29SWF1- DD30NWF2- D29SWF1	深鉢	粗製	II1	1/6 (289)	(162)	6.5	口～体	平縁	柳葉条線文(荒描き)		RP42-54		
1	SG1 東カベ	深鉢	粗製	II1	1/10	(1795)	8.0	口～体	波状	柳葉条線文(荒描き)		RP167		
3	SG1 EE30NWF1	鉢	粗製	II4	1/4 184	68	167	7	口～底	波状	無文	LR	RP33-1 内外底多朱	
42	4 SG1 E29SE	鉢	粗製	II4	1/8 (317)	(118)	6.5	口～体	平縁		LR	RP140-3・RP30 の内		
5	SG1 中央トレンチ E29SW	深鉢	C2	III4	1/2 (202)	(73)	233	7	口～底	B突刻平	口内沈線	LR	RP26 内外底	
6	SG1 DEE29SWF2	深鉢	C2	III4	1/8 (257)	(74.5)	5	口	A突波平	多条平行沈線 口内沈線	LR	RQ80-2		
7	SG1 DEE29SWF2	深鉢	C2	III4	1/10	(135)	7.0	口～体	波状	平行沈線 口内沈線	LR	RP75		
8	SG1 DD30NEF2	深鉢	C2	III4	1/10	(46)	4.0	口	削日平縁	矢羽状沈線 平行沈線	LR			
1	SG1 D30NEF2	鉢	A	III5	1/6 (117)	(87)	5	口～体	削日平縁	工字文 口内沈線	LRか			
2	SG1 DD29SE(W)F2	鉢	Aか	III5	1/10	(59.5)	4.0	口～体	平縁	工字文 口内沈線	口内沈線			
3	SG1 南東角	鉢	C2	III4	1/2 125	48	112	6.5	口～底	A突波平	平行沈線 口内沈線	LR-RL (羽)	外底	
4	SG1 DD29NE(E)F2	鉢	C2	III4	1/2 114	47	111	5	口～底	B突刻平	平行沈線 口内沈線	LR	RP62 内外底多	
5	SG1 DD29SWF2	鉢	C2	III4	1/2 (165)	60	140	口～底	A突波平	口内沈線か	R	RP68		
6	SG1 DD29NEF2中央トレンチ	鉢	C2	III4	1/2 136	54	110	5	口～底	A突刻波	平行沈線 口内沈線	LR	内外底多	
7	SG1 DD29SW(W)F2	鉢	C2	III4	1/2 (139)	(114)	5.5	口～体	A突波平	口内沈線 工字文(削目)	LR	RP72-2 外底		
8	SG1 DD30NEF2	鉢	C2	III4	1/6	(79)	5.0	口～体	B突刻平	平行沈線(削目) 口内沈線	LR	内底多		
9	SG1 DE30NWF2	鉢	C2	III4	1/10	(28)	5.5	体						
10	SG1 DE30HWF2	鉢	C2	III4	1/10	(58)	5.0	口～体	平縁	メガネ状浮文 多条平行沈線		新潟県青田遺跡 に類似		
43	11 SG1 DEE29SWF2	鉢	C2	4	1/10	(59.5)	4.0	体		平行沈線 工字状文		内外底		
	DEE30NW- D29SWF2-F3- D30NW	浅鉢	Aか	III5	1/6 (96)	(43)	4	口～体	A・B平	無文 連続入組文		朱		
13	SG1 DEE30NWF2	浅台	C2	5	1/6	88	(39)	6.0	底		連続入組文			
	DEE30NEF3-F- 14 SG1 D.EE29SE(W)F2-F3	浅鉢	C2	III4	1/8 279	(50)	6.0	口～体	A突刻平	無文 X字状文 口内沈線				
15	SG1 南カベ-DD30NWF2	浅台	A	5	1/6	54	(42)	4	底	無文 工字文		RP11-1・台4単位		
	D29SE- DD30NEF2-中央トレンチ中層から下層-F2	浅鉢	C2	14	1/2 223	(63)	50	口～底	A・B平	平行沈線 無文(ミガキ)	口内沈線	RP28 口縁突起 6単位か		
17	SG1 DE29SWF2	浅鉢	粗製	II4	1/2 (230)	60	114.5	8	口～底	突起平縁	無文(ナダ・ミガキ)横位沈線	RP81 4単位か		
18	SG1 DD29SE(W)F2	浅鉢	C2	III4	1/6 130	50	46	4.0	口～底	平縁	無文(ナダ・ミガキ) 口内沈線	RP56 小型か		
1	SG1 DD30NEF2	浅鉢	A	III5	1/4 (289)	78	91	5	口～底	B突刻平	無文(ミガキ・ナダ) 工字文 メガネ状浮文 口内沈線	RF71 朱 補孔		
2	SG1 DD29SWF2	浅鉢	C2	III4	1/2 (162)	(56)	(62)	43	口～底	平縁	メガネ状浮文 濃消繩文 口内沈線	RP66-1 朱		
3	SG1 D.EE29SWF2	浅鉢	C2	III4	1/2 150	50	53	3.5	口～底	B突刻平	濃消繩文 口内沈線	RP76 外底		
4	SG1 DD29SWF2	浅鉢	C2	III4	1/6 (162)	(61)		口～体	B突刻平	メガネ状浮文 濃消繩文 平行沈線 口内沈線	RP67 44.5と同一か			
5	SG1 F29SWF2	浅鉢	C2	III4	1/2 155	37	60.5	4	口～底	B突刻平	平行沈線 メガネ状浮文 濃消繩文 口内沈線	RP94 44.4と同一か		
	DD30NWF2-西カベ	浅鉢	C2	III4	1/2 (182)	62	67	6.0	口～底	A・B平	横位沈線 無文(ナダ) 口内沈線			

団 No.	出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底種	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
44	7 SG1 西カベ~DD30NEF2	浅脚	C2	4	1/8		(28)	5.0		底			内面底部に沈線 外面に平行沈線	
	8 SG1 DD29SWF2-D, EE29SWF2	浅台	C2	4	1/4		R2	(30)	7.0	体~底	無文 工字状文			RP64
	1 SG1 DE29SWF2-D, EE29SWF2-F3	浅鉢	C2	II 4	1/10		(40)	4.8	口~体	A突波平	磨削織文 口内沈線	LR		
	2 SG1 DD29SE(W)F2	浅鉢	C2	4	1/10		(36)	3.6	体		工字状文		内外朱	
	3 SG1 DD29SE(W)F2	浅台	C2	4	1/6	96	(152)	(46)	0.4	底	横位沈線 無文(ミガキ)	LR	RP73	
	4 SG1 DEE30NEF2~F3, FDD29SE(W)	壺	C2	I 4	1/6		(49)	4.5	体		平行沈線 長方形区画文 (沈線)	LR		
	5 SG1 DD30NEF2	壺	C2	4	1/10		(43)	5	体		工字状文 平行沈線	LR		
	6 SG1 DD29NEF2	壺	C2	4	1/10		(24)	5.7	体		方形区画文(沈線)	LR		
	7 SG1 DD30NWF2	壺	C2	4	1/10		(62)	5.0	体		方形区画文(陰帯- ミガキ)	LR		
	8 SG1 DD30NEF2	壺	C2	4	1/10		(42)	6.0	体		工字状文	LR		
	9 SG1 D30NWF2	壺	C2	4	1/10		(29)	2.8	体		工字状文	LR		
45	10 SG1 DD30NWF2	注口	C2	II 4	1/6	156		58	5.5	口~体	A-B刻	平行沈線 磨削織文 口内沈線	LR	RP57 45-13と同一か
	11 SG1 DEE29SWF2	注口	C2	II 4	1/6	(94)	(72)	5	口~体	突起手縫	工字状文 磨削織文 口 内沈線 体中央・目口支	LR	RQ801 朱	
	12 SG1 DD29SWF2	注口	C2	II 4	1/6	(153)	(41)	4	体		目口支 磨削織文 平行沈線	LR	RP66-2 朱	
	13 SG1	注口	C2	II 4	1/6		(27)	4.2	体		体・期日文(安起) 平行沈線	LR	RP57-57-2	
	14 SG1 DD30NEF2	注口	粗製	II	1/8	(216)	(82)	6	体		横位沈線 貼崩 带状文 (突起付)	LR	RP49	
	15 SG1 D30NWF2~F3	注口	C2	4	1/10		(31)	4.0	体		矢状状沈線			
	16 SG1 D29SE(W)F2	注口	C2	4	1/10		(63)	7.0	体		メガネ状文(刻日) 磨 削織文	LR	注口か 内外朱	
	17 SG1 DD30NWF2- DD29SE(W)F2	小型	C2	4	1/4	110	50	44	5	口~底	平縁	横位沈線 無文(ケズリ) 口内沈線	RP57	
	18 SG1 DD30NEF2	小型	C2	4	1/6	(75)	30	29.5	4.3	口~底	平縁か	無文(ナダ) 横位沈線 口内沈線		浅鉢(脚付)の形 態
	19 SG1 DE28SWF2-F3	小型	C2	4	1/2	85	17	30	5.5	口~底	平縁	無文(ナダ)	丸底	
	1 SG1 DD29SE(W)F2- DD30NWF2	深鉢	C2	III 4	1/2	(364)	(385)	7	口~体	波状	平行沈線	LR-RR か	RP55-57-92 底 部別有り 外朱	
	2 SG1 南カベ~EE30NWF2	深鉢	粗製	III 4	1/4	286	(264)	6.2	口~体	平縁		LRか	RQ10 外朱	
46	3 SG1 D30NEF2	深鉢	粗製	III 1	1/6	(293)	(168)	7.0	口~体	平縁	縞条条件文 ←	結節LR	RP58 外朱	
	4 SG1 DD29SWF2-D, EE29SWF2	深鉢	粗製	III 2	1/4	196	(835)	7.0	口~体	波状	横位沈線	LR	RP64 補孔	
	5 SG1 DD29SEF1	深鉢	粗製	III 2	1/4	(282)	(140)	6.5	口~体	波状	横位沈線	LR-RL (引)	RP34 外朱	
	6 SG1 DD29SE(W)F2	深鉢	粗製	III 2	1/6	(308)	(96)	5.5	口~体	波状	横位沈線	LRか		
	1 SG1 DD30NE- DD30NWF2	深鉢	粗製	II 2	1/6	(432)	(210)	8.0	口~体	平縁		L	RP162	
	2 SG1 DDE29SWF2- EE29SWF2	深鉢	粗製	II 2	1/6	(260)	(167)	6	口~体	平縁		LR	RP77	
	3 SG1 D29SE(W)F2	深鉢	粗製	III 4	1/4	(320)	(144)	6.0	口~体	平縁	無文(ナダ)	LR-RL (引)	RP55-2	
	4 SG1 F29SWF2- DEE29SW	深鉢	粗製	II 2	1/6	(260)	(164)	5.5	口~体	平縁		朝日状 態系	RP94-2 外朱	
	5 SG1 EE29SE南東カF2	深鉢	粗製	III 3	1/10		(40)	6.4	口~体	平縁				
47	6 SG1 DD29SE(W)F2- EE29SE(W)F2	深鉢	粗製	2	1/4	(326)	(139)	10.0	体			LR	RP20-101 内外朱	
	7 SG1 DD29SE(W)F2	深鉢	粗製	2	1/8	(210)	(106)	12.8	8.0	体~底		RLか	RP70	
	8 SG1 西カベ~DD30NE- DD29SWF2	深鉢	粗製	2	1/4	100	(169)	7.0	体~底		LR-RL (引)	RP8-2		
	9 SG1 D29SE(W)F2	鉢	粗製	III 2	1/8	(160)	(120)	6.6	口~体	波状		LR	RQ80 外朱	
	10 SG1 DD30NWF2	壺	粗製	I 2	1/4	(110)	(82)	3.0	体~底		横位沈線	LR	RP54	
	11 SG1 D.EE29SWF2~3	壺	粗製	I 2	1/4	(117)	(164)	6	口~体	平縁		LR-RL (引)	RP77-1 外朱	
	12 SG1 D.EE29SWF2	壺	粗製	I 2	1/6	(104)	(47)	6.3	体			RL		
	13 SG1 DEE29SWF2			後期 か	1/10		(34)	9.3	体		粘土糀貼付			
	1 SG1 F29SEF3	鉢	C2	III 4	1/2	252	70	25.0	6	口~底	A-B刻	平行沈線(糀み有り) 口内沈線	LR-RL (引)	RP110-111 内外朱 口半縁
	2 SG1 EE29SW(F)3	鉢	C2	III 4	1/2	(134)	(120)	5.2	口~体	A突波平	工字状文 口内沈線	LR(RR)	内外埃多	
48	3 SG1 西カベ~DD30NE	鉢	C2	III 4	1/6	162	(92)	5	口~体	A突波平	磨削織文 口内沈線	LR	RP18 内付着	
	4 SG1 中央トレンチF3	鉢	C2	III 4	1/8	(100)	(61)	4.5	口~体	划目平縁	工字状文 口内沈線	LR		
	5 SG1 DD30NE-EE30NE (W)F3	鉢	C2	III 4	1/6	220	(133)	6.5	口~体	A突波平	平行沈線 口内沈線	LR	RP90-2-RP5- RP116 内外朱	

図 No.	出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
6	SG1 EE30NE(W) F3-DD30NE- D30NEF3	鉢	C2	II4	1/4	194		62.5	43.0	口~体	A突波平	工字状文(羽目) 口内沈線	LR+RL (羽)	RP89-1 内炭 口4単位
7	SG1 EE30NE(W)F3- DD30NEF3	鉢	C2	II4	1/4	(197)		(100)	5	口~体	B突刻平	工字状文 烈点文 口内沈線	LR	RP90-1 内炭
8	SG1 DE29SWF3	鉢	C2	II4	1/4	194		(83)	7	口~体	A・B刻	平行沈線 口内沈線	LR+RL (羽)	内炭多
48	9 SG1 F30NWF3	鉢	C2	II4	1/6	(170)		(112)	40	口~体	刻目平縁	多条平行沈線(沈線間 に刻目)口内沈線	LRか	RP83 内外炭
10	SG1 E29SE(E)F3- DD29SE	鉢	C2	II4	1/6	155		(105)	5	口~体	波状	平行沈線 口内沈線	LR+RL (羽)	RP105 内炭多
11	SG1 中央トレンチF3	鉢	C2	II4	1/10			(71)	66	口	平縁	無文(ケズリ) 平行沈線 口内沈線		
1	SG1 西カベ- 南カベ西角下層	浅鉢	Aか	II5	1/6	(205)		(53)	55	口~体	B突平縁	無文(ナダ) 入組連結文 口内沈線		接合破片に 南西角F3を含む
2	SG1 E30NEF3-DD30	浅鉢	Aか	II5	1/10			(43)	55	口~体	B突平縁	無文工字文 口内沈線		RP85-2
3	SG1 南カベE30NW	浅鉢	C2	II4	1/4	176	62	54	4	口~底	平縁	工字状文 口内沈線		RP12
4	SG1 DD13SE(W)F3	浅鉢	C2	II4	1/2	250	76	76	4.5	口~底	A・B平	横位沈線 弧状沈線 無文(ミガキ) 口内沈線	RP113 無孔 口4単位	
	DE29WF3- DD30NWTF3-F3 下 DD26WF2- F3-DD30NE	浅鉢	C2	II4	1/4	(201)		(80)	6	口~体	B突刻平	無文(ミガキ)メガネ状 浮文 平行沈線		RP97-122-1
	SカベSWカド-Sカ ベトレンチF3-F3 下	浅鉢	C2	II4	1/6	(410)		(73)	69	口~体	A突刻平	平行沈線 メガネ状浮文 口内沈線(羽目)		大型品
49	7 SG1 E29SE(W)F3- DD29SE	浅鉢	C2	II4	1/6	(250)		(75)	4	体	平縁	磨消縁 工字状文	LR	RP99
8	SG1 D30NEF3	鉢	C2	II4	1/10			(63)	53	口~体	刻目平縁	メガネ状浮文 工字状文 口内沈線		
9	SG1 D30NWF3	浅鉢	C2	II2	1/8	(346)		(70)	66	口~体	A・B平	平行沈線 口内沈線	Lか	
10	SG1 E29SWF3- DD30NE	壺	C2	I4	1/6	92		(56)	72	口~体	平縁	頭部無文(ミガキ) 口内沈線	LRか	RP97-1
11	SG1 E30NEF3-DD30	壺	C2	4	1/4	(86)		(52)	4	体		工字状文	LR	RP86-1 外炭
12	SG1 中央トレンチF3	壺	C2	5	1/10			(43)	37	体		無文 入組連結文		破片に未
13	SG1 E29SE(W)F3- DD29SE	壺	C2	II7	1/6	(62)		(85)	45	体		無文(ミガキ)		RP100
	EE30NE(W)- F3-DD30NE- D30NEF3	壺	C2	5	1/4	155	84	34	4	口~底		無文 多条平行沈線		RP89-2
15	SG1 DD30NEF3	注口	C2	II5	1/6	(292)		(72)	50	体			結節LR	朱
16	SG1 DE29SWF3- DD30NE	小型	C2	5	1/8	(107)		(29)	4	口~体	平縁	入組連結文 口内沈線		RP97-3 朱
1	SG1 DD29SE(W)F2- EE30NE(W)F3	深鉢	粗製	II2	1/2	(324)	(97)	406	6	口~底	平縁		LR	RP72-88
2	SG1 DE29WF3- DD29SE	深鉢	粗製	II2	1/2	(230)	(95)	340	75	口~底	平縁		LR	RP73-98-1-122 外炭
3	SG1 西カベDD30NE	深鉢	C2	II4	1/8			(132)	80	口~体	刻目平縁	横位沈線 口内沈線	LR	RP101 外炭
4	SG1 西カベDD30NE	深鉢	粗製	II2	1/6	(310)		(212)	75	口~体	平縁		LR	RP5 外炭
5	SG1 EE30NE(W)- F3-DD30NE- D30NEF3	深鉢	粗製	II2	1/6	(276)		(240)	7	口~体	波状	横位沈線	LR	RP90-1 外炭
50	6 SG1 DD30NWTF3- EE30NEF3- DD30F3	深鉢	粗製	II2	1/2	(332)	90	354	6	口~底	平縁		LR	RP59-84 外炭
	DE29WF3- DD29SE- E29SE(W)	深鉢	粗製	II2	1/8	(364)		(56)	75	口	波状	横位沈線	LR	RP98
	E30NEF3-DD30- 南カベEE30NW 下層 F3(F3)	深鉢	粗製	II2	1/6	363		(284)	7	口~体	平縁		LR	RP85-1 外炭
8	SG1 西カベDD30NE	深鉢	粗製	2	1/8	(143)	54	(100)	55	体~底			LR	RP16 朱 朱
9	SG1 DD30NEF3	深鉢	粗製	1/10	(108)		(15)	80	底		底:平行沈線			
1-1	SG1 E30NEF3-DD30	深鉢	粗製	2	1/4	(165)		(325)	7	体			LR	RP86-2
1-2	SG1 E30NEF3-DD30	深鉢	粗製	2	1/4	(98)	(146)	7	体~底			LR	RP86-2	
2	SG1 EE29SDF3-F-SX13	深鉢	粗製	II2	1/10	(255)		7	口~体	平縁		平行沈線	結節LR	RP110 外炭
51	3 SG1 DD30NWTF3-F3T	深鉢	粗製	3	1/10			(87)	60	体				網目状 熱系
4	SG1 EE30NE(W)F3- DD29SE	壺	粗製	1/2	1/4	(182)	72	(194)	7	口~底	平縁		Lか	RP87
5	SG1 西カベDD30NE	壺	粗製	2	1/4	(126)	60	(126)	7	体~底			RL	RP6 外付着

団 No.	出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底種	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
6	SG1 E29SE(F) F3D29SE	壺	粗製	2	1/6 (156)	(137)	5	体					RL	RPI03 内外朱 外模
7	SG1 E29SE(W)F3- DD30NE	小型	粗製	4	1/2 44	38	76.5	5	口～底	平縁	無文(ケズリ・ナデ) 横位沈縁		RP93 開口部に溝 部体に縱溝	
8	SG1 D.E29SWF3- DD30NE	小型	粗製		1/4 43	(53)	35	口～体	平縁	無文(ナデ)			RP97-2 内外朱	
51	9 SG1 DE29SWF2- F3下	深鉢	C2	III 2	1/6 242	(208)	65	口～体	削口平縁	横位沈縁 口内沈縁		LR	補孔 外模	
10	SG1 DD29SEF3下	深鉢	C2	III 4	1/6 (174)	(150)	50	口～体	削口平縁	平行沈縁 口内沈縁		LR	内曳多	
11	SG1 E30NEF3下	深鉢	C2	III 4	1/8 400	(85)	57	口～体	波状	平行沈縁 口内沈縁		RL-LR (羽)	RP123	
12	SG1 E29SWF3下	深鉢	粗製	III 2	1/4 (335)	(290)	7	口～体	波状			LR	RP129-2 外模 (羽) (接) 内外朱	
13	SG1 D.E29SWF3下	深鉢	粗製	II 2	1/2 (301)	(167)	55	口～体	平縁			LR	RP129-1-RP154 (羽) (接) 内外朱	
1	SG1 D29SE(W)F3- F2-F3	深鉢	C2	III 2	1/6 263	(162)	75	口～体	波状	横位沈縁 口内沈縁		LR	RPI18-1 外模	
2	SG1 DD29SE(W)F3- F4	深鉢	C2	III 4	1/6 (164)	(106)	5	口～体	B突刻平	多条平行沈縁 口内沈縁		LR	外曳多	
3	SG1 E29SWF3下	鉢	C2	III 4	1/2 132	51	111	58	口～底	A突波平	平行沈縁 口内沈縁	LR	RP120-128	
4	SG1 D30NWFW3下	鉢	C2	III 4	1/1 181	74	156	6	完形	突起平縁	平行沈縁 口内沈縁	LR-RL	RP122 外曳多 (羽) (羽) (接) 内外朱	
5	SG1 D.E29SWF3-F- D30NWFW3下	鉢	C2	III 4	1/2 181	52	139	0.8	口～底	B突刻平	口内沈縁	LR-RL (羽)	外曳多	
6	SG1 E29SWF3下	鉢	C2	III 4	1/6 108	(39)	55	11	A-B平	平行沈縁 口内沈縁		LR	RP115	
7	SG1 E30NEF3下	鉢	C2	III 4	1/2 129	52	121	45	口～底	削口平縁	平行沈縁 口内沈縁	LR	RP116 内外曳多	
52	南カベEE30NW- F3下-F4南カベトレ- ンシ	鉢	C2	III 4	1/4 (209)	(1125)	6	口～体	B突刻平	メガネ状浮文 平行沈縁 口内沈縁	LR(羽)	RP17		
9	SG1 F3下-FD29SE(W)- F4	鉢	C2	III 4	1/6 (166)	(78)	65	口～体	A突刻平	多条平行沈縁 口内沈縁	LR	RP135 外模		
10	SG1 F3下-EE30	鉢	C2	III 4	1/4 178	(82)	5	口～体	削口平縁	削口文(スキマ) 平行沈縁(幅広) 口内沈縁	RL	RPI34 内外曳		
11	SG1 DE29SWF3下	鉢	C2	III 4	1/8	(39)	90	口～体	A-B刻	列点文 平行沈縁 勾消繩	LR			
12	SG1 DD29SE(W)F3下	鉢	C2	III 4	1/10	(54)	42	口～体	B突刻平	工字状文(羽) 口内沈縁	LR-RL (羽)	内外曳		
13	SG1 D.E30NWFW3下	鉢	C2	III 4	1/10	(80)	45	口～体	A突波平	工字状文(羽) 口内沈縁	LR	内外曳		
14	SG1 D.E29SWF3赤鉢	鉢	C2	III 4	1/10	(34)	30	口	削口平縁	多条平行沈縁(削口) 口内沈縁	LR	内外曳		
15	SG1 E29SEF3下	鉢	C2	4	1/10	(44)	45	体		磨消繩文	LR			
16	SG1 南カベEE30NW- EE29SW	鉢	C2	4	1/8 (114)	52	156	0.4	体～底	横位沈縁	LR	朱か 球か RP13-2		
1	SG1 南カベEE30NW	浅鉢	C2	II 4	1/2 (197)	70	80	73	口～底	波状	平行沈縁 口内沈縁	LR	RP13 外模	
2	SG1 D30NWFW3下	浅鉢	C2	II 4	1/2 144	32	36	45	口～底	波状	口内沈縁	RL	RP122 内面底 部に沈縁	
3	SG1 D.E29SWF3下	浅鉢	C2	II 4	1/6 (130)	(42)	45	口～体	削口平縁	メガネ状浮文 平行沈縁 口内沈縁	LR			
4	SG1 DE30SW	浅鉢	C2	II 4	1/4 (86)	(29)	5	口～体	B突平縁	磨消繩文 平行沈縁 口内沈縁	LR			
53	5 SG1 EE29SEF3下	浅鉢	C2	II 4	1/2 265	70	645	45	口～底	削口平縁	入網沈縁文 磨消繩文 口内沈縁	RL		
6	SG1 DEE29SW-F3下	浅鉢	C2	II 4	1/6 (160)	(72)	50	口～体	平縁	メガネ状浮文 平行沈縁 口内沈縁	LR	朱 外付着		
7	SG1 D30NWFW3下	浅鉢	C2	II 4	1/6 (220)	(65)	45	口～体	平縁	メガネ状浮文 平行沈縁 磨消繩文 口内沈縁	LR	RP122 固造		
8	SG1 EE29SEF3下	浅鉢	C2	II 4	1/2 (288)	(62)	118	4	口～底	削口平縁	メガネ状浮文 平行沈縁 磨消繩文 口内沈縁	LR		
9	SG1 D.E29SWF3下	浅鉢	C2	II 4	1/10	(49)	6.0	口～体	B突平縁	平行沈縁 無文(ミガキ) 口内沈縁			CI-C2 内外曳	
1	SG1 南カベEE30NW	浅鉢	C2	II 4	1/2 (332)	(90)	132	6	口～底	削口平縁	横位沈縁 口内沈縁	LR	RP17	
2	SG1 DD30NW	浅鉢	C2	II 4	1/6				口～体	平縁	張繩文 横位沈縁 磨消繩文	RL		
54	DE26SW南カベト- レシナF3-F3-F5-S カカベ下層カクラン XO	浅鉢	C2	II 4	1/4 280	83	9.0	口～底	A突平縁	無文(ミガキ) 平行沈縁 口内沈縁				
4	SG1 E30SF直	浅鉢	C2	II 4	1/6 (280)	(64)	5.5	口～体	A-B平	平行沈縁 口内沈縁	LR			
5	SG1 E29SEF3-Sカカ- ラン	浅鉢	C2	II 4	1/6 (394)	(119)	5.0	口～体	B突刻平	入網沈縁文 平行沈縁 無文(ミガキ) 口内沈縁			大型品 外付着	
55	1 SG1 D.E29NE D.E29SE(W)F3下	壺	C2	II 4	1/2 (200)	218		口～底	平縁	口内沈縁 頭部無文(ミ ガキ)	LR			
2	SG1 Sカカベ中央F3下-南 カカベ下R	壺	C2	II 4	1/6 (76)	(82)	4.0	口～体	A突波平	横位沈縁 口内沈縁	RL			

No.	出土地點	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
3	SG1 DD29EF3F-D30NW	壺	C2	14	1/6 (88)		(41)	33	口	A突波平	無文(ミガキ) 口内沈縞			
4	SG1 D.EE30NWF3F	壺	C2	14	1/6 (102)		(50)	55	口	平縞	無文(ミガキ) 口内沈縞		広口壺	
5	SG1 D30NEF3F	壺	C2	4	1/10		(26)	30	体		平行沈縞 磨消縞文	LR		
6	SG1 D29E(W)F3F	壺	C2	4	1/10		(36)	52	体					RP118-L方形区 画文(降帯) ミガキ
7	SG1 D.EE30NWF3F	壺	C2	4	1/6 (106)		(45)	04	底		平行沈縞	LR		
8	SG1 E29EF3F	壺	C2	4	1/6 (385)		(125)	70	体		磨消縞文 人面文 C字状文 無文(ミガキ)	LR	RP30下と接合	
55	9 SG1 DEE29SWF3F	注口壺	C2	4	1/6 (176)		(37)	60	体		平行沈縞 磨消縞文 体部中央:B突起付刻目	LR	C1~C2	
10	SG1 DE30NEF3F-西カ ル	注口壺	C2	4	1/6 (141)		(35)	200	注口部		工字状文 体部中央: 刻目文(突起)	LR		
11	SG1 D.EE29SWF3F-E E29SWF3F	注口壺	C2	4	1/2 179	42	61	45	体~底		磨消縞文	LR	朱 部体B突起付	
12	SG1 南カ~E30NW- 西カ~D30NE- D30NEF3	深鉢	粗製	II2	1/2 (306)		(219)	85	口~体	平縞	平行沈縞	LIRR	RP13-19-126 内外底	
13	SG1 D29E(W)F3F	深鉢	粗製	II2	1/2 264	80	298	70	口~底	平縞		結節LR	RP118-外底	
14	SG1 D30NEF3Fの上- DD29SWF3F-F3- DEE30NEF3	深鉢	粗製	II4	1/6 230		(145)	80	口~体	波状	横位沈縞	LR	RP131	
1	SG1 E30NEF3F	深鉢	粗製	II2	1/6 (348)		(165)	75	口~体	波状		LR-RL (羽)	RP123	
2	SG1 F3 F~F5	深鉢	粗製	II2	1/4 239		(156)	70	口~体	波状		LR	RP133-外底	
3	SG1 D30-DD30NWF3- F3F	深鉢	粗製	II2	1/6 (342)		(167)	70	口~体	平縞		結節LR	RP127-127-2 外底	
4	SG1 D30NWF3F- E29SE(W)F2	C2	粗製	II2	1/8		(87)	6	口	波状	横位沈縞 口内沈縞	LR	RP122-3	
5	SG1 D.EE30NEF3F	深鉢	粗製	II2	1/10		(78)	95	口~体	A突波平	多条平行沈縞		類似縞 文か	浅鉢か
6	SG1 西カ~	深鉢	粗製	II2	1/8	100	(84)	95	底			RL	RP174	
56	7 SG1 E30NEF3F	鉢	粗製	II2	1/6 180		113	5	口~体	波状		LR	RP126 内外底	
8	SG1 D30NEF3F	鉢	粗製	II2	1/2 125		109	4	口~体	平縞		LR	RP119	
9	SG1 D.EE30NWF3F	鉢	粗製	II2	1/6 164		91	5	口~体	刻日平縞		L		
10	SG1 D.EE30NEF3F	鉢	粗製	II2	1/4 (119)	46	75	5	体~底			LR	内外底多	
11	SG1 D30-D.EE30NE	壺	粗製	2	1/4 (174)	64	(182)	60	体~底			RL	RP127 外底	
12	SG1 D.EE30NWF3F 小型	C2	4	1/6 (79)	54	(55)	55	底~体			無文(ナダ)			
13	SG1 D.EE30NWF3F 小型	C2	4	1/2 (66)	34	61	60	口~底	平縞		無文(ナダ)		内面に迹と朱	
14	SG1 F3 F~F5	深鉢	粗製	2	1/2 (121)	54	(96)	05	底			RL	RP133-2 内外底	
1	SG1 DD30NE	深鉢	C2	II4	1/6 (303)		(188)	65	口~体	B突起平	平行沈縞 口内沈縞	LR-RL (羽)	RP162 外底	
2	SG1 D29SE(W)F4	鉢	C2	II4	1/2 (159)	60	140		口~底	波状	平行沈縞 口内沈縞	LR-RL	RP142 内外扱 (羽) T10単位	
3	SG1 DD29SE	鉢	C2	II4	1/4 179		(93)	5	口~体	A突波平	平行沈縞 メガネ状浮文 か 口内沈縞	RL	RP151-2	
4	SG1 EE29WE-DE29SW	鉢	C2	II4	1/2 95	43.5	94	5	口~底	刻日平縞	平行沈縞 口内沈縞	LR-RL (羽)	RP153	
5	SG1 D.EE29SWF4	鉢	C2	II4	1/10		(33)	30	口	刻日平縞	メガネ状浮文 磨消縞文 口内沈縞 贼縞	LR	内外底	
6	SG1 EE29SW	鉢	C2	II4	1/6 (171)		(81)	60	口~体	A-B削	平行沈縞 メガネ状浮文 口内沈縞	LR	RP155 内外底多	
7	SG1 D30NF4	鉢	C2	II4	1/4 (110)		(65)	5	口~体	突・B削	メガネ状浮文 口内沈縞 平行沈縞 磨消縞文	LR		
8	SG1 DD30NE	鉢	C2	II4	1/10		(44)	43	口	刻日平縞	平行沈縞 口内沈縞	LR	RP148-2 外底	
9	SG1 DE29SWF4	鉢	C2	II4	1/10		(86)	53.5	口~体	B突起平	平行沈縞(刻目) 口内沈縞	LR-RL (羽)	内外底	
10	SG1 DE29SWF4	鉢	C2	II4	1/8		(48)	4	口~体	B突起平	磨消縞文	LR		
11	SG1 DE29SWF4	鉢	C2	II4	1/10		(39)	55	口~体	刻日平縞	多条平行沈縞 口内沈縞	RL	内外底	
12	SG1 D29SE(W)F4	鉢	C2	II4	1/10		(44)	46	口~体	刻日平縞	平行沈縞 口内沈縞	RL	外底	
13	SG1 DE29SWF4	鉢	C2	4	1/10		(38)	50	体		平行沈縞 磨消縞文	LR		
14	SG1 DD29SE	浅鉢	C2	14	1/2 (358)	121	(132)	7	体~底		無文 工字状文 平行沈縞		RP150	
15	SG1 EE29SWF4	浅鉢	C2	14	1/10		(45)	60	口~体	刻日平縞	磨消縞文 口内沈縞	LR		
16	SG1 D29SE(W)F4- D29SE(W)F3F	浅鉢	C2	14	1/10		(65)	565	口~体	B突起平	磨消縞文 口内沈縞	LR	RP142 C1~C2	
17	SG1 D29SE(W)F4	深鉢	B		1/10		(44)	37	口	波状	人面文 三叉文	LR		
18	SG1 東カ~F4の下(最 古)カ~崩落土	浅鉢	C2	14	1/8		(155)	50	体		人面沈縞文 底内に沈縞			
58	1 SG1 DD29SE	深鉢	粗製	1/6	(352)		(225)	70	体			LR	RP151 外底	

No.	出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底種	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考		
2	SG1	DE296WF4	深鉢	粗製	II	1/10		(134)	75	口~体	削目平縁		LR・RL (羽)			
3	SG1	DD29SE	深鉢	C2	III	4	1/10		(93)	60	口~体	波状	平行沈線	LR・RL (羽)	RP151-3	
4	SG1	DD30NE・D29SE (W)	深鉢	粗製	2	1/8	(150)	98	(505)	95	底			LR	RP147 網代	
5	SG1	E30NE・DD30NE	深鉢	粗製	2	1/10		(230)	95	体			結節LR	RP146 内外灰		
6	SG1		深鉢	粗製	2	1/4	(272)	80	(193)	75	底~体			RL	RP161	
7	SG1	EE29SWF4	深鉢	粗製	2	1/4	(196)	67	(116)	0.5	底			LR	RP158	
8	SG1	EE29SW	鉢	粗製	III	4	1/4	184	64	141	73	口~底	平縁	無文(ナデ)	RP158 内朱外灰	
58	9 SG1	DE29SWF・ E29F4Y	鉢	粗製	III	2	1/4	(134)	49	114.5	6	口~底	平縁		LR・RL (羽)	内外灰多
10	SG1	EE2EE29W・ E29F4Y	鉢	粗製	III	4	1/2	161		(125)	80	口~体	平縁	無文(ナデ)	横位沈線	RP153・154・165
11	SG1	D29SE(W)F4	鉢	粗製	2	1/8	(118)		(69)	37	体			LR	漆	
12	SG1	DD30NE・E29SE	鉢	粗製	3	1/2	(107)	48	(65)	46	底~体			網目状 撚糸	RP148・149 内外灰	
13	SG1	EE29SW	壺	粗製	1	2	1/6	(121)		(128)	6	体			LR・RL (羽)	頭部沈線RP152 内外灰多
14	SG1	D29SE(W)F3下～ F4・DD30NE	壺	粗製	1	2	1/2	96	65	198	5	口~体	平縁		LR	RP143・148
15	SG1	F4		注口	後期	4	1/10		(36)			体			円文貼付	RP162
1	SG1		上層	深鉢	C2	III	4	1/10		(42)	75	口	平縁	工字状文 平行沈線 口内沈線		
2	SG1	中央トレンチ から下層	深鉢	C2	III	4	1/10		(28)	65	口	A突刻平	口内沈線	LR	補孔	
3	SG1	西カべ下層一括	深鉢	C2	III	4	1/10		(115)	60	口~体	波状	横位沈線 口内沈線	LR		
4	SG1	中央トレンチ下層	浅鉢	A	1.5	1/6	(160)	(52)	53	40	口~底	平縁	工字文 口内沈線		朱	
5	SG1	中央トレンチ から下層	浅鉢	C2	A	4	1/6		(30)	40	底			平行沈線		
6	SG1	南カベ下層上	浅鉢	A	II	4	1/6	(140)	(28)	30	口	A・B平	無文(ナデ)	口内沈線		
7	SG1	西カベ下層	浅鉢	C2	1	2	1/10		(26)	40	口	B突平縁	烈点文	平行沈線 口内 沈線(朝日)	LR	
8	SG1	南カベ下層	深鉢	C2	II	4	1/10		(57)	55	口	浅状			LR	補孔
9	SG1	中央トレンチ	深鉢	B	II	1	1/10		(42)	70	口	突起平縁	三叉文		LR	
10	SG1		深鉢	C2	III	4	1/10		(43)	68	口~体	波状	多条平行沈線	口内沈線		
11	SG1	中央トレンチ中 から下層	鉢	C2	III	4	1/6	(165)	(50)	5	口	波状	工字状文(朝日) 口内沈線	LR		
12	SG1	Wカベ	鉢	C2	III	4	1/10		(32)	56	口~体	B突平縁	多条平行沈線(突起付)			
59	13 SG1	Sカベカクラン	鉢	C2	III	4	1/2	(132)	(48)	104	45	口~体	B突刻平	横位沈線 口内沈線	LR・RL (羽)	内外灰
14	SG1		浅鉢	A	5	1/10		(29)	30	体				多条平行沈線		
15	SG1		浅鉢	C2	3	1/10		(60)	60	体				崩消繩文	LR	
16	SG1	中央トレンチ	深鉢	後期				1/10	(42)	65	体			平行沈線(崩消)	崩Ⅱ～Ⅲ	
17	SG1		注口	C2	II	4	1/10		(35)	47	体			崩消繩文 体部中央: 崩日文	朱	
18	SG1	SカベXO	小型	C2	4	1/4	(40)	35	(50)	45	口~底	平縁				同一個体か
19	SG1		小型	C2	4	1/2	82	30	31	50	口~底	平縁	口:粘土繩痕 無文 (ナデ)	横位沈線		
20	SG1	SENカベ	深鉢	粗製	3	1/10		(69)	80	体				網目状 撚糸		
21	SG1	Wカベ	浅台	粗製	1/8			60	(40)	70	体~底				内炭	
22	SG1	Wカベ	浅鉢	粗製	1	6	(176)	(22)	66	66	体~底			崩消繩文か		
23	SG1	Sカベ	小型	C2	4	1/4	(58)	32	(33)	5	体~底			RL	朱	
24	SG1	DE29SWF1	深鉢	中期			1/10		(42)	70	体			渦巻環帯	キヤリバ型 繩文中期	
25	SG1	北カベ	鉢	BC	II	2	1/10		(39)	45	口~体	削目平縁		半圓状文	LRか	補孔
1	SK2		鉢	B	II	1	1/10		(43.5)	55	口~体	平縁		三叉文 貼崩 無文 (ミガキ)	LR	
2	SK2		深鉢	後期	II	2	1/10		(62)	(55)	体			入組文(貼崩)	LR	灰化物
3	SK2		深鉢	後期か	II	4	1/10		(41)	52	口	削目突平		磨消繩文 烈点文	LR	
4	SK2		深鉢	粗製	4	1/10	(114)	64	(42)	80	底			無文(ナデ)	RP21	
60	5 SP3		深鉢	後期	II	1	1/10		(61)	7	体			帶狀文 貼崩(綫長) 弧線文		
6	SG1	SD5・DE29SWF3	浅鉢	A	15	1/6	(196)	(47)	51	口~体	平縁	平行沈線	工字文 メガ ト状浮文 口内沈線		RP24	
7	SX7		鉢	C2	II	4	1/10		(23)	80	口	削目平縁		平行沈線	C2～A	
8	SX8		鉢	C2	III	4	1/10		(41)	41	口	A・B平		平行沈線(朝日) 口内沈線	LR	外炭
9	SX10		鉢	C2	III	4	1/10		(41)	55	口	平縁	横位沈線 無文(ナデ) 口内沈線			

図 No.	出土地点	器種	形式	型態	残存	口径	底径	器高	器厚	部位	口縁形態	文様	地文	備考
10	SX10	浅鉢	C2	Ⅲ5	1/10		(22)	64	口	B突平縁	メガネ状浮文 平行沈線 口内沈線		C2~A	
11	SX10	浅鉢	B	Ⅰ1	1/10		(26.5)	55	口~体	平縁	入組文 三叉文			
12	SK12	深鉢	粗製	Ⅱ4	1/6 (290)		(256)	55	口~体	平縁		結節LR	外底	
13	SX13Nカベ	浅鉢	A	Ⅲ4	1/10		(46)	48	口~体	B突平縁	磨消繩文 工字状文 口内沈線	LR		
14	SX14	浅鉢	A	Ⅰ5	1/10		(31)	85	口	突起	口:A突起付 工字文			
15	SP18	深鉢	後期小	Ⅰ3	1/10		(41)	65	体		入組沈継文			
16	SP19	深鉢	粗製	2	1/10		(90)	50	体			LR・RL (羽)		
17	SX21	鉢	C2	Ⅲ4	1/10		(30.5)	60	口~体	割目平縁	平行沈継	RL		
18	SX27	鉢	C2	Ⅲ4	1/10		(49)	505	口~体	波状	平行沈継	RL		
19	SP32	深鉢	B	Ⅱ1	1/10		(42)	55	口~体	波状	弧線文 三叉文			
20	SP42	深鉢	BC	Ⅱ2	1/10		(75)	55	口	割目平縁	烈点文 平行沈継	LR	内底	
21	SP48	深鉢	B	1	1/10		(24)	50	体		円文(2条)	RL		
22	SP62	鉢	C2	Ⅲ4	1/10		(37)	59	口	波状	平行沈継 口内沈継	LR	C2~A	
23	SK69	深鉢	粗製	4	1/10		(88)	60	体			LR		
24	SK69	深鉢	粗製	Ⅳ4	1/10		(107)	68	口~体	平縁		結節LR		
25	SK69	深鉢	後期	6	1/10		(41)	55	口	波状	平行沈継 割目文			
26	SP65	盞	平安 (重文型)	1	1/10		(36)	70	体		外彫:タタキ			
27	表土	高台	平安 付焼(重文型)	1	1/10		(16)	55	体~底		内外:ロクロ 底部:ハコ切			
28	S(南半)	鉢	C2	4	1/10		(115)	72	体		平行沈継	LR		
29	北半	深鉢	後期	Ⅱ5	1/10		(107)	60	口~体	突起	三叉文 弧状沈継			
30	Sカベ下層	小型	C2	4	1/6 (56)	29	(29)	30	体~底		平行沈継	LR		

表13 石器観察表

出土石器観察表の凡例

・器種・分類は、出土石器の本文中の分類に準拠する。

・観察表中の計測値、長さ・幅は全長ならびに最大幅である。厚さは最大厚を測定した。

但し、石耙は、長さを左右のノッチの最深部を結んだ線に垂線を引き、上端、下端の最も突出する位置から、垂線に平行な線を引き、その距離を計測した。石鎧は、石器の袖領を基準として、その全長を長さ、みかけの最大幅を幅とした。孫器・剣器は、素材の背面側を表、主要剥離面を裏とし、打点を上面に置いた時の全長を長、最大幅を幅とした。加工痕のある石器は、長さ、幅、厚さとも最大値を測定した。括弧内の数値は残存値を示す。

・表石材については、下記の括弧内ののように省略した。

珪質頁岩(珪質)、黒色頁岩(黒質)、黃色頁岩(黃質)、砂岩(砂岩)、凝灰岩(凝灰)、綠色凝灰岩(綠凝)、流紋岩(流紋)、安山岩(安山)、玄武岩(玄武)、花崗岩(花崗)、片岩(片岩)、玉髓(玉髓)、鐵石英(鐵石)、珪岩(珪岩)、瑪瑙(瑪瑙)、黑曜石(黑曜)である。

・表備考は、登録番号(RQ)を付した。土器と供伴したものには、その登録番号(RP)を付した。他に「アス」は、アスファルトが付着するもの、付着物のあるものは「付着物」と示した。アスファルトなど付着物は、図上でも網掛けなどし、適宜示した。

種別	分類	出土地区		遺物番号	計測値(mm)			重量(g)	石材	備考	図 No		
		出土地点	グリッド		層位	長さ	幅						
1	石鎧	I	残土		(24.4)	14.3	8.3	2.6	瑪瑙				
2	石鎧	IIa	西カベ(北)		26.0	13.5	6.5	2.0	頁岩		61 9		
3	石鎧	IIb	残土		35.0	15.3	6.4	3.0	頁岩				
4	石鎧	IIb	SG1	D-EE29SW	F3 F	28.8	19.0	8.3	4.5	玉髓			
5	石鎧	IIb	SG1東カベ			28.6	9.0	4.0	0.9	頁岩		61 10	
6	石鎧	IIb	SG1	E29SE	F1か	RQ138	37.2	21.5	6.4	5.5	頁岩		
7	石鎧	III	残土			36.2	15.8	11.2	3.6	頁岩	付着物		
8	石鎧	III	SG1	D-EE30NE	F3 F	34.6	13.6	7.6	3.0	頁岩			
9	石鎧	N'a	残土			29.0	9.0	3.6	0.7	頁岩		61 15	
10	石鎧	N'a			(19.7)	8.0	5.0	0.8	頁岩				
11	石鎧	N'a	SG1残土			18.8	9.0	2.4	0.5	頁岩	アス	61 1	
12	石鎧	N'a	SG1		F3	29.8	9.9	5.5	1.3	頁岩			
13	石鎧	N'a	SX12			21.7	11.6	5.0	0.9	頁岩		61 2	
14	石鎧	N'a	SG1東カベ			23.2	10.9	4.3	1.2	瑪瑙		61 11	
15	石鎧	N'a	SG1東カベ			28.4	13.8	4.3	1.6	頁岩		61 12	
16	石鎧	N'b	SG1残土			25.2	10.0	3.2	0.5	玉髓		61 4	
17	石鎧	N'b	SG1残土			31.4	15.2	8.6	2.3	頁岩			
18	石鎧	N'b	SG1残土			27.6	9.6	4.5	0.7	頁岩		61 6	
19	石鎧	N'b	SG1	D-EE29SW	F3 F	43.2	16.0	5.2	1.7	瑪瑙		61 13	
20	石鎧	N'b	SG1	DD30NE	F3	29.2	10.5	4.0	1.0	頁岩	アス	61 7	
21	石鎧	N'b				21.4	13.3	4.6	1.0	瑪瑙			
22	石鎧	N'b	SG1	D-EE29SW	RQ45	27.7	12.0	4.3	0.8	瑪瑙		61 8	
23	石鎧	N'b	SG1	D-EE29SW	F1	25.5	13.2	5.8	1.4	頁岩		61 5	
24	石鎧	N'b	SG1	DD29SE	F3 FY	RQ132	42.2	15.2	4.0	1.3	頁岩		61 14
25	石鎧	V	残土			29.6	13.4	7.0	2.4	頁岩			
26	石鎧	V	SG1	DD29SW	F3	RQ107	20.3	13.8	5.4	1.3	頁岩か		61 3
27	石削	I a	SG1	DD30NE	F4か	RQ144	34.2	20.5	9.2	5.8	頁岩		61 16
28	石削	I a	残土			36.2	24.4	9.0	7.0	頁岩			
29	石削	I b	SG1	D-EE29SW	F3 F	37.0	27.2	13.3	10	瑪瑙	弱單か	61 17	
30	石削	I b	X-O			37.0	23.0	11.5	7.7	瑪瑙		61 18	
31	石削	I b	SG1	E29SW	F3	PP128	28.6	22.9	7.0	4.9	玉髓		
32	石削	II	SG1			45.1	23.6	11.3	11.2	頁岩		61 20	
33	石削	II	SG1	EE29SE	F3 F	35.0	18.2	6.5	3.6	頁岩			
34	石削	II	SG1	D-EE28SE	F2~F3 (W)	46.2	25.1	10.5	9.5	頁岩		61 19	
35	石削	II	残土			23.5	36.0	6.0	4.7	玉髓			
36	石削	III	SG1			33.2	16.9	10.3	10.8	頁岩か			
37	石削	III	X-O			(18.9)	19.5	7.5	2.4	頁岩			
38	石削	I a	残土			(33.5)	24.0	6.2	3.4	頁岩			
39	石削	I a	SG1	DD29SW	F3	RQ109	55.3	25.9	9.3	6.3	頁岩		62 7
40	石削	I b	SG1	DD30NW	F1	43.8	15.9	4.1	1.6	瑪瑙		62 5	
41	石削	I b	SG1	D-EE29SW	F3 F	55.8	13.7	8.9	5.3	頁岩		62 6	
42	石削	II a	SG1	D-EE29SW	F3 F	32.5	9.0	7.0	1.8	頁岩		62 1	
43	石削	II a	SG1	D-EE30NW	F3 F	79.4	13.5	6.8	8.8	頁岩		62 8	
44	石削	II b	フサ			42.2	16.0	9.5	6.7	玉髓		62 3	

種別	分類	出土地区			計測値 (mm)			重量(g)	石材	備考	図 No	
		出土地点	グリッド	層位	遺物番号	長さ	幅					
45	石器	II b	SG1	D30NE	F3 F	RQ121	36.4	10.5	6.7	2.0	頁岩	62 2
46	石器	III	SG1	EE29SE(W)	F2		61.4	23.6	14.3	14.9	頁岩	62 10
47	石器	III	SG1	D-EE29SW	F2		35.3	22.4	18.4	7.5	瑪瑙か	
48	石器	III	SG1	D-EE30NW			52.2	17.4	9.7	5.8	頁岩	62 4
49	石器	III	SG1	中央トレンチ			35.5	25.0	10.9	7.7	頁岩	
50	石器	III	東カベ				53.0	47.0	12.8	21.4	頁岩	62 9
51	石器	III	SG1	DD30NE	F2	RQ49	47.8	15.5	8.8	4.7	頁岩	
52	石器	IV		残土			25.6	12.4	8.7	2.1	頁岩	
53	石器	I	SG1	E29SW		RQ125	92.7	58.5	20.0	100.1	頁岩	アス 62 14
54	石器	II a	SG1	EE30SW	F2	RQ48	52.4	57.2	16.5	39.2	頁岩	62 15
55	石器	II b	SG1	DD29SW	F3	RQ108	51.0	49.5	8.3	15.8	頁岩	62 12
57	石器	III a	SG1	南カベ西角			67.5	43.9	8.9	27.2	頁岩	アス 62 13
58	石器	III b	SG1	DD29SE	F3 F Y	RQ136	57.5	34.2	7.0	14.4	頁岩	アス 62 11
59	石器	IV		残土			47.2	52.7	14.6	31.6	頁岩	
60	石器	I	SG1	中央トレンチ			60.9	25.0	9.3	6.3	頁岩	アス
61	石器	I	SG1	上層			40.5	20.3	10.1	7.6	頁岩	63 2
62	石器	I	SG1	E29SW	F3 F	RQ124	55.2	23.6	9.2	12.4	頁岩	
63	石器	II a	SG1	EE29SW	F2	RQ79	36.0	18.4	9.1	5.7	頁岩	63 1
64	石器	II a	SG1	E29SW	F3 F	RQ117	43.8	19.0	9.3	7.7	頁岩	63 3
65	石器	II b	SG1	SG1残土			62.5	25.5	10.0	8.2	頁岩	
66	石器	II b	SG1	DD30NE	F1		58.2	29.0	16.2	26.1	頁岩	63 5
66	石器	III	SG1	南カベ南東角			66.0	30.6	11.7	16.5	頁岩	
67	石器	IV		北カベ			97.8	28.2	22.2	64.3	頁岩	63 7
68	石器	V		ツボ 1			78.5	56.8	23.9	75.8	頁岩	
69	石器	VI	SG1	残土			44.0	23.0	12.0	9.3	頁岩	63 4
70	器物	I a	SG1	DD30NE	F2		111.0	52.2	22.4	116.5	頁岩	63 8
71	器物	I b		表土			51.0	28.0	10.0	18.3	頁岩	63 6
72	削器	I a		南カベ	F層		63.8	57.2	10.3	33.7	頁岩	
73	削器	I b	SG1	南カベ西角			37.7	15.5	8.0	4.7	頁岩	
74	削器	I b	SG1	D30NE	F1		27.2	43.9	11.6	12.6	頁岩	
75	削器	I b	SX13				52.6	32.4	13.4	19.0	頁岩	
76	削器	II a	SG1				40.4	36.3	10.5	15.2	頁岩	63 11
77	削器	II b	SG1	DD30NE(W)	F2	RQ69	55.1	41.0	35.8	37.2	頁岩	63 10
78	削器	II b	SX13	北カベ			12.4	35.3	7.9	5.6	頁岩	
79	削器	III a	SK2				37.0	50.9	10.0	23.2	頁岩	63 12
80	削器	III b	SG1	D-EE29SW	F4		42.7	52.8	7.9	15.2	頁岩	63 13
81	加工痕		SG1				39.0	40.3	11.5	15.2	頁岩	一線のみ
82	加工痕		SG1	EE29SE	F3 F		40.5	44.6	14.5	21.4	頁岩	一線のみ
83	加工痕		SG1	EE29SE	F3 F		22.9	37.6	10.3	8.7	頁岩	小切加工
84	加工痕		SG1	削札なし			43.0	23.2	8.0	7.3	頁岩	一線のみ
85	加工痕			残土			69.8	18.2	6.7	2.0	頁岩	一線のみ
86	加工痕			残土			68.8	23.7	10.0	8.8	頁岩	1次調整
87	加工痕		SP45				32.4	15.0	8.0	3.5	頁岩	一線のみ
88	加工痕			残土			24.6	17.5	6.8	2.3	頁岩	器物状
89	加工痕		SG1				22.8	36.6	13.8	17.1	頁岩	1次調整
90	加工痕		SG1				30.2	32.6	6.2	6.7	頁岩	一線のみ
91	加工痕		SG1				39.6	30.0	8.0	9.1	頁岩	ノッチ
92	加工痕		SG1	D-EE29SW	F1		21.0	33.0	7.5	4.6	頁岩	小切加工
93	加工痕		SG1	D-EE29SW	F1		42.3	49.2	14.2	21.9	頁岩	器物状
94	加工痕		SG1	D-EE30NE	F3 F		38.2	37.9	12.3	14.3	頁岩	1次調整
95	加工痕		SG1	DE30NW	F3 F		32.9	24.5	9.4	5.5	頁岩	ノッチ
96	加工痕		SD5				37.9	36.8	11.5	12.6	頁岩	1次調整
97	加工痕			残土			30.0	47.5	17.4	28.6	玉髓	1次調整
98	加工痕		SX13				30.4	30.2	13.3	13.7	頁岩	1次調整
99	加工痕		SG1	DD30NEF2			23.4	17.6	6.7	3.1	黒曜石	一線のみ
100	加工痕			西カベ			28.7	18.5	13.0	6.0	黒曜石	一線のみ

種別	分類	出土地点	グリッド	層位	遺物番号	計測値 (mm)			石材	備考	図 No	
						長さ	幅	厚さ				
101	磨斧	I'a	SG1			(51.5)	64.0	28.0	143.8	花崗岩	64 7	
102	磨斧	I'a	SG1	DD29SW	F2~F3	(56.0)	37.1	28.0	67.9	花崗岩		
103	磨斧	I'a	SG1			(84.0)	45.0	30.0	172.5	安山岩	64 1	
104	磨斧	I'a	SG1			(55.0)	40.0	26.0	83.3	安山岩	64 5	
105	磨斧	I'a	SG1	D-EE30NW	F2	RQ82	(89.2)	59.0	32.8	227.8	安山岩	63 14
106	磨斧	I'a	SG1			(56.0)	54.0	28.0	109.4	安山岩	64 6	
107	磨斧	I'b	SG1			86.0	49.5	20.0	146.9	閃綠岩	64 4	
108	磨斧	I'b	SG1	E29SE	F3か	RQ159	96.0	48.8	22.3	155.9	安山岩か	64 2
109	磨斧	II	SG1	EE28SW	F2	RQ80	(110.0)	48.3	26.0	251.3	安山岩	64 3
110	凹石	I	SG1				134.0	44.4	32.0	270.3	安山岩	64 9
111	凹石	I	SG1	中央トレンチ SG1 3次サン プリング	北斜面	103.0	107.4	4.3	474.0	砂岩	64 11	
112	凹石	I	SG1西カベ			105.0	223.0	164.5	3349.0	安山岩		
113	凹石	II	SX6 SG1 西カベ			72.4	83.4	35.0	161.0	シルト		
114	凹石	II	SK2 西カベ			109.0	90.0	50.0	731.5	安山岩	苔着 64 8	
115	凹石	II	SG1 DD29NE(E)	F2	RQ51	115.0	68.0	29.0	244.8	シルト	64 10	
116	凹石		SK2			145.0	399.3	191.5	1031.1	緑色凝灰岩	跡の裏状 66 1	
117	凹石		SK2			90.0	178.5	178.0	2.602	砂岩	跡の裏状 66 2	
118	磨石	I	SG1	D-EE29SE(W)	F3	67.0	53.4	57.0	456.1	シルト	65 4	
119	磨石	II	SG1	DD29SE(W)	F3下~F4	50.0	41.0	34.0	66.0	シルト	65 1	
120	磨石	II	SG1	DD30NE	F3	RQ95	56.0	53.4	42.5	145.2	安山岩	65 2
121	敲石	I	SG1	中央トレンチ	F3	79.0	72.4	77.0	456.2	緑色凝灰岩	65 3	
122	敲石	I	SG1	E29SE	F4	RP148F	44.0	65.5	56.0	240.6	緑色凝灰岩	
123	敲石	I	SG1	D-EE29SW	F3下	101.5	118.7	106.2	1223.0	緑色凝灰岩		
124	敲石	I	SG	D-E29SW	F3下	84.0	93.0	99.0	780.6	緑色凝灰岩		
125	敲石	II	SG1	EE29SW	F2	RQ53	93.0	95.0	59.0	494.0	凝灰岩	65 5
126	石塊		SG1	EE29SW	F4か	RQ164	54.0	164.0	126.9	627.3	砂岩 破片と接合	65 7
127	石塊		SG1	D-EE29SW	F2~F3	37.0	27.1	13.3	11.9	砂岩	65 6	
128	石核		SG1	DD30NE	F2	34.2	44.1	22.4	37.1	頁岩	63 8	
129	石核		SP25			39.0	47.3	24.2	39.7	頁岩	SP25	

表14 土偶・土製品・石製品觀察表

種別	分類	出土地区	グリッド	層位	遺物番号	計測値(mm・g)			石材	備考	図 No
						長さ	幅	厚さ			
1	土偶	SG			RP115	(33.0)	93.4	30.2	52.5		67 2
2	土偶	SG1	DD09NE	F1		(64.0)	32.5	(44.0)	26.4		67 4
3	土偶	SK12の南西				(21.0)	(42.0)	21.5	16.3		67 3
4	土偶	SX13				(34.0)	43.0	49.0	34.0		67 6
5	土偶	南カベ		下層		(53.0)	(54.0)	49.0	42.0		67 5
6	土偶	SG1	DD29SE(W)	F4		(42.0)	(34.0)	(17.0)	11.7		67 1
48	土冠	SG1			RP114	78.0	(111.0)	38.0	188.9		68 1
49	土冠	SG1			RP141	67.0	91.0	42.0	155.0	付着	68 2
45	円盤状土製品	SG1				41	42	6	14	LR	68 3
46	円盤状土製品	SG1		上層		34	37	6.4	10	LR	68 4
47	円盤状土製品	SG1	中央トレンチ			47	43	9	21	LR	68 5
7	石棒・石刀	SG1	DD29SE(W)	F3下		(38.2)	34.4	17.2	45.1	黒色粘板岩	付着
8	石棒・石刀	SG1	D-EE29SW	F3下		(37.6)	23.5	5.3	5.8	黒色粘板岩	
9	石棒・石刀	SG1	歩移	F4		(67.0)	29.2	4.5	9.2	黒色粘板岩	
10	石棒・石刀	SG1	EE30直下			(40.3)	22.9	3.7	3.8	黒色粘板岩	付着
11	石棒・石刀	SG1	D-EE29SW	F3下		(33.4)	28.0	12.8	43.2	砂岩	70 7
12	石棒・石刀	SG1	D-EE29SW	F3下		(38.0)	19.6	5.8	42	黒色粘板岩	
13	石棒・石刀	SG1	D-EE29SW	F4		(58.4)	85.6	18.6	134.9	流紋岩	70 2
14	石棒・石刀	SG1	DD29SE(W)	F2		(57.3)	46.8	9.5	39.0	黒色粘板岩	付着か
15	石棒・石刀	SG1(中央トレンチ中一丁下層)				(35.8)	34.3	2.4	4.0	黒色粘板岩	
16	石棒・石刀	表土				(29.8)	30.0	14.6	22.0	黒色粘板岩	
17	石棒・石刀	残土				(53.5)	46.3	7.6	27.2	黒色粘板岩	
18	石棒・石刀	SG1		F2		(80.9)	39.6	20.3	90.9	黒色粘板岩	69 4
19	石棒・石刀	SG1			RQ25	(88.2)	35.0	12.0	62.2	粘板岩	69 8
20	石棒・石刀	SG1			RQ52	(96.8)	36.6	29.9	120.3	粘板岩	69 3
21	石棒・石刀	SG1			RQ78	(104.0)	42.5	7.8	58.0	黒色粘板岩	69 10
22	石棒・石刀	SG1			RQ104	(150.4)	32.2	11.0	85.6	凝灰岩	69 5
23	石棒・石刀	SG1			RQ106	(109.5)	28.9	11.7	32.6	黒色粘板岩	69 9
24	石棒・石刀	SG1			RQ132	(148.0)	33.7	10.2	60.5	黒色粘板岩	69 6
25	石棒・石刀	SG1			RQ137	(73.8)	41.4	9.0	62.7	黒色粘板岩	70 1
26	石棒・石刀	SG1	DD29NE(E)	F2	RQ50	(82.0)	29.9	17.7	53.4	粘板岩	69 7
27	石棒・石刀	SG1			RQ91	(186.0)	40.7	28.7	327.0	粘板岩	69 2
28	石棒・石刀	SG1			RQ145	(108.7)	27.6	7.4	30.0	黒色粘板岩	70 4
29	石棒・石刀	SG1			RQ157	(240.0)	28.3	22.9	263.3	黒色粘板岩	69 1
30	石棒・石刀	SG1(東角)			RQ1	(65.4)	34.7	8.2	25.6	黒色粘板岩	70 6
31	石棒・石刀	SG1			RQ160	(175.0)	43.9	19.0	185.0	安山岩	70 3
32	石棒・石刀	(西トレンチ)				(91.0)	33.5	11.0	39.2	黒色粘板岩	70 5
33	石棒・石刀	フギ9				(37.0)	18.2	13.5	13.1	粘板岩	
34	石棒・石刀	SG1	DD29NE	F1		(53.3)	20.2	9.3	16.7	泥岩	70 8
35	重飾品	SG1	中央トレンチ			30.2	9.0	7.9	3.1	凝灰岩	70 12
37	重飾品	SG1	DD29SE(W)		RQ102	50.8	37.3	20.0	47.4	凝灰岩	70 9
38	重飾品	SX37		F2	RQ22	25.0	13.2	5.8	2.9	細色凝灰岩	70 10
39	重飾品	SG1	中央トレンチ	F3	RQ27	12.0	11.5	6.5	1.1	翡翠	70 11
40	石錐	SG1(南カベ)	DD09NE			71.0	38.2	20.0	20.7	砂岩	65 8
41	円盤状石製品	SG1	DD09NE	F3		56.8	51.6	9.1	50.0	泥岩	
42	円盤状石製品	SG1	EE29SW(W)	F3		50.6	40.1	16.0	28.4	頁岩	
43	円盤状石製品	SG1	DD09NE	F1		60.6	51.6	21.9	100.8	安山岩	
44	円盤状石製品	SG1(西カベ)		下層		85.9	69.4	18.2	117.9	凝灰岩	

写真図版



調査区 全景(北から)
※△が調査区





調査区 遠景（南から）



調査前全景（南東から）



遺構検出全景(北から)



遺構完掘全景(SG1谷跡は除く: 南西から)



遺構完掘状況(北西から)



遺構完掘状況(南東から)



遺構検出状況 北部(北西から)



遺構半堀状況 北部(北西から)



遺構完堀状況 北部(南東から)



遺構完堀状況 中央部(北西から)



遺構完堀状況 中央西部(南東から)



遺構完堀状況 中央部(北西から)



遺構完堀状況 中央～南部(南東から)



遺構完堀状況 南部(南東から)



SG1東壁 基本層序(南から)



SG1西壁 基本層序(北東から)



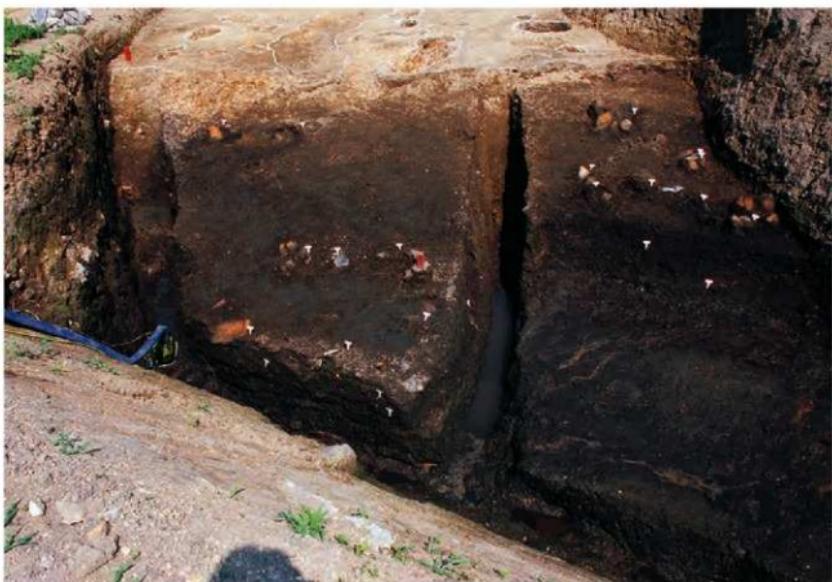
SG1中央トレンチ 基本層序(北東から)



SG1中央トレンチ西壁 基本層序(東から)



調査区北部東壁 基本層序(西から)



SG1F1層出土状況(南東から)



SG1F1層出土状況(南東から)



RP31・32・33出土状況(北西から)



SG1北西侧 F1層出土状況(西から)



RP38・39・44出土状況(北西から)



RP35-42出土状況(南東から)



RP141出土状況(南から)



RP32・33・34(北西から)



RP35出土状況(南東から)



RP131出土状況(北西から)



RP30出土状況(南から)



RP30・138・140出土状況(南東から)



RP139-RP140出土状況(南から)



SG1F2層出土状況(西から)



SG1F2層出土状況(南東から)



SG1西側F2層出土状況(南西から)



SG1東側F2層出土状況(南から)



RP92・96・97・98出土状況(南東から)



RP66-67-68出土状況(南から)



RP68-78出土状況(南西から)



RP68-76-RQ78出土状況(西から)



RP76出土状況(南西から)



RP64-65出土状況(南東から)



RP65-66-67出土状況(南東から)



RQ78・RP76出土状況(南西から)



RP81出土状況(南から)



RP81出土状況(南から)



RP59出土状況(北東から)



RP28・70出土状況(東から)



RQ49・RP57・58・71出土状況(西から)



RQ49・RP57・58・71出土状況(南西から)



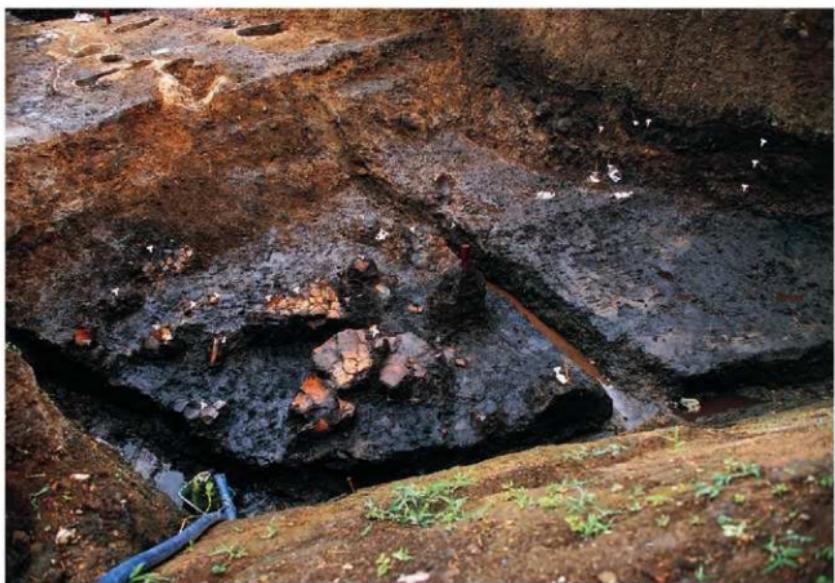
RP55・73出土状況(南東から)



RP56出土状況(南西から)



RP54出土状況(南東から)



SG1F3層出土状況(南から)



SG1F3層出土状況(北から)



SG1F3層西側出土状況(南から)



SG1F3層出土状況(西から)



SG1F3層出土状況(北東から)



RP85・86・88出土状況(南東から)



RP103(赤彩)・104・105出土状況(南西から)



RP29-101出土状況(南から)



RP100-RQ102岩版出土状況(南から)



RP85-86-88出土状況(南から)



RP86-89-91出土状況(南東から)



RP87-88-89出土状況(北西から)



SG1西側北F3出土状況(南東から)



RP92-93-96-97-RQ95出土状況(南東から)



RP114土冠出土状況(北西から)



SG1F3下層出土状況(西から)



SG1F3下層出土状況(西から)



SG1F3下層出土状況(東から)



RP115土偶出土状況(北西から)



RP123出土状況(西から)



RP118-133(北から)



RP118出土状況(北西から)



RP116出土状況(南西から)



RP119出土状況(北西から)



RP122-127-131(南東から)



RP135出土状況(東から)



SG1F3下層(F4層上面)出土状況(南東から)



RP129-130-132出土状況(西から)



SG1F4層出土状況(西から)



SG1F4層出土状況(南東から)



SG1西側F4層出土状況(北東から)



RP148・149・150出土状況(南東から)



RQ157出土状況(南東から)



RP152-158(北から)



RP152-153-154-155-156-RQ157出土状況(北西から)



RP160出土状況(西から)



SG1床面直上出土状況(西から)



SG1完掘(南東から)



SG1床面直上出土状況(南東から)



RP162出土状況(北西から)



RP163-165-RQ164出土状況(南西から)



SP3半掘(西から)



SP3完掘(北西から)



SK2半掘(南西から)



SK2完掘(西から)



SK69半掘(南から)



SK69完掘(南から)



SK12半掘(南から)



SD5 (RP24) 出土状況(北東から)



SK51完掘(南から)



SK51半截(南から)



SK9土層断面(南より)



SK9完掘状況(南より)



SP19半截(南西から)



SP18・19完掘状況(東より)



RQ22(SX31)出土状況(東より)



同左



表土除去状況(北から)



面整理状況(北から)



遺構精査状況(南から)



SK2土抗精査状況(西から)



SG1谷跡下層(F3層)精査状況(南から)



SG1谷跡掘り下げ状況(西から)



SG1谷跡出土遺物の記録状況(東から)



調査説明会



遺物洗浄作業



遺物注記作業



遺物接合作業



土器復元作業



遺物実測作業



遺物拓本作業



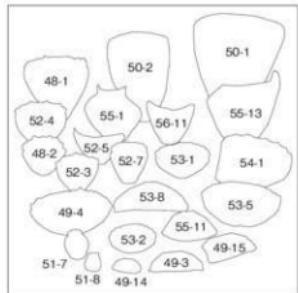
遺物写真撮影



遺物トレース編集作業



SG1 谷跡 F3・F3下層出土遺物集合

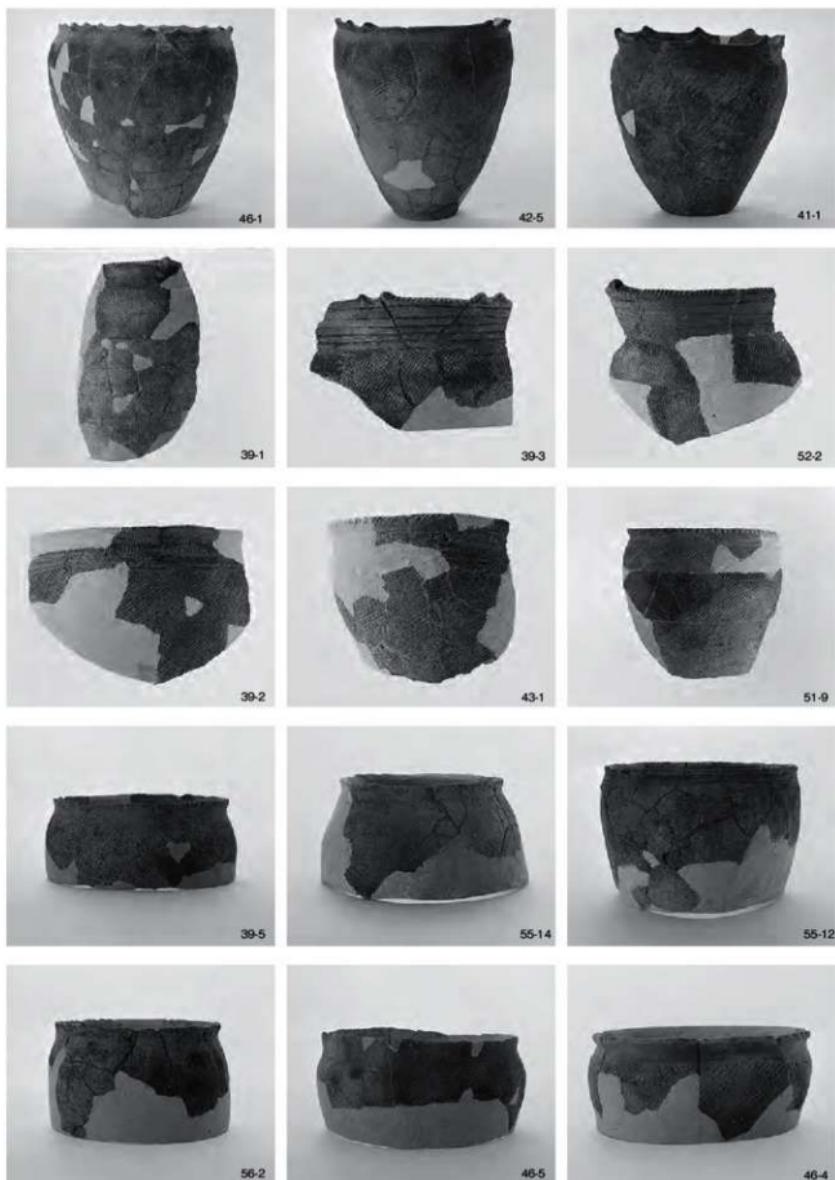




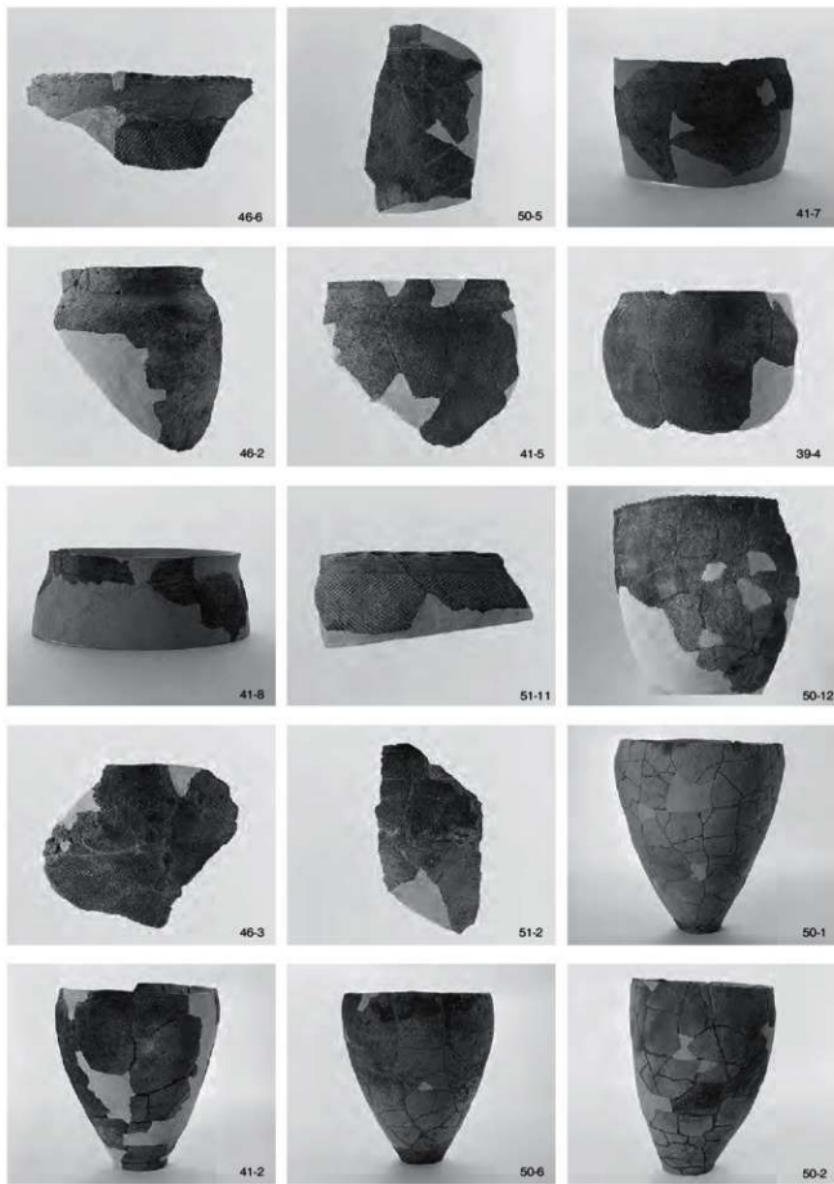
土偶・石棒・石刀・土冠・玉類・石製品集合



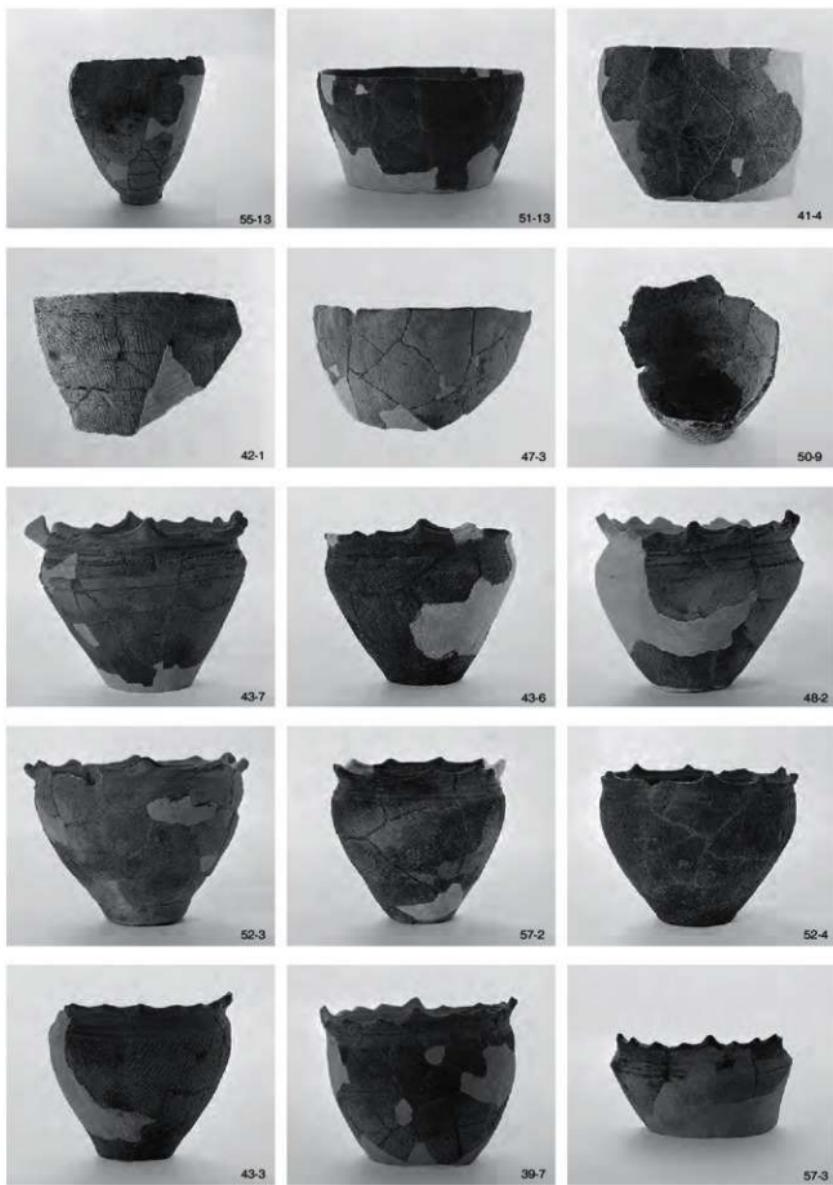
赤彩土器・漆付着土器集合



縄文時代晩期 深鉢



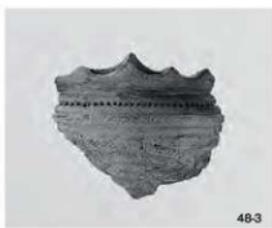
縄文時代晩期 深鉢



绳文時代晩期 深鉢・鉢



48-6



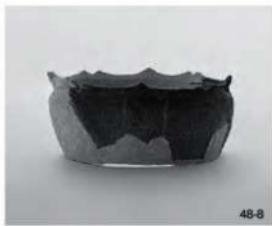
48-3



43-5



59-11



48-8



48-5



57-6



48-1



43-4



48-7



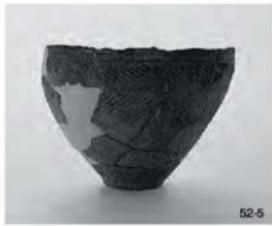
52-10



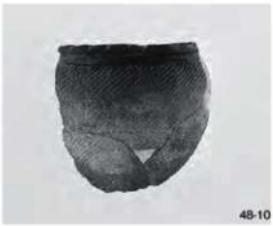
52-7



59-13



52-5



48-10

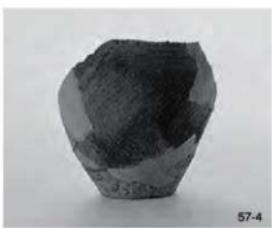
縄文時代晩期 鉢



58-9



58-10



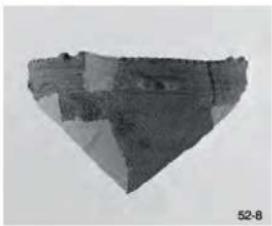
57-4



42-3



58-8



52-8



58-11



39-8



43-15



43-1



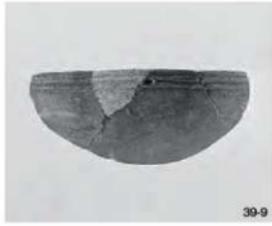
43-1



43-1



44-1



39-9

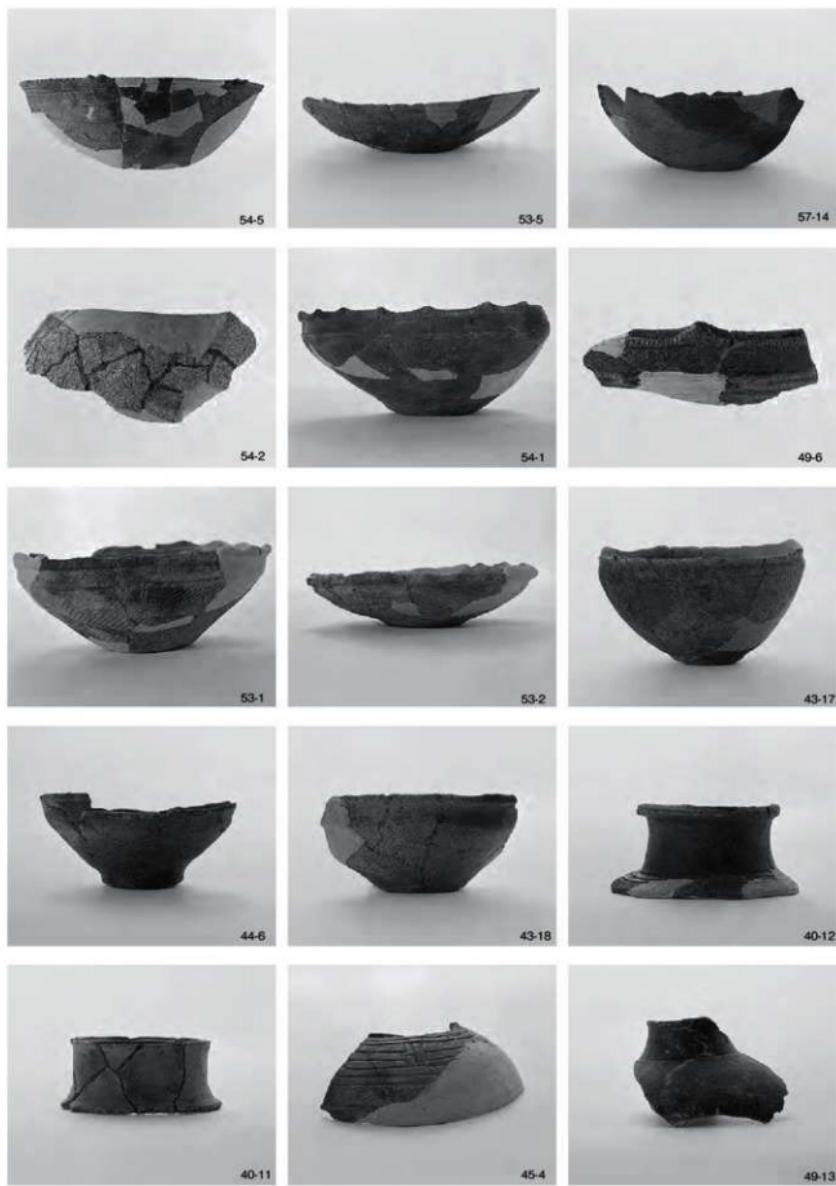


54-3

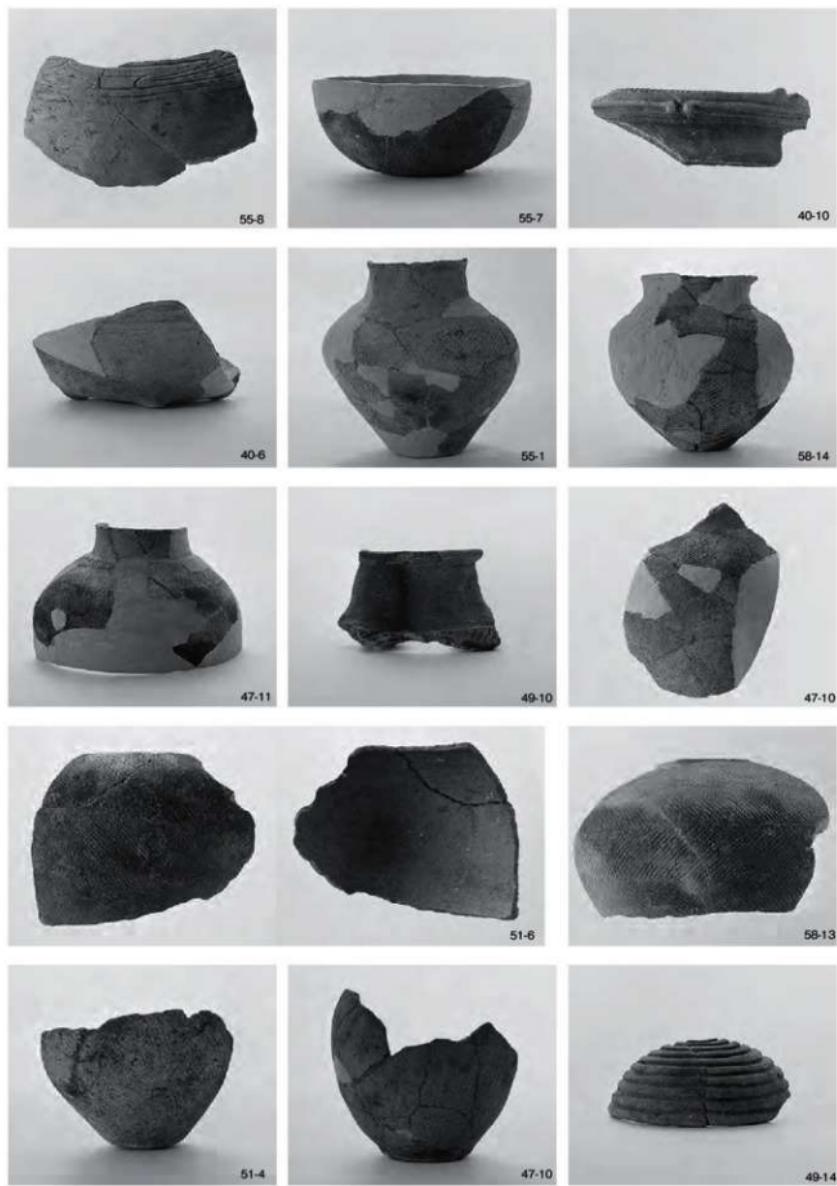
縄文時代晚期 補・台付浅鉢・浅鉢



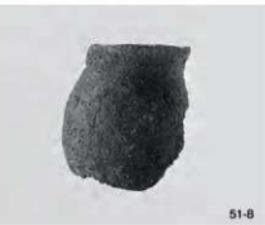
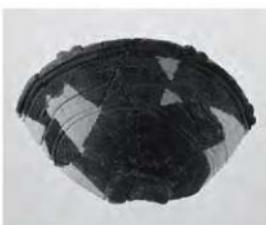
縄文時代晩期 浅鉢



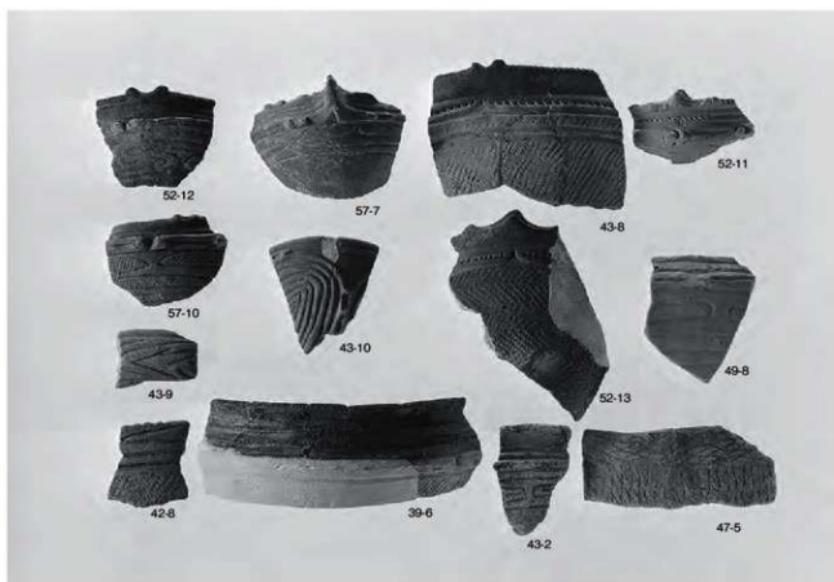
縄文時代晩期 浅鉢・壺



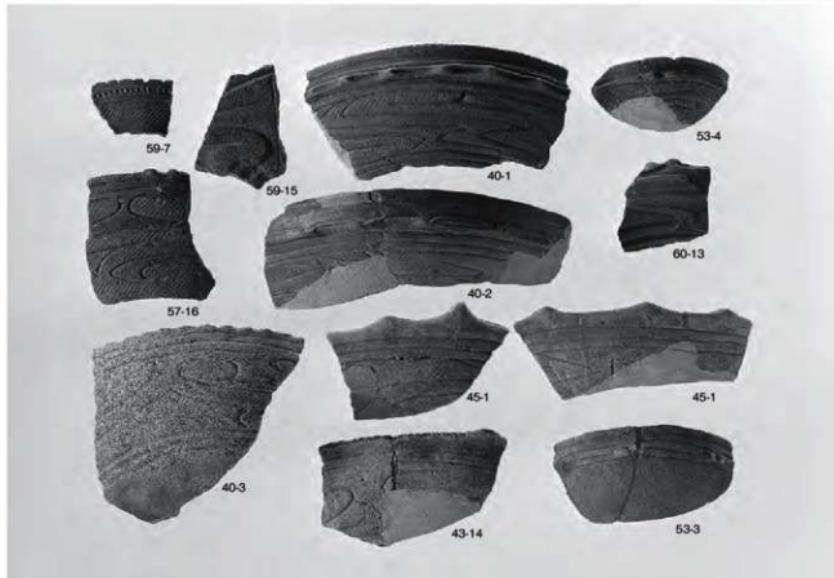
绳文時代晩期 壺・蓋



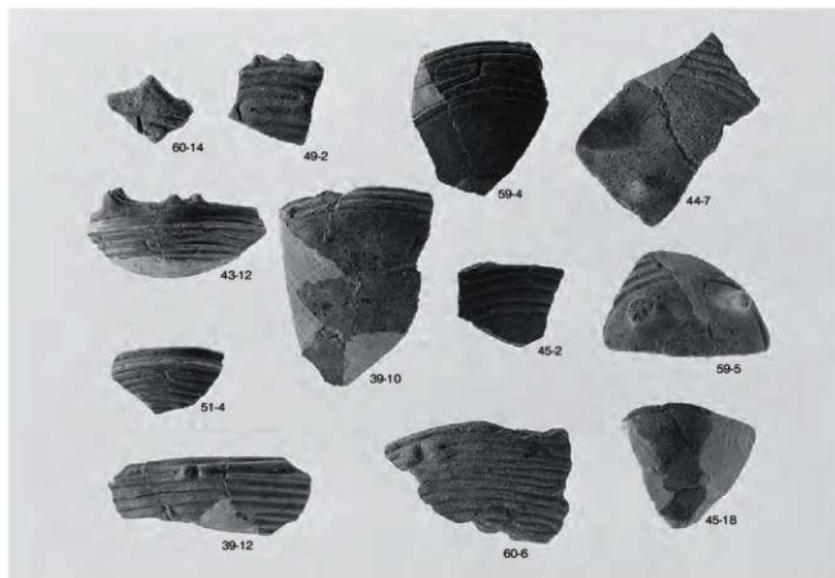
縄文時代晩期 壺・注口・小型土器



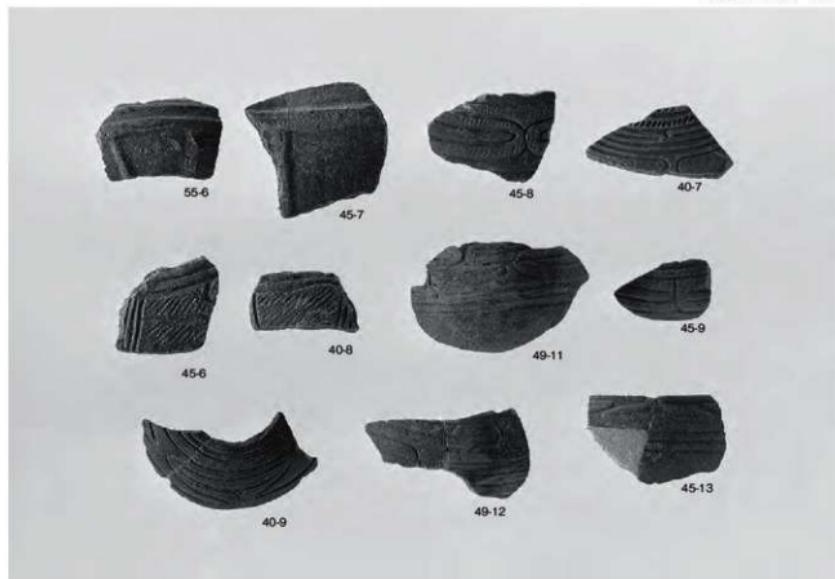
縄文時代晩期 鉢



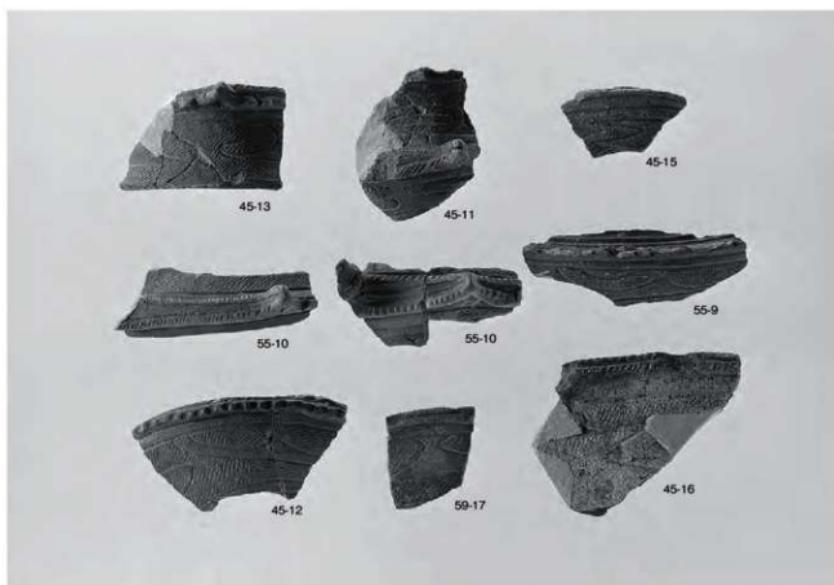
縄文時代晩期 浅鉢



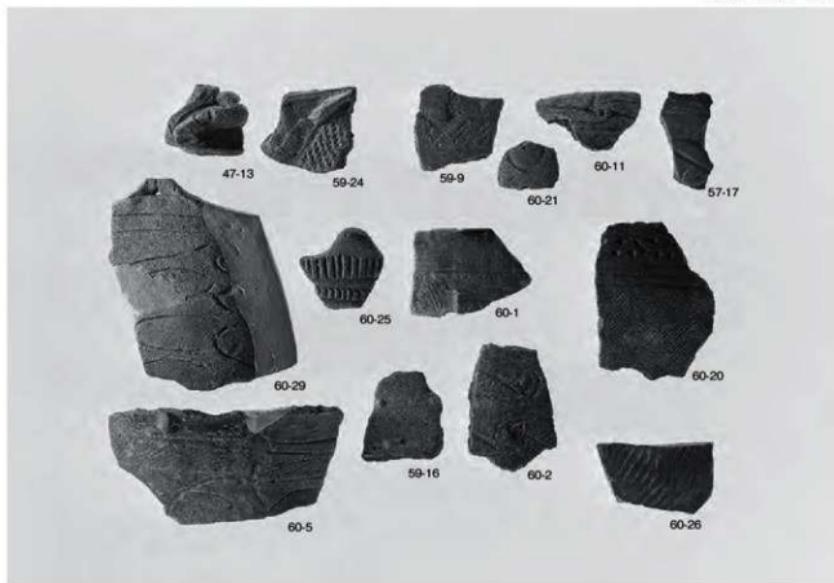
縄文時代晩期 浅鉢



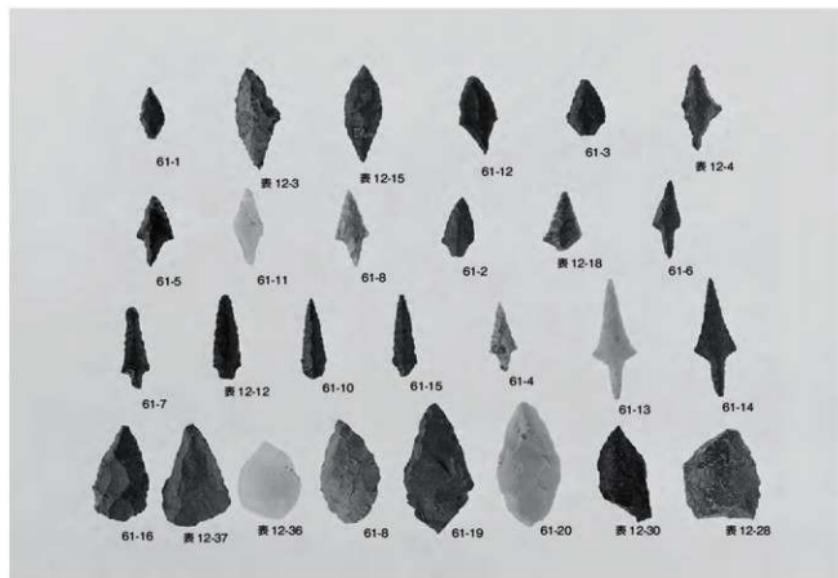
縄文時代晩期 壺



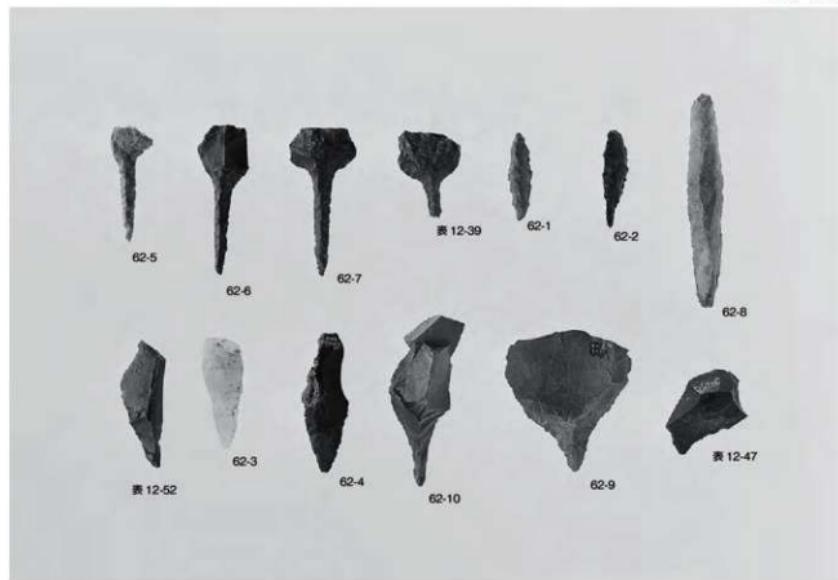
縄文時代晩期 注口



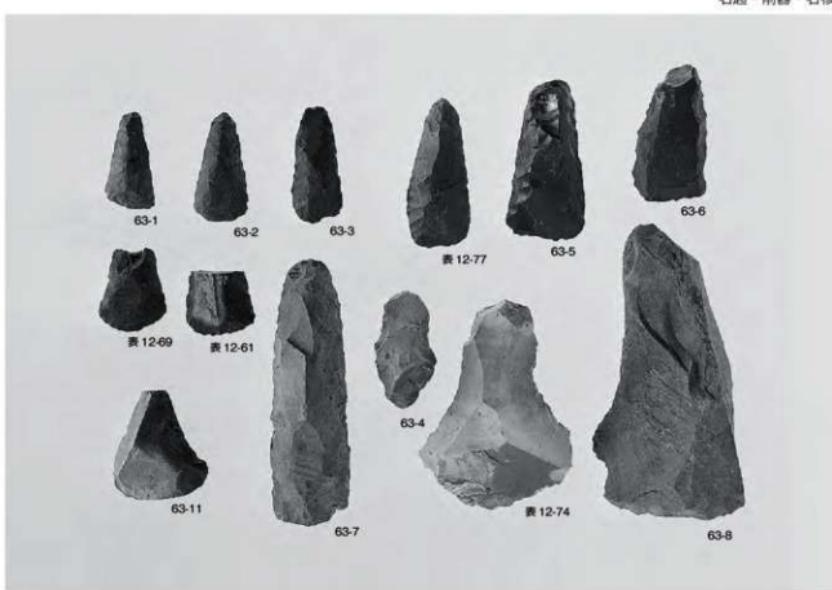
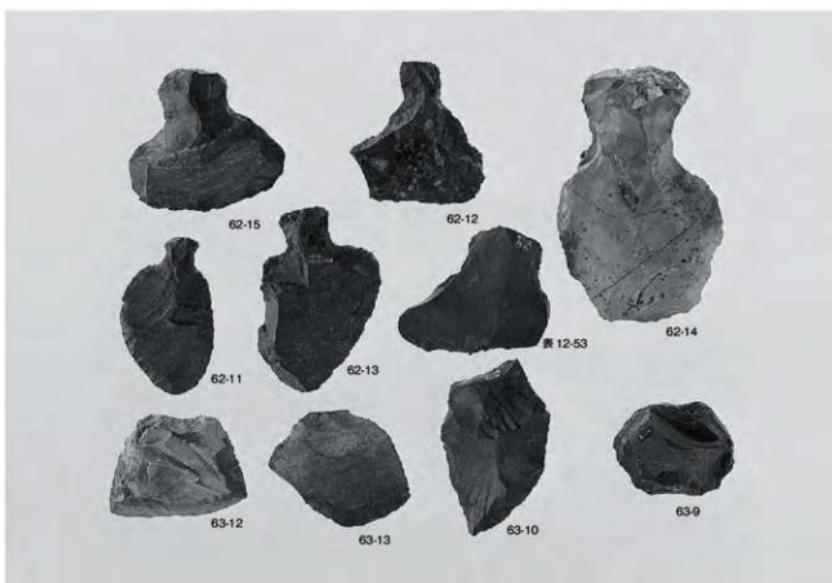
縄文時代中期～後期土器・晩期 注口・古代 壺

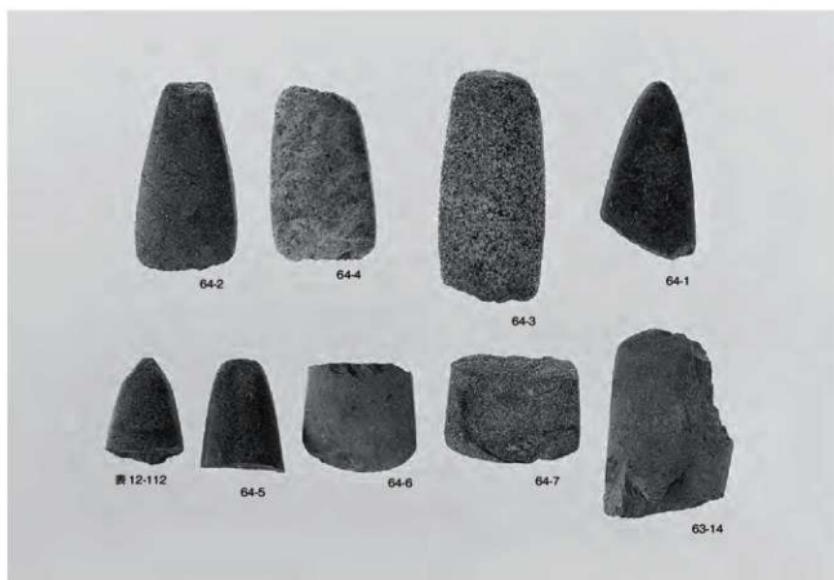


石簇・石槍

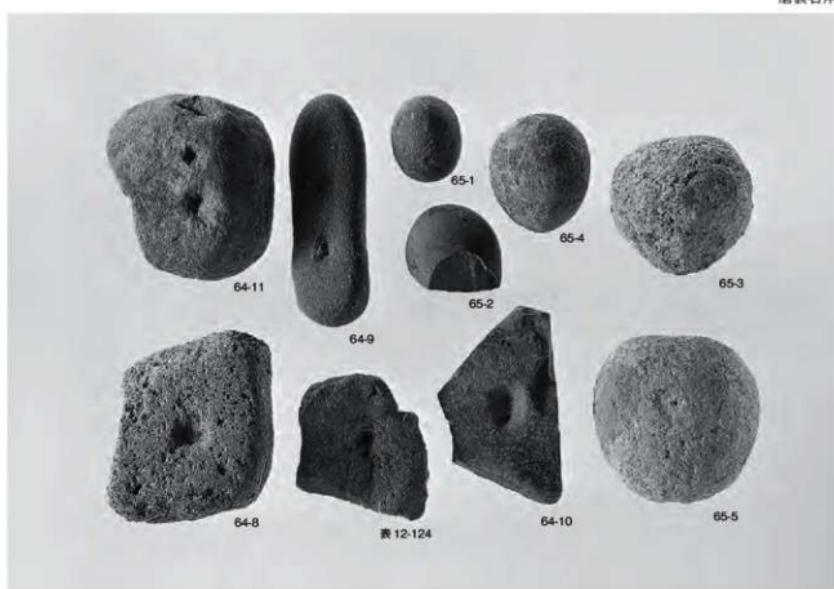


石錐





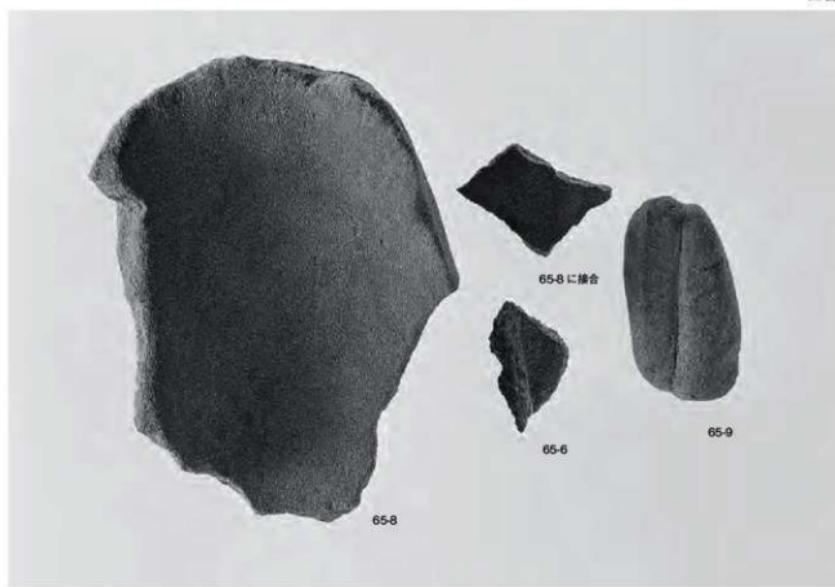
磨製石斧



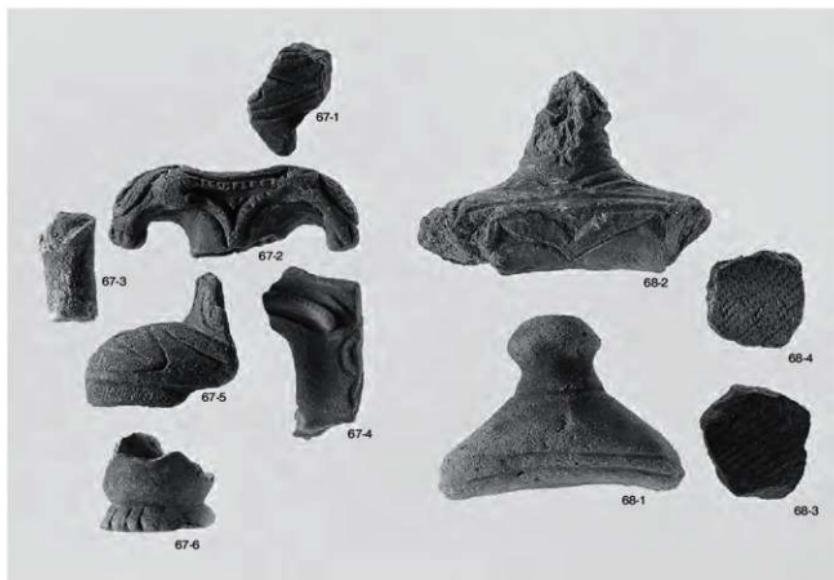
凹石・磨石・敲石



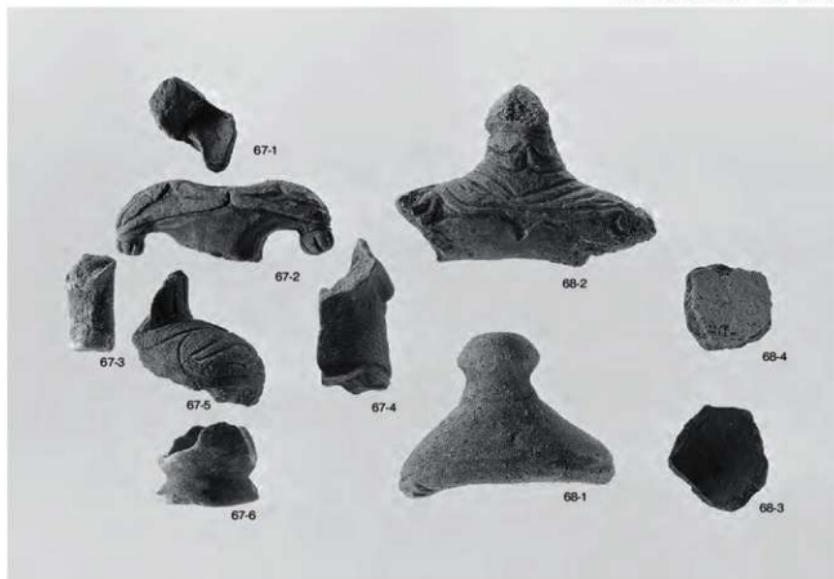
凹石



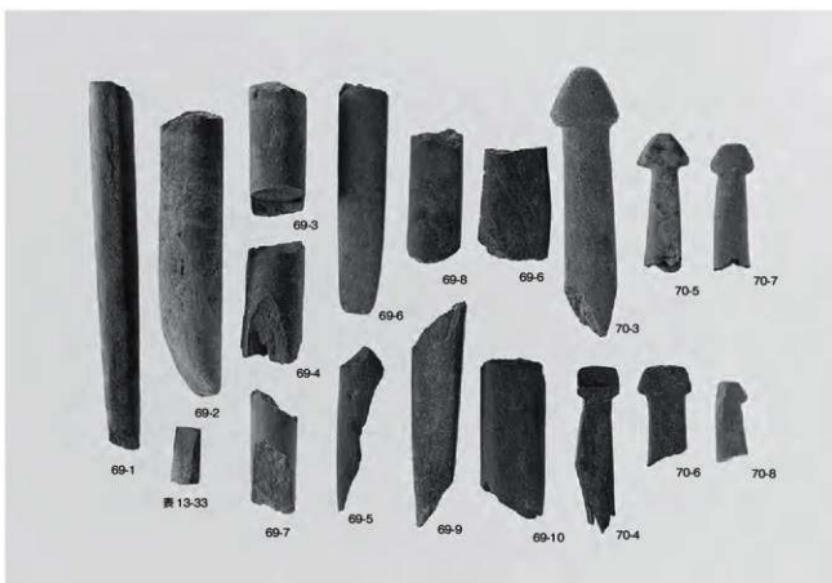
石錘・紙石・石皿



土偶・円盤状土製品・土冠（表面）



土偶・円盤状土製品・土冠（裏面）



石棒・石刀



垂飾品・岩版

報告書抄録

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第205集

作野遺跡第3次発掘調査報告書

2012年3月25日発行

発行 財團法人 山形県埋蔵文化財センター

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号

電話 023-672-5301

印刷 田宮印刷株式会社

〒990-2251 山形県山形市立谷川三丁目1410番1号

電話 023-686-6111

